臺灣日日新報

本日二十四頁

昭和十一年一月一日（水曜日）　第一万二千八百四十五號

（明治三十一年五月九日第三種郵便物認可）

躍進日本の國防力を讃ふ
協同の要愈々加はる

○

[illegible]世界的チャンピオンであらねばならぬ。

○

皇紀こゝに新に、改めて皇紀二千五百九十六年を迎ふ。世界今後の動向に對し一種の疑問符を感じるかの感を與へてゐる。何となれば海上遠く此一片の白雲は、次の瞬間に低氣壓を呼び風雨を招く黑雲と變ずるやも知れず、或は此の斷雲は東洋を掩うてゐた暗雲低迷の餘片であり、やがて間もなく雲散霧消して明朗そのものなる東亞の天地に還元させるかも知れぬからだ。畢竟するに今年は、動もすれば暗示されてゐる如く海上の逆雲が全く捲はるゝに至るか、或は更に暗雲を呼ぶかの疑問の年であり、非常時局に對處する國民の覺悟も亦從つて更に新たなるものあるを要する。

○

この際に倫敦に於て開かれたる海軍軍縮會議に對しては、帝國はじめ世界の列國を始め世界の平和は保たれる列國と共に、海軍軍縮の成果を擧ぐべく協力を與へねばならぬであらう。特に帝國としては不脅威不侵略の鐵則を固く執つて居り、此主張を貫くか否かに依て帝國の國防並に國力に重大關係を及ぼすものであるから、萬全の策を講じ其の成功を期さねばならぬ。これが爲には國民協同の力を以て國全體に有ゆる支援を與ふると共に、國民の總意に基づく所謂國民外交の一手に依て有終の美果を收むる事に最善の努力を拂はねばならぬであらう。

○

翻つて内を顧るに、今や國內問題も相當に緊迫を示しつゝあり、所謂國力發展期に見る所謂的なる各種の動きを展開してゐる。殊に國民として最も注意せねばならぬのは、次第に國內的に對立抗爭の激化を想はしむるが如き事態是れである。尤も此現象は、滿洲事變以後國民が自覺に數歩を進め、自我の意識に目ざめたるに因る自然の結果であつた。このため社會の各層は、自己の立場より夫々政治經濟、社會等の各側面に亘り再檢討を試み之に基づいて

一種のイデオロギーを以て改造意見を抱懷するに至つたもので、その理論鬪爭から自然に對立的形ちを取るに至つたものと觀取される。而も此動向は、社會進化並に國運發展の途上に於ては已むを得ぬ自然現象の一であつて之を以て憂慮するには當らず、否寧ろ國民各層の自覺と之に伴ふ潑々たる元氣に對し慶祝いたさねばなるまい。その故は、此理論鬪爭や對立により、やがて適當なる歸一的結論が得られ、之に基づいて適正なる革新や改造が行はるゝ事を豫想するが爲めである。且日本國民の天賦の外に國民各層間に此熱意あるが故に、それが躍進日本の原動力となり、現に見るが如く各方面に亘つて元氣一ぱいに國威國力の一大進展を來してゐるではないか。

○

更に顧つて臺灣の將來を思案するに、始政四十年に對する各種の行事や回顧は、昨年を以て一段落とし、今年以後は方寸を改め始政五十年を如何にして迎へんかに最善の計畫と最大の力とを用ゐ致さねばならぬ。即ち臺灣の全住民は和衷協同、もつて始政五十年を迎ふる一貫方略を樹つると共に其實行に邁進致すべきである。この十年計畫こそ更に臺灣の百年、千年の發展に礎石を置くものでなければならぬ。殊に現下南方經濟發展の機熟し、加ふるに臺灣を繞ぐる國際情勢等にも鑑み、軍官民の協力一致は益々その緊要性を加ふるに至つた。

○

斯くの如く、帝國並に臺灣の現狀は、對外的にも對內的にも今尚非常時局の域を脫してゐない。此難局に對處するの途は、彌榮えさせらるゝ至仁至德の皇基宣を上に戴き、一億の赤子一體となり萬邦に卓越する日本精神を則とし、泰然たる富嶽の如き條搖ぎざる大精度を以て、各自その職分に最善を盡す外ないのである。吾人は昭和十一年を迎ふるに當り、國民大衆と共に此の事を固く心に誓はんとするものである。

各自その職分を盡し協力國運の進展へ
皇國民たるの光榮を想ふ

内閣總理大臣　岡田啓介

一

國歩艱難、昭和十一年の新春を迎へ愈々國運の隆盛に慶祝の至りであります。明治天皇御製に「よもの海みなはらからと思ふ世になど波風のたちさわぐらむ」〔illegible〕かな時代ながらのとしをむかへて」と遊ばされたのを想ひ起しまして、三千年來唯一筋の道を歩んで參りました皇國の民としての光榮を今更乍ら深く感ずるのであります。

二

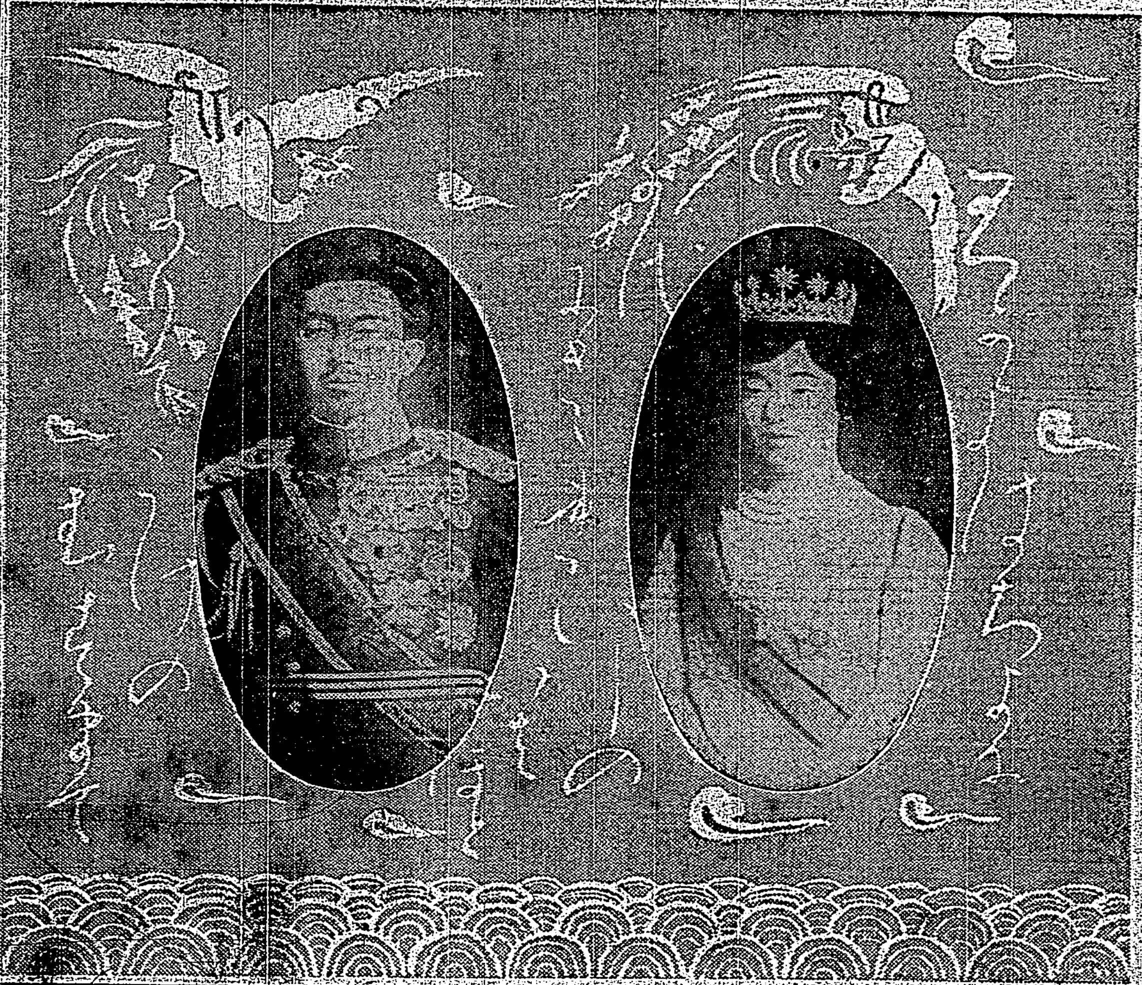
顧みて聖恩の無窮を畏み奉りまするを念ひ、愈々奉公の誠を致すことを國民と共に誓ふ次第であります。昨秋は畏くも〔illegible〕御誕生の御慶事を拜し奉りまして〔illegible〕第一皇子殿下御誕生遊ばされ我等臣民は〔illegible〕益々御健かに御成育遊ばされ、今年は〔illegible〕して身中も〔illegible〕であります。

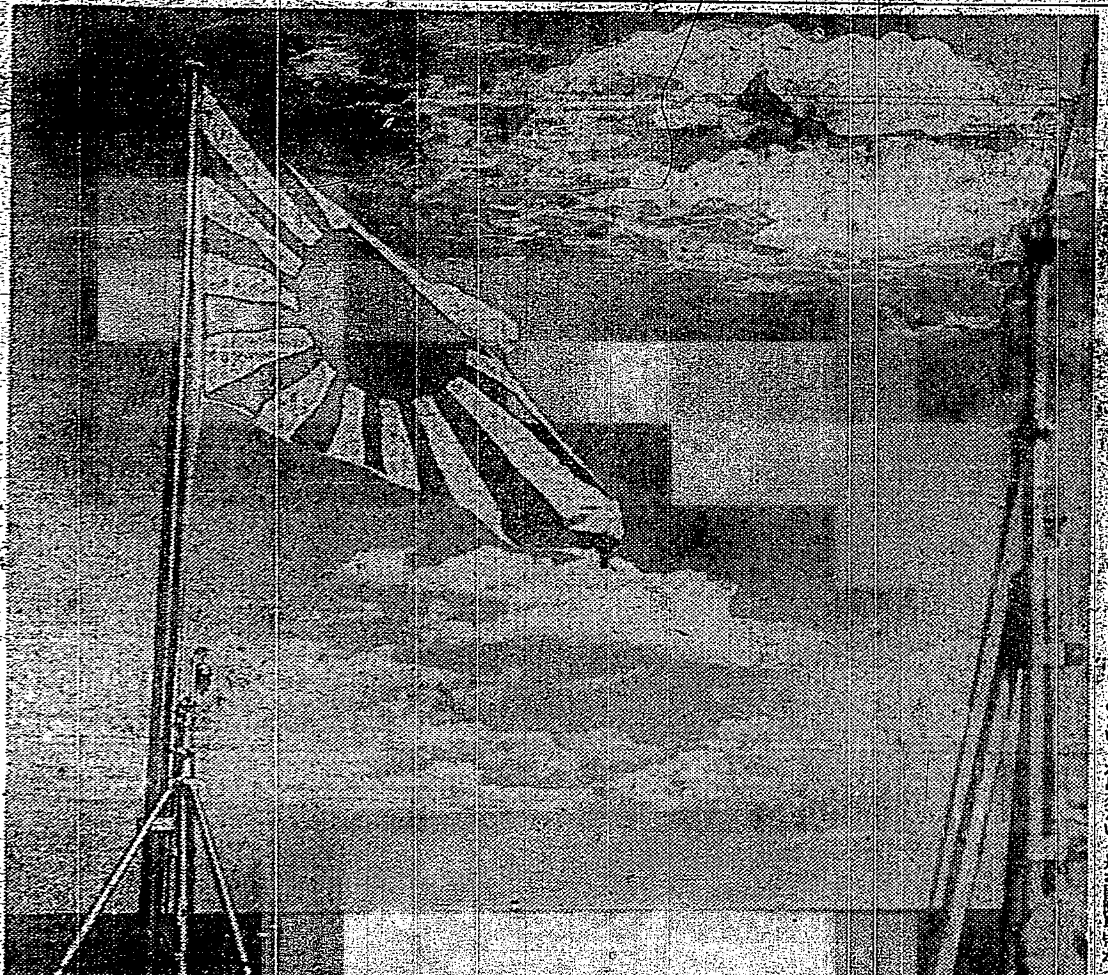
三

帝國は此の數年間各方面に於て稀有なる時艱に遭遇致しました。之は我國が日々に新に又日に新なる躍進を致して居りまするに伴ふ當然の事態であるのでありますが、大稜威の下に湧き出づる國民一致の力に依つて能く之を切り拔け國威は彌が上にも昂揚せられて居りますことは誠に本懷の至りであります。殊に其の建國以來、其の發展に國を擧げて協力致して居りました滿洲國が、極めて健全なる發達を遂げ、昨春は皇帝陛下親しく本邦に御來訪遊ばされ兩國の不可分な親善關係が愈々固く、共存共榮の實が着々として擧がつて居りますることは何よりも喜ばしく存ずる所であります。私はこの機會に此事に身命を賭して獻身せられたる人々の偉業に對し深く敬意を表しまするとと同時に、今尚北の曠野に於て、或は〔illegible〕中に馳驅せらるゝ皇軍將士を初め官民の勞苦に深く謝意を表する次第であります。

四

併しながら時艱は未だ決して解消し去つたのではありません。海軍軍備制限に關する國際會議は目下倫敦で開催中でありまして、我が全權は我が公正妥當なる主張の貫徹に誠意努力致して居りますが、又國內に於ても解決を要すべき問題は相當多く殘つて居るのであります。昨年地方議會の選擧に際しては、選擧肅正の運動が行はれましたが、更に大いに努力を要し選擧肅正の實を擧げねばならないと信じます。國民各其の業務に精勵し、一億の同胞が〔illegible〕所存を勵ましめ、國民各々其の業務に精勵し、〔illegible〕仰せられた聖旨を奉體し、大和魂の下に各自の職分を盡くし一致協力國運の進展に寄與する覺悟あらんことを切望する次第であります。（寫眞は岡田首相）





外に向つて進むは大和民族の責務

拓務大臣　兒玉秀雄

昭和第十一年を迎ふるに方り、一億の同胞と共に聖壽の萬歲を寿ぎ奉り國運の隆昌を祈り併せて〔illegible〕は欣快の至りである。顧みれば客年十一月〔illegible〕第二皇子殿下御誕生あらせられ皇室の御繁榮と〔illegible〕御慶事を拜したる所であり、今や皇化洽く〔illegible〕官民協力一致〔illegible〕に勵むべき秋であると〔illegible〕

方今世界の情勢を按ずるに、我れの邦國も今や內外非常の難局に臨んで居る。我國と雖も亦其の點に於ては同樣である。併し朝野を擧げて之が打開に努め諸般の施設漸く其の正を得、特に產業界、貿易界の好調は歐米列國の驚異の眼を瞠る所であり、吾人の大いに意を強うする所である。

友邦滿洲國は帝國の全幅的支援を受くると共に、日滿兩國共存共榮の實益を加へつゝあり、東亞永遠の和平延いては世界の平和に貢獻する所大なるものあるを疑はぬ次第であつて、同國今後の發展を祈つて止まない。

〔illegible〕吾人の使命の〔illegible〕に鑑み、我邦の如く狭小な國土と夥多なる人口とを擁し、然も人口激增の趨向に鑑みる時は移植民及海外拓殖事業の緊要なる事は言はずして明らかである。即ち世界を廣く海外に選び、資を無限の富源に求むると共に人類福祉の增進と世界平和の確保とに貢獻することは蓋し大和民族の重大責務と謂ふべきである。乃ち政府は既に之が遂行に努め來つた所であるが、更に本年は一層其の成果の期して待つべきものあるを確信する。

政府に於ては日滿兩國特殊の關係に鑑み、對外移民並に產業の擴充に依つて北方の開發に努め其の成果の大に見るべきものあり、更に今後の進展を期する共に、臺灣及び南洋群島、帝國南方の要衝たるに鑑み、南洋の施設を促進して其の開發助長に南支南洋地方發展策に就き調査研究を了し、今や愈其の實現に努力して居る次第である。〔illegible〕

〔illegible〕に內外地同胞の多幸を祈り邦家の進運を祝福して新春の賀詞に代へる次第である。（寫眞は兒玉拓相）

東洋と英米
歐洲政局の新動向

大山卯次郎

一

歐洲に於ける國際政局の現狀が、フランスを中心とする現狀維持派と、ドイツを中心とする現狀打破派との抗爭であることは云ふまでもない。現に最近締結せられた佛ソ互助條約、佛伊協定、英佛ロンドン協定の如きは即ちその現はれであつて、數年來現狀打破を目的とするドイツの脅威に對したが、利害打算に拔け目のない〔illegible〕ので、イギリスは大いに面目を損した。

イギリスはイタリーのエチオピアに對する政治的進出に反對し、これを國際聯盟の手に移すことに成功したもの〔illegible〕の見て取つた後その〔illegible〕武力占領の決意を示した〔illegible〕

〔昭和十一年〕

海上雲遠

二

以上のやうな次第であるから、〔illegible〕

三

〔illegible〕

岡田首相書

初富士

長谷川かな女

初富士を見るひつ列車ボーイの過ぎしかな

ひとり來れり初富士を見る食堂車

○

初富士に掃除さらくボーイあり

初富士見ひつ羽織の紋の暗の白く

初富士消ひづ窓から見れば雪にして

畏し霜深き曉闇に 四方拜と歳旦祭の御儀

國家安泰萬民の多幸を御祈願 文武百官の拜賀を受け給ふ

東の大空を紅に染めてさし昇る初日の出の姿そのままに隆盛日本の大いなる飛躍と新なる希望と歡喜とに充ち滿ちて輝しくも昭和十一年元旦、この目出度き朝、天皇陛下には午前五時半、御束帶黄櫨染御袍の御裝ひで神嘉殿南庭に設けられた屋に出御、三種宮典以下奉仕して四方拜の御儀を行はせられ、神宮、山陵をはじめ天地四方の神祇を御遙拜、畏くも國家の安泰

萬民の 幸福を御祈願、更に賢所、皇靈殿、神殿における歳旦祭に出御、親しく三殿に御拜遊ばされ一出宗の深き叡慮を拜し奉り併せてその御佑助を御祈念あらせらるゝが、かくて四方拜、歳旦祭を終へさせられて一旦入御、午前八時晴れの御盛装に著かせられた天皇陛下には同十時から宮中正殿に出御、晴れの拜賀式を行はせられる、天皇陛下には陸軍大元帥の御正装に、大勲位菊花章頸飾御佩用、松平式部長官、湯淺宮相扈行、鈴木侍從長、本庄武官長以下扈從先づ鳳凰の間に出御、秩父宮同妃、高松宮同妃各殿下をはじめ皇族方に御對面、年頭の御祝詞を受けさせられ次いで各皇族方を從へさせられて正殿に出御、一段高き玉座に御着、大勲朝又は元帥に

綺羅を 飾つた岡田首相以下各國務大臣、齋藤内府、一木、平沼樞密院正副議長以下各樞密顧問官、若槻男、山本男等各前官禮遇、陸海軍大將、親任官、貴衆兩院議長、公爵以下勳一等、以上同夫人並に勳一等外國人同夫人等の拜賀を受けさせられ、終つて同十一時から高等官一等以下勅任待遇以上同夫人其他宮内奏任官、同待遇の拜賀を受けさせられる、同二日は午前八時晴れの御儀に御著の後同十時から伯爵、從二位勳二等以下有爵者に對し午前午後に亘つて同様拜賀を受けさせられる

伊と墺、獨、瑞西間に特別協定調印さる

聯盟の金融斷交に對抗

【ローマ三十日發聯合】ムツソリニ伊首相は三十日の閣議席上に於てオーストリア、ドイツ及びスイスとの特別協定調印につき報告閣議で異議なく承認を得た、右は何れも聯盟の對伊經濟斷交以後のものであり金融斷交に對抗する爲の特別協定であると解され、右イタリー・墺、獨、瑞三國の協定は全部十二月中に締結された

須磨總領事歸京 外相に重要進言

南京要人に肚と氣合がなければ日支關係好轉せず

【東京三十一日發】須磨南京總領事は三十一日午後三時東京驛着列車で一年振りで歸朝した、同總領事は着京後直ちに廣田外相と會見、南京政府改組後の對日方針其他最近に於ける支那の情勢につき詳細報告し、更に我が對支政策につき出先機關としての重要進言を行つたが同總領事は次の如く語る

張群氏が外交部長に就任したからとて日支關係の好轉は期待出來ない、唐有壬氏の暗殺事件は實に遺憾で若し中國の要路が同氏の親日政策を否認した事に依つて暗殺事件を惹起したものとせば吾々は支那國民の猛省を促する爲斷乎たる處置を執られねばならぬ、最近の學生運動は對外的なものでなく却つて對内的のやうである、南京政府は日本に經濟援助を求めてゐるように傳へてゐるが、自分が孔財政部長と會見した際は何等この事について話が出なかつた南京政府が歐米各國からどのような借款を行ふも國民の幸福に背くものだから自分は飽迄これに反對であり中國の自力更生を促す方針である、北支政權の承認を巡つては中國の内亂を惹起せしめるものと思ふ、南京に於ける日支國交調整委員會の如き趣旨は贊成であるが、これには支那の反省

岡田首相の新年揮毫

御仁慈に浴するは國民の最上の幸福

協力・國家の隆昌を期す 湯淺宮相の謹話

茲に昭和十一年を迎へて新春の和氣乾坤に漲る秋謹みて我皇室の御繁榮を壽ぎ奉ることは眞に慶賀同慶の至りに存ずる次第でございます

× ×

畏くも天皇陛下におかせられましては天機益々御麗はしく、玉體益々御健やかに渡らせられ、政務に軍務に日常極めて御多忙に御過し遊ばされて在すことは眞に恐懼の至りに存じます、昨秋の陸軍特別大演習に際しましては遠く九州の南端にまで行幸仰出され親しく演習を御統監の上同地方の民情をも御巡視遊ばされました、また齋藤中部の震災にも朝鮮總督府の始政二十五周年にも共に侍從を御差遣の上、選擧の民情を御聽せしめられ普天の下率土の濱皆く雨露の御惠みに浴せぬ所とてはありませぬことは眞に有難き極みでございます

× ×

皇后陛下には御產後の御經過極めて御順調にて何の御障りもあらせられず、皇太子殿下を初め奉り親王、三內親王殿下の御養育には殊に御心を注がせられ又毎週各種の御進講を聽召されて御自ら婦道の御修養に御努め遊ばされて居るのでございます

× ×

皇太后陛下には至極御健康にて先帝の御崩御の後は十年一日の如く只管御謹みの御日常を御送り遊ばされて居ります、また世の不幸なる者に對しては特別の御思召をもつて屢々御賑恤の方法を講じせしめられてゐるのであります

× ×

皇太子殿下には其後益々御健全に御成長遊ばされ第二皇子殿下にも御誕生後の御成育極めて御見事にて御近奉仕者一同深く感激致して居ります

× ×

謹みて皇室の御日常を拜し奉れば誠に畏き極みでございまして、その宏大無邊なる御仁慈に浴し奉ゆる大御代に遭遇しましたことは我々國民の此上なき幸福と存じます、然れども一度目を轉ずれば今や世界の形勢は甚だ重大なる時局に際して居ります、されば我國民は益々心を合せ力を一にして皇運を扶翼し國家の隆昌を致し以て宸襟を安んじ奉らねばならぬことと存ずる次第でございます

皇太后陛下參賀を受けさせられる

大宮御所に在します皇太后陛下には一日午前九時から午後四時までの間文武官、有爵者並に神佛各宗派管長、門跡寺院住職の參賀を受けさせられ二日も御同様參賀を受けさせられる

御納めの諸御儀 宮中の大晦日

【東京三十一日發】昭和十年名殘の大晦日宮中では午後二時五十分より御納めの諸御儀が行はれ賢所の庭に初められ宮中賢所の間に於て小直衣を召された天皇陛下出御諸員參列三殿祭典長奉仕して嚴かに行はれ續いて大祓の儀は宮城内東大門において又除夜祭は午後五時から執行あらせられる

日支外交調整を第一義として努力

張外交部長が語る

【南京三十一日發電通】張群新外交部長は三十日午後四時半外交部に日本記者團を招き外交方針に就き左の談話をなした

余は日支外交調整を第一義と考へ努力しつつあるが、從來の日支關係は九・一八事件以來四年經過するも紛糾一掃されざるは遺憾である、これらを解決する問題は短日月に解決出來さうもない、要は江戸明渡しにかける勝海舟と西郷が談判したあの肚と氣合が南京要人にない以上日支關係の好轉は望めない

ため丁代理大使をして日支關係の全面的解決促進を計る方法として會談開催を提議せしめた、會議の名稱組織等未だ決定してゐない、又新聞報道の如く具體的に進んでゐない、日本の三原則は原則として問題でない、然し具體的には何等意見を交換してゐない、來年の日支關係は好くなる樣に希望し居り又極力努力する積りだ、駐日大使は目下適任者を人選中で決定し居らず學生運動には目下極力取締りを勵行してゐるのでこれ以上問題を起すことはあるまい

國府の輸入税引上實施を延期

【南京三十一日發電通】輸出税及び轉口税の減免並にこれが補塡のための輸入税の引上げは明年一月一日から實施されるであらうとその筋に傳へられてゐたが國民政府財政部當局は準備不足の理由でこれが實行不可能の旨三十日發表した

佛内閣前途の樂觀を許さず

【パリ三十日發聯合】重大危機に直面せりと傳へられたラヴアル內閣は二十九日の不信任投票で辛うじて勝利を得たが前途は決して樂觀を許さず、現在急進社會黨閣僚の辭任があれば直ちに崩壊する脆弱性を有して居り、内心ラヴアル首相に對して強硬反對意見を有するエリオ黨首が通貨問題の一段落を俟つて反政府的行動を執るやうなれば內閣の運命は全く危殆に瀕しやう、現へ急進社會黨の多數黨員は來るべき選擧には與黨側に立つよりも寧ろ政府を敵とする方が有利だとしてゐる事實が相當に多いので前途は愈々多難である

二日附朝刊は休刊

元旦は恒例の定休日に當るので二日付朝刊は休刊、而して夕刊は六日より發行

安保氏の評議會員辭任發令

昭和十年十二月三十一日

臺灣總督府評議會員 安保忠毅

願に依り臺灣總督府評議會員を免ず

人事

▲岡田財務局長 二日歸臺

▲園部庄平氏(前警務局長) 二日來臺の筈(鐵道ホテル)

▲松方正熊氏(帝國製糖社長) 二日内地より來臺

▲内ヶ崎良平氏(臺灣製糖取締役) 一日新營へ

世界の何處よりも日本は仕合せだ

公債消化は心配は要らぬ 明けて八十三の高橋藏相語る

【東京三十一日發】岡田内閣の大黒柱非常時日本の最も頼もしい人として國民各階級から敬愛の的となつてゐる高橋藏相は明けて八十三歳の春を顧る元氣の裡に迎へるが、昭和十一年にかける經濟財政各方面の展望に關し記者との間に左の如き興味ある一問一答を試み昭和七年滿洲事變以後藏相の手に依り執り來つた所謂高橋財政の要諦を披瀝するとともに昭和十一年財界の見透しに就き樂觀的意見を洩らした

記者 十年の財界を回顧して感想は如何ですか

高橋 概く段階調であつた貿易は不思議な位好結果に終り同慶に堪へない

記 歐米諸國に就ては

高 英米初め各國ともに經濟回復に努めた樣であるが、歐洲大戰以來の疲弊たる戰後回復に [illegible] て眞の建直しをする段 [illegible] から寄つてゐると思ふ [illegible]

記 農村最近の狀況は

高 十年は米もよし繭もよし大體持直したと思ふ、又農村の家內工業を盛んにするため軍需品中の部分品等出來る限り農村の手に移すことに努める積りである

記 世界各國とも國民經濟の疲弊のため大規模な土木事業を起してゐますが我國でも農村振興のため新事業を始めるお考へありませんか

高 日本は滿洲事變が勃發し軍備擴張時代に入りこれが失業救濟に大いに役立つた、ルーズベルト大統領も產業振興、土木事業等に失業者を使用した、これは自分の對策に共鳴したものと考へる

記 公債消化の將來に就ては

高 富分心配せんでもよい、私は犬養內閣に藏相となつて金の輸出を禁止する一方日銀の保證準備を一躍十億圓に擴張し又公債の發行方法を日銀引受けに變更した從來の公債發行は公債引受シンジケートを通じて行つたので若し現在でもこの方法を取つてゐたならば民間事業資金を枯渇させてしまつたであらう

記 この財政インフレは當分續けられるでせうか

高 公債の信用が確實に維持される限り財界に心配を與へる樣なことはないと思ふ、私は十一年の年頭に當り國民が一致協力を續けて行くならば心配する事はないと確信してゐることを傳へたい

遲羅隨一の人物 マ內相來朝

三十日太洋丸

[illegible]

謹賀新年 (イロハ順)

臺灣日日新報社

河村徹 赤石定藏

石原幸作 伊藤造三 飯岡駒太郎 入貝良郎 池端貞雄
石原清秀 磯野正治 岩田頭榮 岩澤慶二 岩村楠雄
長谷理毅 服部榮一 濱中弘行 林松太郎 馬場八重
西田力松 西川潤 二戸貞智 星野有終 服部 [illegible]
富永豐文 陳清池 張傳仁 張清德 林佛國
林東辰 李聯璧 大澤貞吉 大竹文輔 大澤榮之進
大屋林吉 大平榮太郎 小倉敏 小川芳郎 岡山實
渡邊國弘 渡邊義孝 渡邊良太郎 河島孝二 加藤誠一
金崎勳 樫山嘉敏 郭榮宗 吉田平三 吉田清一郎
吉田一正 吉永道雄 吉野昇之助 吉光帖七 谷河梅人
田中實明 高田忠平 武富榮代一 建部晉起 武田一
田島信治郎 竹澤太一 武田千代次郎 相馬市太郎 鶴長榮仲太
津森眞治 中曾根武多 中島文雄 永井省三 中柳勝次
長宗重一 永井文三郎 永井三郎助 内藤光起 根子清
植田梧之助 上田久吉 上田商人 氏家康一 野村秋平
野尻節司 野澤正雄 野村幸一 國島守 黒田清政
黒江清吉 桑原博 倉田春雄 山田象三 山村光敏
山本英一 山崎三浩 山本宗良男 八木季喜 前田莊吉
前野鶴若 増栄直次郎 松田務 松井實之 牧野昇三
松原元襄 福超吉良 藤原正雄 深川市次 福島唯夫
福島正道 小林正芳 小高義雄 木場一三 黄寶樹
黄慶氏秋桂 深川首 江口淸作 江之口榮藏 兩國俊彦
江原行三郎 朝野寛光 有富宇一 佐々木寛 笹盛治平
佐々英彦 坂田嘉家久 親清德 木原實 木津秀男
木下七郎 許賽亭 菊地勝造 湯川幸雄 三宅朝大近
三宅久爾 宮本鶴磐 宮尾進 重松朝演 白石彌吉
志波忠紀 島田福吉 島守正紀 正戸勇二郎 謝倉
謝毅 平野榮 平松得 森岡喜重
先鋒平治郎 杉野森助 鈴木一之介 杉浦愛賢駝

客員

長井永太郎 山崎 [illegible]

[illegible]

謹賀新年

臺北市建成町一ノ三八 王捷發商店 呼出電話貳〇九番

人力車部品附屬品一式各種タイヤ商

臺北市大龍峒町 昭和家畜株式會社

松山庄役場 庄長 中村安藏 助役 潘迺文 會計役 川口 [illegible] 外職員一同

松山復記產業合資會社 代表者 陳復禮 電話八番

東石郡守 田中保

臺灣總督府評議會員 朴子街長 從七位 黄媽典

臺南州協議會員 太保庄長 王國材

布袋庄長 宮崎權八 外職員一同

鹿草庄長 白井房吉

野崎臺灣鹽行 布袋電話三番

乘合貸切 東石自動車株式會社 朴子電話八番

朴子街協議會員
芳賀生三 岩本信夫 黄啓南 鄭慶朝 吳耀明 黄吉水

(保證責任)
朴子信用組合
朴子建築信用購買利用組合
港墘信用購買利用組合
布袋信用購買利用組合
鹿草信用販賣購買利用組合
東石港信用購買利用組合
太保信用利用組合
牛桃灣信用利用組合
義竹信用販賣購買利用組合
蒜頭信用購買利用組合

有限責任 臺南簡易興產信用組合

土木建築請負業 菅組 [illegible]

高雄自動車合資會社 電話二四〇、二〇三番

土木建築請負業 金子組 電話貳九五五番

高雄市新濱町 賣藥 辻天生堂

高雄市 海野組

高雄市湊町 森本吳服店

高雄勞働需給組合

眺望絶佳 伊東旅館 高雄市西子灣

シボレー 日本ゼネラルモータース株式會社特約販賣店 臺南合名會社山田商店 高雄出張所

高雄市 石橋寫眞館

高雄市榮町貳丁目 古鐵商 山崎楠猪

高雄市湊町 アイデヤ寫眞館

高雄酒精株式會社 專務取締役 外山省吾

土木建築請負業 高雄市湊町 東本定楠

高雄市新濱町三丁目二十四番地 日本食料工業株式會社 高雄出張所

辰馬汽船株式會社 臺灣出張員 福岡勝郎

大連汽船株式會社 高雄出張員 矢野倫平 臺北出張員 松井爲次郎

辰馬汽船株式會社 大連汽船株式會社代理店 艀船運送業 曳船業 苦力請負 代理業 丸一組

高雄州自動車協會 高雄市

臺灣高雄市新濱町二丁目二番地 海陸運送業 勞力請負業 代理業 株式會社 日東商船組

高雄市榮町 高雄土木建築請負業組合 電話二四一六番

謹賀新年

皇紀二五九六年

幣原坦

野日敏治

松岡一衛

赤司初太郎

後宮信太郎

木村泰治

廣岡信三郎

大島卓爾

近藤有曾

小松吉久

中辻喜次郎

辯護士 安保忠毅　臺北市下奎府町一丁目一六八番地　電話一七五一六番

島田利吉（臺灣瓦斯株式會社）

三毛菊次郎（金瓜石鑛山事務所）

三宅又雄

安座上眞

古賀三千人

山中佐太郎

藤田輝三

藤原此一

江原節郎

高橋猪之助

米花伊太郎（臺灣瓦斯株式會社）

吉田坦藏　臺北市榮町一ノ五　電話 自宅四一一八 一八五二番

非常時の新春を迎へ世界の平和と國家の萬福を祈る　昭和十一年一月一日　臺北市榮町一丁目十八番地　川田種治

臺灣ネオン合資會社　代表者 中村節夫　臺北市幸町四ノ八　電話一九一四番

化粧品卸商　十一屋商店　脇村元造　本店 臺北市本町二丁目　支店 高雄市榮町一丁目　小賣部 臺北市西門町二丁目

臺北辯護士會員（イロハ順）

岩本喜之助　臺北市水道町一ノ一　電話三八一番

井川正直　臺北市末廣町三ノ四　電話八一二七番

石堂明治　臺北市末廣町二ノ二　電話一〇〇四番

堀田眞猿　臺北市本町四ノ七　電話 事務所二四七三番 自宅三九五番

知念政信　臺北市建成町一ノ九五　電話二一四八番

陳有輝　臺北市元園町一〇　電話二六九五番

陳逸松　臺北市太平町一ノ四　電話四三六一番

李瑞漢　臺北市永樂町二ノ五九　電話三五九六番

川村淳　臺北市榮町一ノ五　電話二三一七番

金子光太郎　臺北市末廣町三ノ七　電話八六六番

金子保次郎　臺北市下奎府町一ノ一五〇　電話 事務所二四六二番 自宅四〇六番

神村三郎　臺北市永樂町一ノ四八　電話四二六六番

吉江潤國　臺北市東門町一三　電話三九九一番

横山市治　臺北市太平町二ノ九二　電話二四八九番

土屋理喜治　臺北市大和町三ノ三　電話三三六番

長尾景德　臺北市建成町三ノ五　電話一四九八番

永山章次郎　臺北市大正町三ノ一〇　電話二四六〇番

安則三之助　臺北市下奎府町二ノ六　電話三五一九番

桝見良作　臺北市末廣町三ノ一　電話八一七番

古屋貞雄　臺北市京町四ノ三　電話一九九八番

小宮元之助　臺北市本町四ノ七、八、九　電話四四四番

吳鴻麟　臺北市建成町一ノ九一　電話四一九四番

蔡式穀　臺北市太平町二ノ九二　電話三四一六番

木村長十郎　臺北市大和町四ノ八　電話四四一一番

三谷仁思　臺北市末廣町四ノ二　電話五七六番

施炳訓　臺北市御成町一ノ二　電話三六五七番

蕭祥安　臺北市北門町四　電話三七五五番

小山隼太　臺北市京町四ノ一〇　電話四一五九番

潁川增福　臺北市本町四ノ七、八、九　電話二〇八九番

榎木田泰輔　臺北市北門町一四　電話四四〇八番

安保忠毅　臺北市下奎府町一ノ一六八　電話 事務所一五七一番 自宅一五六番

有水常次郎　臺北市太平町三ノ一〇　電話一四四一番

周延壽　臺北市日新町二ノ九　電話 自宅三四七三番

檜垣元秀　臺北市下奎府町一ノ一六八　電話 自宅二一〇七番

高級洋服 トンビ マント レインコート 各種各品

臺北市京町二丁目九番地　吉井洋服店　同基隆出張所　電話一三八二番

庄長 宮川三二　助役 劉尚　會計役 劉港

協議會員
佐後沖吉黃鄭李簡蘇黒
伯藤　永　口
郷章亮一建　慈仁勘　賢烟
介司吉郎祥　興保仔　家
佐秋黒高劉陳許簡陳潘
藤山木
清長　神　天景松天宏
一剛助枝明生滄霖註水

金瓜石 黃仁祥

金瓜石 簡深淵

金瓜石 呂阿火

金瓜石 村上組　村上勝右衛門　本店 茨城縣日立鑛山之內

金瓜石 伊藤組　菊池勇治郎　本店 東京市淀橋區...小石川七五〇七

金瓜石 岡田組出張所　本店 臺北市北門町七　電話長三〇九三一六番

金瓜石 田村組出張所　本店 臺北市末廣町一ノ八　電話長七四二番

金瓜石 廣木組出張所　本店 基隆市義重町一ノ三　電話三二三番

基隆郡瑞芳庄水南洞二七　土木請負 邱石發

基隆郡瑞芳庄水南洞　酒類煙草 食糧品販賣 葉雲蒼

基隆郡瑞芳庄 蘇賢仔

基隆郡瑞芳庄 王愛玉

臺林公司　代表者 陳天註

基隆郡瑞芳庄焿子寮三一七　林溪土

基隆郡瑞芳庄　義和商店　高九登

臺林水車　代表者 余柴林　基隆郡瑞芳庄

基隆郡瑞芳庄　金鑛業 郭水生

基隆郡瑞芳庄　金鑛業 胡文珍

基隆郡瑞芳庄　金鑛業 曾阿著

基隆郡瑞芳庄 吳火土

基隆郡瑞芳庄　金鑛業 張添壽

基隆郡瑞芳庄　金鑛業 曾有富

基隆郡瑞芳庄　金鑛業 張同

瑞芳鑛山　黎元醫院　內科 外科 レントゲン科 理化學治療科　詹添木

基隆郡瑞芳庄小粗坑　金厚利公司　理事長 周錦樹

基隆郡瑞芳庄大粗坑　振山金鑛部　許金財　基隆郡瑞芳庄九分　...

吳文通　基隆郡瑞芳庄焿子寮三一七

基隆郡瑞芳庄　瑞芳鑛山 興業場　昇平座

金瓜石　鑛山ホテル　電話金瓜石二六番

瑞芳鑛山　カフエー ときわ　明けまして御目出度う 本年も相變らず御ひいきに　さち子 孝子 房子 みよ子 初子

撞球には優秀の美人ゲーム取 サービス第一の德和ビリヤードへ　德和倶樂部　潘宏德

瑞芳金山唯一の喫茶店 臺灣美人揃にて特別サービス 新春一度は臺灣樓へ　店主 葉傳芳

新春を迎へ香高き檜酒にて美人揃でサービス致します　朝鮮亭　瑞芳庄九分

出張所 金瓜石鑛山石井工場　臺北市老松町二丁目十二番地　建築請負 石井組　主任 石井愛二　電話三四四八番

臺灣電氣鎔鋼所 金瓜石出張所　增岡與喜千　電話七星郡松山二六番

基隆郡双溪庄　石炭、コークス 採掘販賣　魚行炭礦公司　代表者 川口乙助　電話 ...四九五番

宜蘭線頂雙溪驛前　御旅館 待合所　双溪館　電話 ...

瑞芳郵便局 佐伯鄉介

金瓜石郵便局 村田早苗

双溪郵便局 村田一鳥廣

基隆炭礦瑞芳、四脚亭鑛業所　公醫 黃烟家

瑞芳驛前　瑞生運送公司　電話八番

平溪庄　庄長 渡邊源　助役 林有　會計役 [illegible]

協議會員
春政胡胡潘
山野
元敏　胡榮啓
雄彥金樟銘
胡蔡黃朱郭
萬丙　烏
合[illegible]木木洛

基隆郡平溪庄　春山醫院　春山元雄

平溪線石底驛前　運送店　石底作業所

平溪線菁桐坑驛前　運送店　菁桐坑作業所

侯硐驛前　運送店　猴硐作業所

基隆郡双溪庄　庄長 鍾田清熊　助役 江照　會計役 許煥章

基隆郡貢寮庄　庄長 白澤傳吉　助役 張阿泉　會計役 張秋水

汐止街長 李朝芳

汐止信用購買利用組合　組合長 陳定國　專務理事 羅水吉

石炭採掘販賣並コークスガラ製造　益興炭礦株式會社　社長 周錦樹

石炭採掘及販賣業　德興株式會社　社長 周錦樹　本社 七星郡汐止街...　礦業所 ...　營業所及坑場 ...

臺北州新莊郡新莊街　文具商 楊建彩

新莊街役場　街長 ...　外職員一同

臺北州後村水利組合長 新莊郡守 金子辰太郎　外職員一同

新莊郡鷺州庄役場　庄長 ...　助役 ...　會計役 ...　外職員一同

賀正　蔡和興　臺北市外...

有限責任 鷺洲信用購買利用組合

保證責任 山腳信用購買利用組合

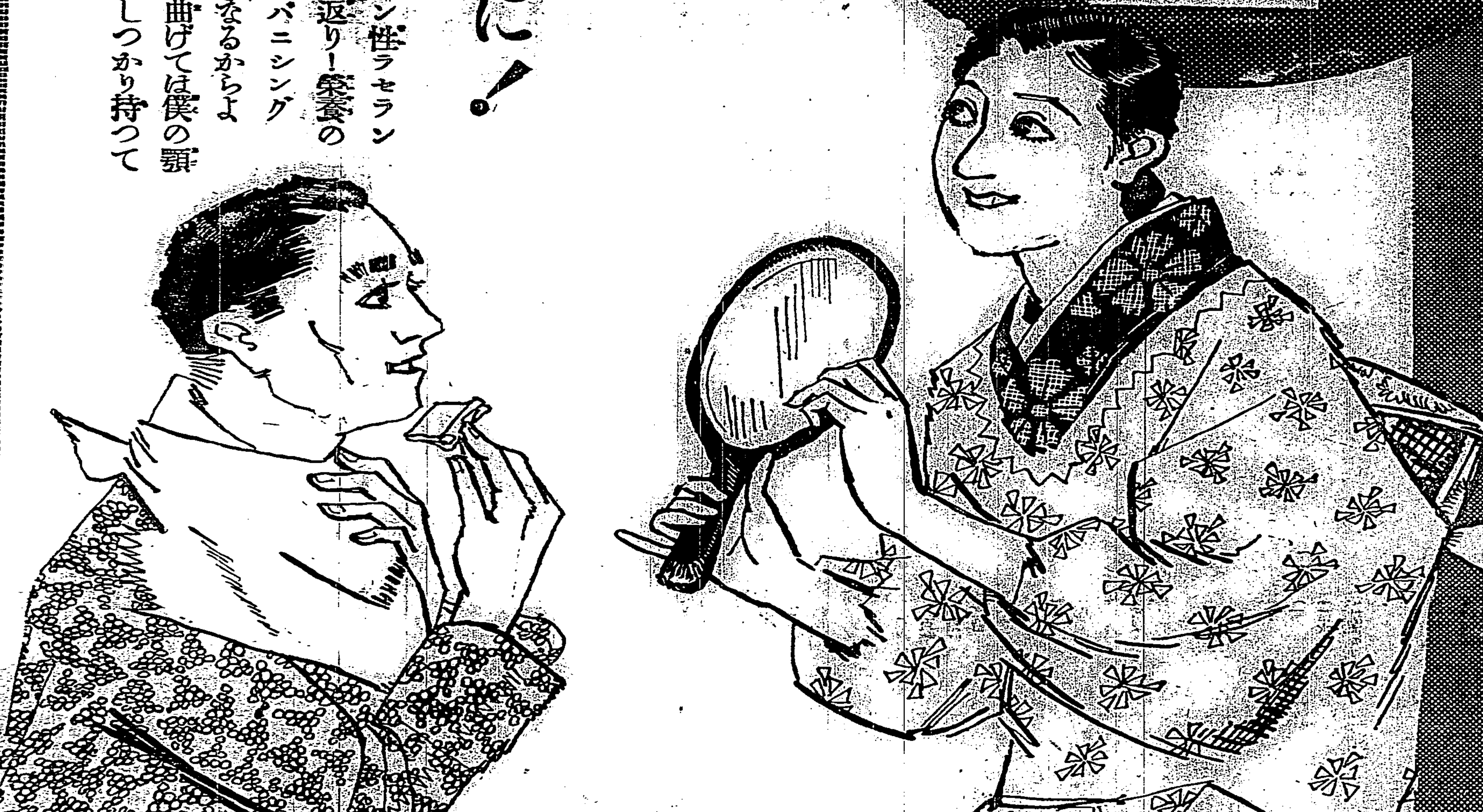
保證責任 三重埔信用購買利用組合

マスター バニシング クリーム

三大スターから
プレゼント
お年玉
お申込の方へ洩れなく進呈

新妻(フラウ)のさし出す手鏡(てかがみ)に！

「北風寒い今日この頃
僕のお肌は生々と
ほんとに新鮮若さに滿ちる」
「まア御一人で御自慢ね
それは私が教へてあげた
お化粧下にアレ止めに
スキンホルモン性ラセラン
應用お肌の若返り！榮養の
あのマスターバニシング
朝夕お愛用になるからよ」
「ウフフ鏡を曲げては僕の顎
切れると危いしつかり持つて」



夜つけて朝の若肌 マスター コールド クリーム

三人のマスター愛好者のスターからとても面白い種々な品をお年玉としてお申込の方へ洩れなく差上げます
A、B、Cは抽籤致します。（十人に一人の割合でA、Bがあたります）

A
❶三大スター鉛筆美麗函入（三本）
❷ターキー傑作寫眞集
❸スター自叙傳
❹スチール寫眞スターサイン入り
❺ターキーサイン用紙サイン入り
❻マスター粉白粉試供品
（六品一組）

B
❶スチールスターサイン入り
❷ターキーサイン用紙サイン入り
❸三大スター鉛筆美麗函入（三本）
❹スター自叙傳
❺マスター粉白粉試供品
（五品一組）

C
❶三大スター鉛筆美麗函入（二本）
❷マスター粉白粉試供品
（二品一組）

申込規定

マスターバニシング、コールドクリームどちらでも三十錢以上の空箱の裏へ新聞名と住所を明記して御送付の方へ三大スターからお年玉をもれなく差上げます。
A、B、Cは公正抽籤致します。
抽籤　十二月廿七日、一月八日、十四日、二十二日、二月五日以上五回に分けて抽籤致しますから御應募下さいましてから約一週間以內に賞品をお手元へ發送致します
締切　一月卅一日
宛名　東京市赤坂區青山高樹町　尙美堂企劃部

バニシングの選び方

バニシングは肌によく溶けてベタつかないのが特徴です。高貴な材料を使つてよく精製されたマスターバニシングはサラつとして使ひ心地が爽かで、肌深く滲透しますから皮膚の新陳代謝を旺んにして、お肌を美しく致します。お化粧下にと化粧後に常になされば寒い夜もアレを知らない艶やかな若肌を保ちます

一段と膨脹を來す 臺灣の存在と力

今年からは正に一に還って 第二階梯への躍進に期待

過ぐ一年……欧に希望の昭和第十一春は明け放れた、すぎし一年の我が財政經濟界を顧みるに中部の大震災、風水害等厄災も少くなかつたが、主要物産の増産、好値が幸ひして所謂好景氣を現出し、之が影響大部分に波及して近年稀なる好况裡に越年する事を得たは喜ばしきことである。

さて今年は──素より國際關係に見て、又財政に見て、依然非常時の名を脱し得ない、然し我が臺灣の一劃に於ては、徒らなる楽觀と悲觀的材料もあげ得ない、何といつても一兩年つゞいた豐產好况は相當地力を発はしめ經濟の膨脹に國力を持たしめてゐる。先きの問題に就ては、米價依存の農產國だけに、その要點を主軸とすべきであつて之に人の努力と天候の好運、市價の好順を祈らねばならない。

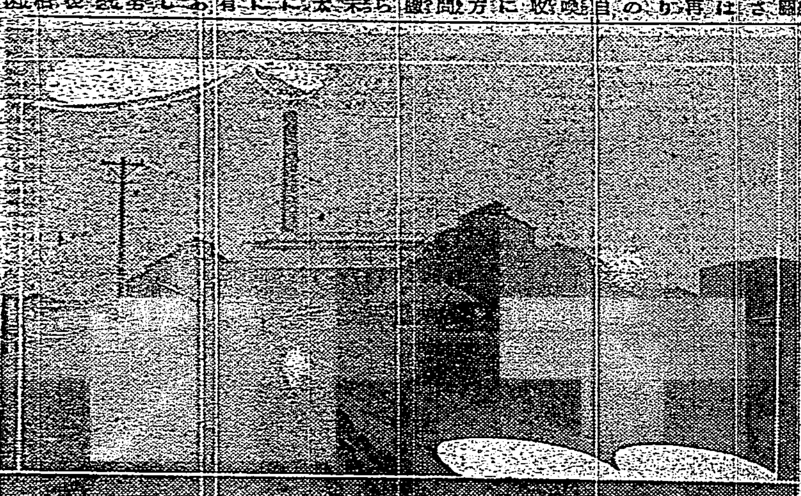
殊に記者はこの昭和十一年を迎ふるに當り、例年にない一種の希望を覚ゆ。それはこの年が種々の意味に於て、更新時期の字義を持つてゐるからである。本年は一に還りてスタートする歳である。即ち先づ昭和第十一年である。子歳である、子は干支の最始で十二支の第一年である。更に本島に於ては正に始政第四十一年に起つ意義ある年である。又別項で殖產局長も言つてゐるやうに、臺灣の産業經濟界を推し茲に昨年迄は言はゞ方策の批判論議時代であつた。されば之に續き局に於ても産業十年計畫を樹て、熱帶産業調査會を開設し、更に拓殖會社も計畫したのだ。そして過去四十年の進歩と將來への指針を博覽會で展示した、この意味で本年は同じ一年でも第二階梯への一歩を始める意義深き歳だと思ふ。即ち本年は始政第四十一年から「批判から實踐へ」「計畫から實行へ」の年でなければならない。記者は斯く信ずるが故に本年から始まる臺灣の目覺しき飛躍を熱望、遙かに期待する所極めて多い、斯くて信ずる──工業臺灣──南方發展政策具現の臺灣の存在と力はより大きくなつて行くのだ。本紙は初刊の一頁を割き主なる財界關係人の年頭所感を徵し紙に紹介することとした(一記者)

内外情勢は 依然─非常時を脱せず

躍進日本の歩度は之を突破せん

臺灣銀行頭取　保田次郎

本年は所謂一九三五・六年の非常時第二年目であり、帝國の國際關係は愈々險惡、而も些かの弛緩を許さぬ情勢である。世界各國の現狀は獨り日本のみならず擧て生活の再建を必要とする重大時機であり、殊に歐洲各國に於ては世界大戰の災禍から脱し切れず[illegible]力に依り再建せんとする日本を嫉視する向と左り、其の措置を[illegible]各國の大なる中國間又は東國に資本を投下せんとする運動が各方面に現はれて來た、エチオピア問題も其の一つの表現である。海軍九日よりロンドンに於て開催せられたる海軍軍縮會議は如何に纏まるか、問題の前途は太平洋であり[illegible]點であり財政上にも依然非常時は既に四ヶ年を閲し、此の間通貨インフレーション政策を持續させて來てゐるのであると思ふ。次に産業經濟界を見るに本年は又財界花形期より新たな活動期へ邁進して來たのである。我國が金輸出再禁止を致してより[illegible]



新設製糖工場

日糖龍巖製糖所

大日本製糖龍巖製糖所は客臘二十五日を以て落成した、所在地は虎尾郡龍巖で龍の如く昇天の意氣に溢ち、巖の如く基礎強固であるといふ縁起を取つたもの、公稱能力一千二百英噸、一月二日より製糖開始の豫定で、原料一億三千七百八十九萬四千餘斤を壓搾し砂糖二十九萬二千八百十擔を製出する見込である

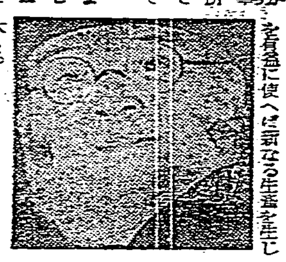
昨年の米、[illegible]は一般に收穫量は少かつたが、價格騰貴で農村不況の緩和に非常な力があつた、又工業の進展は目覺ましきものがあり、友邦滿洲國の建設も着々歩を進められて日滿經濟關係一層緊密となり、北支安定にも曙光を認むるに至り貿易關係も自然好轉するもの、と思はれる。一時通商問題で暗礁に乗り上げた蘭領印度或は英領印度に於てすら昨年の日貨輸入總額は左程減少して居らず[illegible]、東アフリカ、中南米諸國への日貨輸出貿易は非常なる躍進を示し、非常時一九三五年度の日本貿易に對する當初の危惧が全く杞憂に終つたのである。世界各國が如何に日貨を抑壓しやうとしても我國商品の廉價良質の實力に依る流入を阻止する事は出來ず、結局歐米世界各國が日本に對し其の認識を著しく深めて來た事は痛快な事である。

年頭所感

我輩の資本家考

資本は私物で無い

大藏大臣　高橋是清



近年我國の産業も大いに發達して生産も大いに増加するに至つたが[illegible]

◇……國家社會の[illegible]

◇……效用を發揮[illegible]

であるが、一度び其の使ひ方を誤れば無駄に死んで了ふばかりでなく時には[illegible]

◇……資本の蓄積[illegible]

◇……自己の利慾[illegible]

◇……階級闘争[illegible]

(寫眞は高橋藏相)

南支南洋と 吾が臺灣の貿易振興を策せ

地の利に不拘ず甚だ振はぬ現狀 對策は『先づ航路から』

總督府囑託　井出季和太

臺灣の内外貿易額は昭和九年には五億二千萬圓に達し、外國貿易は昭和以來の最高記錄を示し、[illegible]六千四百萬圓を越え、同七年の不況期に比して二千五百萬圓を増加したが、好況時代の昭和元年前後の一億圓に比せば、尚遙に及ばないのである。但し十年の内外總貿易額は更に未曾有の進展を示し、十一月迄の累計に於て五億五千萬圓を突破し、外國貿易も七千二百萬圓を越え、前年同期に比し一千四百四十萬圓を、全年に對し尚八百餘萬圓を増加してゐる、斯くして昨年の總額は恐らくは六億に垂んとすべきである

△　△　△

然れども本島の南支南洋貿易は如何か、昭和元年の南支貿易は二千九百九十萬圓で香港を加へれば四千百四十萬圓に達したものが昭和七年には最低二百九十萬圓で香港を加へて一千萬圓に達したるが、[illegible]一萬六千圓に、同九年は僅かに九千圓臺に激減したのは驚歎すべき現象である。南洋に對しても其の間一千七百六十萬圓が三百九十五萬圓に激落した、而して昨年は若干回復したが、十一月迄の累計に於て南支は九百九十萬圓に上り、前年同期に比し三百餘萬圓を増加し香港を加へれば一千八百十萬圓に達し前年同期に比し五百七十萬圓を増加したが、前記盛時に對せば何倍未だ其の半數に達しないのである、南洋に對しては昭和九年は又若干回復して五百萬圓臺に上つたが、昨年十一月迄の累計は前年同期に比し却つて減退し三百九十二萬圓に過ぎない

△　△　△

斯くも南支南洋貿易の不振の狀態に在るのは近年に於ける世界的不況、排日貨運動の勃興、關税障壁の樹立其の他通商制限等幾多の原因の存するを以て是等の障碍を排除すべきも、一面積極的に貿易の振興方策を確立せねばならぬ、其の方針に關しては昨年十月下旬總督府に開催した熱帶産業調査會の答申中に在るが如き南支南洋に於ける企業投資の助成、金融施設の整備、航路の擴張等有效適切なる方策に俟たねばならぬ、就中實施すべきは航路問題の解決に存する。南支航路の昭和九年の一例に徴するに英船の三十七隻五萬六千七百噸(總噸の六三、〇%)支那船の十二隻二萬六千八百噸(同一八、六%)に對し邦船は十二隻一萬六千四百噸(一八、三%)に過ぎぬ、而して一昨年中期間に於ける廈門入港の定期國別勢力は英船二百七十六隻(五八、六%)貨物噸量六萬七千噸(五〇、二%)、支那船四十七隻、[illegible](三〇、五%)に過ぎぬ、蓋し一葦帶水を隔つ本島を中心とする我が航運の勢力は斯くも微々たる現狀の下に在るを以て將來南支南洋貿易の振興に資せんとせば恐らく總督府に於ては今後航路補助金を増額して航路網の擴充を期すべく[illegible]

因つて本年も突發的大變動の起らぬ限り今日まで持續せる程度の景氣が持續するものと思はれる、然し現在の景氣は跛行的であつて、農村の困窮は稍緩和[illegible]見せたとは言へ不況が一層深刻化してゐる地方もあり、加ふるに農村の人口増加は年々甚しさを加へて困ると言ふ[illegible]ない、中小商工業者の現狀も亦大[illegible]資本の重壓と同業者の無統制なる増加に依つて壓迫を加へられて居るので之等が皆共存共榮なし得る様な經濟機構の改善が急務であると思ふ(寫眞は保田頭取)

專賣制度の 統制合理化に努めたい

專賣局長　田端幸三郎

專賣事業につき昭和十年を顧み併せて十一年を展望するに、昨年は其の前半に於て大震災及び霖雨により多大の災害を蒙つたのにも拘らず、その後半に於ては一般經濟の好況、殊に地方制度の實施、始政記念博覽會の開催等により人氣益々好轉し、[illegible]極めて好況裡に越年したのである。

此の景況

は直ちに我が專賣事業に反映し殊に酒、煙草の賣行目覺ましく十年度末までの賣上豫想は酒は一千二百萬圓を突破すること四、五十萬圓、煙草は一千八百五十萬圓にも達しようといふ見込みが立ち兩者合せて三千九百萬圓即ち四千萬圓に垂んとする盛況である。斯くして昭和十年度の專賣局收入豫算[illegible]

重大使命

に鑑み益々事業の擴充發展を希願して已まないのである。此の意味に於て新年度に於ては更に專賣品の品質向上を計るは勿論、販賣制度の合理化に依り專賣收入の増加に努むると共に原料生産方面に於ては[illegible]

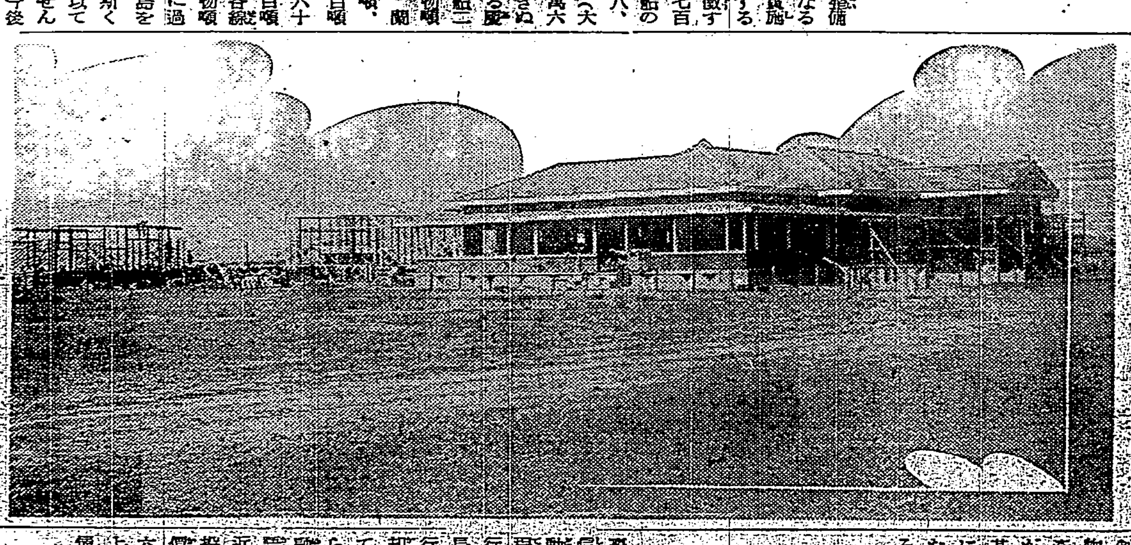
煙草工場

[illegible](寫眞は田端氏)

工業臺灣への大立者

工事中の日本輕銀高雄工場

日月潭電力の最大消費者日本アルミニウム會社の高雄工場は既に事務所が落成し職工社宅も殆んど出來上つた、アルミナ工場と電解工場とは新春早々基礎工事に着手する筈であるが、工場が出來上つて製品が市場に出るのは本年八、九月頃で此の輕銀工場の爲めに社員職工に家族を合せて約五千人の人が要るといふ、新興高雄の發展を象徴する大きな新興工業である(寫眞は事務所)



臺灣産業立策

去年迄は計畫─今年からは實踐─ 決心と努力を要す

殖産局長　中瀨拙夫

本年に於ける本島産業經濟界は昨年を以て方策の批判樹立に在り[illegible]

本年の織物界

生産統制を要す

[illegible]

普遍して來た 本島不動産金融

今年も急激變化なからう

勸業銀行理事　近藤有曾

[illegible]

新年の糖界

我が糖業者の使命は大

大日本製糖會社社長　藤山愛一郎氏談

世界經濟界の大勢は既に[illegible]

解決

[illegible]

砂糖

[illegible]

增產

[illegible]

歐洲

[illegible]

與へられた この宿題

松木幹一郎

[illegible]

今年の 米は高い

最高價格を突破せん

井出松太郎

[illegible]

十一年度督府豫算 經濟關係事業

[illegible]

賀正

謹賀新年

臺北市會議員（いろは順）

飯田清
岩田此一
呂阿昌
西川純
堀田眞猿
陳振能
張園
陳清波
陳逸松
劉天錄
李朝北
大澤貞吉
金子光太郎
貝山好美
唐澤信夫
吉田碩造
楊漢龍
楊海盛
村崎長昶
倉岡彥助
八十川清
安田勝次郎
松田繁義
古川二郎
小林惣次郎
後藤薫
近藤勝次郎
蔡式穀
佐藤龜久次
永越幸一
重田榮治
謝唐山
周宗源
菱村彥十郎
瀨戸山兼斌
鈴木讓三郎

謹賀新年 大和行 幸顯榮 臺北市永樂町五丁目 電話貳七八番

番頭標萬金油 吉元藥行 總經理 陳有福 臺北市港町一丁目五五番地 電話二七七番 振替五〇五五番

ハドソン自動車 テラプレーン自動車 元賣捌 廣合洋行

臺北市大正町二條通り 訓眉建業株式會社 電話二九二〇番

滙兌、兩替 臺北 瑞裕行 電話[illegible]

臺北市太平町四ノ一八 有限責任 稻江信用組合 電話二四八九、二二三番

臺北市永樂町四丁目一番地 裕成公司 電話二二〇六番

老山高麗 乾元藥行 陳茂通 臺北市永樂町三丁目一四 電話一〇六七番

株式會社 臺北市永樂町 永樂座 電話一九五〇番

臺北茶商公會

臺北市京町一丁目 福岡洋家具商會 電話一三七四番

臺北市建成町三丁目 福岡鐵工所 電話八五〇番

臺北北理髮營業組合

臺北市醫師會

臺北市港町三丁目 錦記製茶株式會社 陳天來

林熊徵

林本源柏記產業株式會社 社長 林柏壽

林熊光

食料品商 醤油特約店 丸八松尾本店 臺北京町二 電話[illegible]六五六番

內外物產輸移出入業 株式會社 歸發商行 臺北下奎府町一 電話[illegible]八八番

御旅館 合資會社 大世界ホテル 臺北市太平町 電話四〇[illegible]六番

カフエー百合 臺北永樂町二丁目 電話四貳六七番

羅紗 綿製品商 本田犒商店 臺北市京町 電話貳壹七七番

靴鞄足袋卸商 勝芳商行 臺北市太平町二ノ四九番 有才

古鐵商 ウエス 二葉商店 臺北市中庄子 電話二六〇七番 支店[illegible]

郭廷俊

臺北市末廣町一丁目 持永紙店 電話三八八二番

カフエーヱルテル 臺北 電話四一〇九番

臺北市北町區々長一同

臺北市北區方面委員一同

臺北市太平町三丁目 張東隆商行 支店 基隆 出張所 新竹、蘇澳

臺北市下奎府町一ノ八二 臺灣興業信託株式會社 電話二一七〇番

捷裕參莊 元裕行 榮裕商行 張清港 臺北市太平町三丁目一〇八

株式會社 大稻埕檢番

臺北市本町二丁目 林[illegible]代書事務所

臺北地方法院所屬 司法書士 行政代書 千葉文三

臺北市明石町二丁目一番地 臺灣製氷同業組合 電話四、六五七番 振替口座臺灣二九八三番

臺北北人力車營業組合 電話二〇九一番

和洋雜貨商 三村商店 臺北市御成町一丁目十九番地

廈門豐南信託公司 臺灣代理店 天南信託公司 臺北市永樂町五 電話四九六番

臺北和洋雜貨卸商組合 組合員一同

明けましてお目出度う本年も相變りませず倍舊の御愛顧をお願ひ致します ホテル專屬 高砂蒸汽洗濯部 臺北市北門町七 電話一三三六番

臺北市建成町二ノ九 電話商品券 賣買並ニ金融 正和電話店 電話三二五番 楊正

林成益商店 臺北市新富町[illegible]

臺北州自動車營業組合 臺北市明石町 電話一二九二番

臺北市永樂町二ノ五四 大有物產株式會社 電話一八七〇番 二三五〇番

美術紙器 一般材料 鄭榮發兄弟商會

臺北市西門町三ノ二 小堀硝子店

保證責任 萬華信用利用組合 臺北市入船町二丁目四十六番地 電話[illegible]〇五八番

日本石油株式會社 臺灣鑛業所 臺灣製油所 臺北販賣店

臺灣土地建物株式會社 臺北、基隆、高雄、嘉義

臺灣倉庫株式會社 本店 基隆市 支店 高雄市 出張所 臺北市 臺中市 臺南市

臺灣瓦斯株式會社 臺北市濱町二丁目十三番地 電話 一三九九番 [illegible]一五一番

御二十三日振りに 皇后樣が御床拂ひ
聖上と御挨拶を交はさる

【東京三十一日發】去る十一月廿八日畏くも御産生あらせられて以來、皇后陛下には只管御靜養に努めさせられ御經過極めて御順調に渡らせられるので御二十三日振りにて三十日御床拂ひ遊ばされた、此の日皇后陛下には午前十時御床拂ひ御洋裝で御內儀に出御、天皇陛下と御挨拶を交はされ皇太子殿下を始め奉り照宮、孝宮兩宮樣にも御對面、更に午前十一時大奧謁見所に於いて湯淺宮相、廣幡大夫、鈴木侍從長等の御祝詞を受けさせられた、尚皇太后陛下には御使を以て鮮魚一籠を御贈進御祝ひを御言上遊ばされ、各皇族妃殿下にも御使を以て夫々御祝ひを言上遊ばされたが皇后陛下には正午御內儀に於いて天皇陛下、皇太子殿下、照宮樣と御久振りで御祝膳に就かせられ御歡談あらせられた

愈よけふ待望の 立教軍と鐵の對戰
新春劈頭 勝者はいづれが 名乘りを上げるか

昭和十一年の元旦は明けた、全島の野球愛好者が待ちに待つた本年第一回の立教大學對鐵團の試合は、いよいよ今日から圓山球場にて華々しく展開される、その開幕戰たる立教對鐵團の試合は午後一時三十分から開始されんとしてゐる、一は今秋の東部大學リーグ戰に惜くも優勝を逸し第二位を獲得したる精鋭、一は島都の古豪として覇を誇る強者、共にその名に於て石に噛りついても負けられぬ一戰である、果して勝敗は如何なるチャンスが何れに惠むか、オーソドックスに開展するは誰と誰か、將又よくその持つ打擊の地力を發揮するか、高唱すべきは浦田、吉井兩將、果して如何なる智策をもつて試合をはこばんとするか、さて新春劈頭の圓山球場に高唱するは何れのチームか、待望の白熱試合は迫つて數時間の後に展開せられんとしてゐる

戰を前にして 兩軍主將抱負を語る

投手團も いい調子です 立教浦田主將談

三十一日午前中早くも最後の練習を切り上げて新起館の二階に納つた立教チームのキャプテン臺北一中出身の浦田君を訪へば餘裕綽々たる態度で左の如く必勝の成算を漏らしてゐた

總體的には充分ではないが旅の疲れも恢復したし比較的好調です、投手團も各人のバッチングもいい調子ですよ、菅、田部、吉井君などが張切つてをります、きつと…

勿論勝つつもりです 鐵團山木主將談

三十一日午後四時頃最後の猛練習を終へてしたたる汗を拭ひながら鐵團山木主將が語る

いよいよ試合になりました、立教の練習を一寸みましたが仲々よく大したもので鐵團の相手として不足はありません、私の方は誰が投げるかその時になつてみないと何とも云へません、敵の投手は投手君ぢやないかと豫想してゐます、勿論勝つ積もりでやります、鐵團のファンの方の御聲援をきつと報いたい覺悟です

けふの審判員と兩軍ベンチ

本日の試合の先攻は立教で審判員及び兩軍のベンチは左の如くである

△審判員 球審 飯島氏 壘審 田中侍氏 河內氏 抜井氏
△ベンチ 立教 三壘側 鐵團 一壘側

觀覽者心得

一、午前十時以前は入場を御斷りします
一、試合舉行の場合は正午花火二發を打揚げて合圖をします
一、會場前村賣場は正門入口と勅使街道側入口の二ケ所にあります
一、入場券は一般券二圓普入學生券五十錢小兒三十錢となつております
一、場內にありては係員の指示に從つて下さい
一、場內には賣店の設備があります
一、貴賓は來賓席に設備してあります

二萬人まで人間を 完全に隱蔽する光線
ハ國の一學者が發明

【ベルリン二十九日發聯合】二十九日附ジャーナル紙の報道によれば目下ロンドン滯在中の著名なハンガリア人科學者ブリビル氏は人體を外部から完全に隱蔽する神秘的光線を發明、實驗の結果人間二萬人を完全に外部から隱蔽する事に成功した、ブリビル氏は最初ブタペストに在る自己の研究所において研究中偶然水銀燈光線中に置かれた物體が漸次薄れ遂には完全に見えなくなるのにヒントを得て更に研究を重ね今回の成功を見るに至つたもので氏は今後もロンドンにおいて實驗を繼續し右光線の改良に努力する筈である

四百米背泳で 世界新記錄を出す
マイアミでキーフア選手が

【マイアミ廿九日發同盟】矢繼早の記錄更新で斯界に驚異を與へつつあるアドルフ・キーフア選手は二十九日當地で舉行されたマイアミ・ボバチモア水泳大會において又復四百米背泳に五分二十八秒六の世界新記錄を出し保持した從來の世界公認記錄は我が清川正二君の五分三十秒四で清川君の記錄はキーフアー君によつて三度更新された譯である

かりがね號 昨日歸北

フオツカー式三M機「かりがね」號は三十一日午前六時八分(臺灣時刻)太刀洗飛行場を出發、同十時三十六分那覇着、同地にて燃料を補給の上、同十二時五十五分同所を離陸、折からの季節風を冒して午後三時三十九分松山の臺北飛行場に到着した、搭乘員は大森機長、安部航空士、田代機關士、鈴田通信士の四氏で有料貨物一鐵及び正月用の社用貨物五十瓩を搭載してゐた、尚同機は徹夜で二日朝までのうちに旅客機としての整備を行つた

明二日午前九時臺北飛行場を出發し臺灣內地間定期航空の上り第一便に就航する日本航空輸送會社の…

臺內間の定期航空 あすから正式開始
上り第一便に最初の旅客として 大竹本社員が搭乘

五百萬島民はもとより全國の人々が待望してやまない臺灣內地間定期航空は愈々昭和十一年新春を期として正式に旅客、郵便、貨物の取扱ひを開始することとなり內臺間交通史上に劃期のページを綴ることとなつた、その第一便は明二日上り下りとも臺北、福岡兩地を出發するが午前九時臺北飛行場發上り就航の「かりがね號」には第一號の航空券を獲得した本社整理部副部長大竹文輔氏が初旅客として搭乘、既報の如く臺北福岡間千六百粁の空路を翔破することになつた、氏は旅行印象記を執筆し新春早々の本紙に色彩を添へ併せて今後の航空客に好個の參考資料を提供する筈である

正月の天候

臺北觀測所の打診によると正月の天候は上々吉の日本晴と云ふわけには行かないが、曇り一時小雨があるかも知れぬ程度、それが二日三日と續くだらうとの事である

立教對鐵團第一回戰
午後一時半から圓山球場で

七十名の匪賊が バス二臺を襲擊
孫家堡で搭乘者十二名殺傷し 武器彈藥を掠奪

【安東三十日發】大孤山鐵路總局バス二臺が二十九日午前九時三十分頃安奉線鳳凰城を出發同地西方十六キロの鳳城縣第一區孫家堡に差しかかつた際匪賊七十名に襲擊され邦人乘務員森田寬氏外二名及び滿西巡人一名並に滿洲國人乘客五名は即死し、邦人運轉手一名、滿洲國人三名重傷を負ひ搭載の鐵兵銃一挺、…、モーゼル銃三挺及び彈藥三百發は掠奪された、急報に依り鳳凰城及び大孤山から討伐隊が現地に急行したが既に匪賊は逃走した後であつたので已むなく死傷者を收容午後三時鳳凰城に引揚げた

解雇をうらみ 杯機嫌で亂暴

【高雄電話】二十八日午後七時頃高雄市北門町高雄タクシー事務所に怒鳴り込んで來た醉どれがあり手當り次第に亂暴を働くので市內壽町派出所相生巡查が引致取調べの結果右は市內湊町二丁目木炭商清水館に投宿中の前川弘(二三)と云ひつい先頃迄前記高雄タクシー會社運轉手見習助手として勤務してゐたが馘首されたのを恨んで一杯機嫌の餘り暴行をやつたものと見られ目下留置場の御厄介となつてゐる

二日の初荷
農村景氣を反映

臺北に於ける昨年末の市況は景氣の後を受け大賣出しも不成績と思はれてゐたのに二十八、九日から人出が目覺ましく增加し案外の好成績を收め問屋筋にあつても歳暮の影響で集金成績の思はしくない地方もあつたが何分米價高く殊に丸糖の好値續きと大移出に北部農村は大に惠まれ懷具合が頗る好いだけに食料雜貨の賣行よく商業手形の延滯なども殆どないといふ盛況であつた、酒類は米酒紅酒を飲んでゐたものが福祿瑞光に換り又移入酒の二等酒よりも一等酒が多く出たと云つたやうに上級のものへ需要が移つたことは生活程度の向上を如實に示すものである但し樽酒の移入が賣高本位に制限され又例年より早く移入された關係上十二月に入りては樽酒中品不足を告げたものもあつて多少需要を阻まれた形跡も見え十二月中の賣上高は前年より幾らか少かつた模樣である、味の素の島內賣上が昨年中二百九十萬圓を越し人口一人當り五十六錢といふ新記錄に値すべく酒田菌販賣高が一斗樽換算十一、二萬近に達し、昨年に比し一割近く增加したなど明に農村景氣を反映するものである、斯く好況裡に越年したので臺北問屋筋の新年に對する意氣込みも旺んで例により二日の初荷は早朝から華々しく繰出すことになつた、主なる會社商店の初荷豫定をきくに

本町の蒸俱用達會社は荷車三十臺にアサヒ地下足袋、アサヒ靴を滿載し先頭にブリヂストンタイヤ十臺を加へて午前八時から樂隊付にて市內得意先に配布し辰田商店は鶴印萬、龜甲又、ヤマサ醬油、とりこの、アデカ石鹼等をトラック十一臺に滿載して午前七時から市內取引先へ初荷出しをなし、其他一六軒の新高製菓はバナナキャラメル及チューインガム其他をトラック廿五臺に滿載し午前七時から樂隊を先頭に古亭町工場を出發、東光株式會社、森永製品販賣會社、神木洋行、十五屋化粧品部等も各得意先へ初荷を出して市內を練りいやが上にも街頭に新春氣分を漲らせることになつてゐる

新竹消防組の 出初式 四日に舉行

【新竹電話】新竹消防組では四日午前八時より州廳前廣場に於て出初式を擧行し同日午後五時より公會堂に於て新年宴會を催す筈

產業組合協會の豆粕入札

臺灣產業組合協會では三十日午前十一時臺北、新竹兩州產業組合の明年一期作用豆粕の內八萬二千四百八十七枚を競爭入札に付したが三菱二圓九十七錢、三井二圓九十八錢七厘三毛、杉原二圓九十九錢九厘の札を入れ三菱の手に落札した、尚一八萬枚ほど購入することになつてゐる

照宮樣、孝宮樣葉山へ

照宮樣には女子學習院が冬の御休みになつたので孝宮樣御同伴二十六日午後四時五十二分東京驛御發で野口東宮大夫、勅使女官等を隨へられ葉山御用邸に八日頃迄御滯在の御豫定(寫眞は東京驛御發の照宮樣(右)孝宮樣)

元旦と二日の放送

元旦の分

午前の部

【自五・〇〇至五・三〇】宮城宮初詣實況(福岡)福岡、宮崎宮城より中繼
【六・三〇】御歷代天皇御製謹話(一)神武天皇御製、海軍大將加藤寬治、引續いてラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ(臺北觀測所發表)
【七・四五】全國氣象通報(東京)(本日に限りこの時間に放送)
【八・〇〇】吹奏樂(臺北)君が代 臺北第一高等女學校生徒、[illegible] 一月一日 君が代 臺北第二高等女學校生徒 [illegible]
【自一〇・〇〇】[illegible]

午後の部

【一一・五九】正午の時報、氣象通報(臺北觀測所發表)放送局長挨拶、ニュース、娛樂時間(レコード演奏)等、三味線合奏「御代萬歲」(吉丸一昌作詞、今井慶松作曲)箏と唄 今井慶松、中能島欣子、三味線 伊藤松超、三曲合奏「比良」(萬葉集より、宮城道雄作曲)箏と唄 宮城道雄、尺八 吉田晴風、箏 牧瀨喜代子、新邦樂研究會 [illegible]
【一・二〇】[illegible]

夜間の部

【六・〇〇】子供の時間 [illegible]
【六・二五】[illegible]
【七・一〇】[illegible]

二日の分

午前の部

【六・三〇】御歷代天皇御製謹話(東京)(二)金子元臣、引續いてラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ(臺北觀測所發表)
【九・〇〇】萬歲(臺北)砂川金丸 村武 [illegible]

午後の部

[illegible]

夜間の部

【五・〇〇】子供の時間(東京)[illegible]
【六・二五】講演(東京)[illegible]
【九・二〇】氣象通報、臺北觀測所發表、ニュース [illegible]

けふの天氣 (臺北觀測所發表)

臺北地方 南東の和風曇一時雨
一區(北部) 南東の疾風曇一時雨
二區(東部) 北の和風曇一時雨
三區(西部) 北の和風曇一時雨
(南部) 北東の疾風曇一時雨

概況(卅一日午後七時)[illegible]

各地溫度(卅一日午前十一時)

恆春	二〇	臺中	二二
臺東	一七	臺北	一四
高雄	一六	基隆	一六
臺南	一四	鹿兒島	六
澎湖	七	長崎	一
阿里山	五	長崎	二
花蓮港	七	石垣島	一六

ボタン 館新
元旦は午後四時から開店いたします

大阪商船 出帆 [illegible]
近海郵船 基隆出帆 [illegible]
辰馬汽船 出帆 [illegible]
大連汽船 基隆出帆 [illegible]

オールトーキー 國粹映畫「君が代」 元旦より上映仕候 芳乃館
新興超特作 大都會の船唄 十六夜日記 脫線三銃士 芳明館

旅行中に付年賀缺禮仕候 廣岡信三郎
謹賀新年 カフエー 双葉
大成堂印刷所
竹廼家
臺中港信用購買販賣利用組合
太洋社洗濯部
文山郡守 田中鐵太郎
保證責任 木柵信用購買利用販賣組合
株式會社 安部幸商店 臺南支店 臺北出張店 高雄出張店
謹賀新年 丸一組
吉井呉服部
吉井洋品部
吉井マート部
吉井布團服地部
各艦御用達商 井上益喜
本店高雄市驛前 御料理 調子庵
林自轉車商會
春田館
コマトリ食料品店
中尾岩市
小川吳服店
帽子 和洋雜貨 東京式履物商 大倉本店 臺北市榮町一丁目三角

昭和十年大晦日 宮中舉行諸儀式

東京三十一日電。昭和十年大晦日。宮中于午後二時五十分。舉行封印諸儀儀式之際。宮中鳳凰之間。天皇陛下出御。諸員參列。三條掌典長奉仕。嚴肅舉行。猶有大祓之儀。舉于賢所大前。又除夜祭。于午後五時舉行。

外交部長 邀日記者團 談外交方針

南京三十日電。張群外交部長。三十日午後四時半于外交部。招待日本記者團。就外交方針。談話如左。今後日華外交調整。須第一整個努力。然從來日華關係。自九一八事件以來。雖經過四年。而紛糾未能一掃。殊以爲遺憾。當此解決。使日華關係理大使。以臨日華關係全面的促進方法。使提議開會議。而會議之名稱。組織等。尚未決定。又如新聞報道。未至具體的。然日本之三原則。不以原則爲問題。唯于具體的。向無何等交換意見。來年日華關係。希望好轉。且將極力努力。駐日大使。目下物色適任者。亦未至決定。學生運動。目下極力厲行取締。料無更發生問題也云々。

美俄華三國事業家 創立天津投資會社 以爲牽制日本勢力

天津三十日電。美俄華三國事業家所組織天津投資會社。去二十八創立。雖未開始積極的活動。然據所信情報。一部爲外人株主。已漸次判明。要者。宋哲元氏現政權之出現消滅。一面華北新情勢。冀東自治政權。而其健在。冀察政務委員會爲自主的態度。恐于國民政府之華北對策有齟齬。由是誘引外資合理的介在。爲牽制日本勢力之吉內案。北提携爲選提題。周作民氏等出資者爲例外。華人出資者。組織殆全部由浙江財閥所操縱之河北經濟委員會。企圖牽制。嗣因民政府對日態度逆轉。其現實無可疑餘地。際此國成行頗惹注意。

自四月起。改正勅令實子如是。而醫北帝大。爲綜合大學。亦由是名實俱備。殊如本醫學部之使命。如前頃在中央爲問題所言。不啻發揮一般醫學之精華。利用我臺灣所有特殊地位。而于熱帶醫學之研究。最爲致力。以資南方開發。因而對職員之責任。亦屬重于此點。擬于一月。發布學生募集告示。又最後創立帝大之總務長官。乃現在後藤內相。當時于貴族院。說明創設醫學部。後藤內相。新情報告。內相亦大喜悅。

帝大增設醫學部 經拓務法制局承認 郡學務課長歸臺談

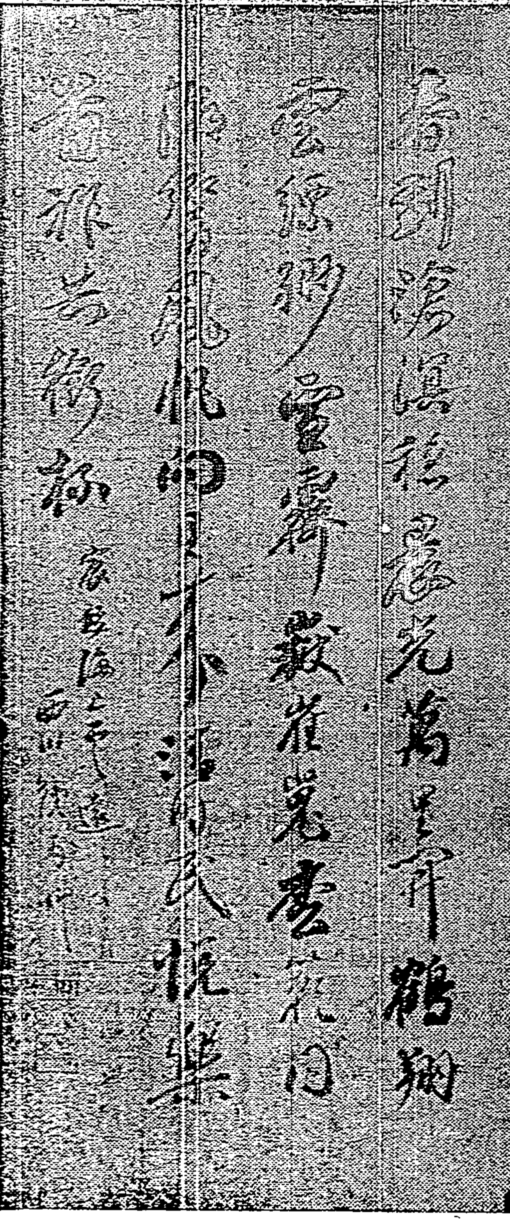
郡學務課長。去二十日。歸自內地。據云晉京要務。爲設置醫學部。撥帶其必要勅令之改正案晉京。自一日抵京後。約三週間。日赴拓務省。法制局等。說明提示。特以拉昭既設內因有此說。遂以種々悉戰苦鬪。方得拓務法制局承認。上程廿四日之閣議。即日可決。于二十六日公布。此因當局之理解及援助。深爲感謝。新于本島醫事衛生之向上。洵堪同慶。該勅令改正者。第一予定北帝大醫設學部之文政學部外。新增設醫學部。第二本醫學部。以二十四講座完成。初年之昭和十一年度。設置生理學第一講座。第二講座。解剖學第一。第二。生化學。病理學第一。細菌學。七講座。該基礎講座所立上。臨床學科之講座。自次年度。逐漸設置。第三本學部。自昭和十一年四月開講。當此準備。任命教授七名。助教授七名。事務官一名。書記三名。司書一名。各任命配置。第四現在醫專。按至新年五月二十日歷校。第大學設附屬醫學專門部。收從來臺北醫專生徒。自然

總督官邸 開忘年會

中川總督。所開之大忘年會。去三十日。開於東門官邸。來賓文武官紳。凡五十六名。席上總督起立致禮後。柳川軍司令官。述來賓謝。盡歡至七時半散會。

上田判官 三十日赴任

既報由高雄法院支部長。榮轉爲高等法院覆審部判官之上田淳治氏。自入高雄醫院而後。節謝絕面會治療中。經過良好。看護之人。愁眉爲開。去三十日午前七時半。突然自高雄驛發車。上北赴任。穿和服。手攜楊杖。由其夫人扶持上車。受井上々席檢



臺北市兒玉町 西川鐵氏書

安保氏辭府評議員 四濃號陰鬱空氣一掃

以爲關於四濃號問題。本島軍部官民間。發生一種陰鬱空氣。此間依保田臺銀頭取斡旋。齊騰三十日午後五時。在東門町總督官邸。中川總督。及軍部柳川軍司令官。福田守備隊司令官。荻洲參謀長。大木憲兵隊長。伴藤高等法院檢察官長。保田頭取。安保忠毅諸氏會合。談論該事件過去經過。於是乎以爲非常時局努力。共擧三帝櫻然。齊約協力一致。飲酒。先是安保氏。自發的提出辭退府評議員辭表於中川總督處。得其受理。同日午後六時。在官邸所開之總督招待忘年宴。安保氏。亦見出席。

南投愛林組合 開總代會

南投愛林組合總代會。去二十八日午前九時起。開于郡會議室。有州林務係山本屬外數氏。郡下竟郡守。庶務。勸業係員等列席。磋商混農林業實施之事。後開懇親宴云。

竊菜犯自供 按近日送檢

七星郡北投庄頂北投字十八分人李貞見。年二十五。自昭和九年八月末。至十年十月間。竊取同庄同番地。陳木盛。外十人之菜計二千餘石。賣與北投人李水塗。陳深池。外外一人之稻米商。得金二百餘圓。浪費於花酒。事被士林分室。高橋。林兩刑事及北投派出所巡查聞及。去十二日檢舉到案。留置取調後。經已自供。按近日中。定送檢察局云。

臺南消防組 四日出初式

臺南消防組。依年例定一月四日朝六時。在南公園。舉行消防出初式。是朝市內各派出所。警鐘亂打。吹鳴三次。於公園後。則順游街市。向各關係機關獻技云。

臺南州署 廿八日政納式

臺南州署政納式。以二十八朝十時。集全署職員。於會議室舉行。今川知事訓示後。林田內務部長答辭。旋閉式。臺南市役所。亦於同時刻。在市會議室舉行。古澤市尹訓示。橫山助役答辭。專賣支局。煙草試驗所。亦於是朝十時。集全體職員。舉封印式。

嘉義

非常搜查

嘉義署及嘉義郡警察課。於去二十九日午後十一時起。至翌三十日午前五時。舉行非常搜查。逮捕行政諸規則違反者。署九件九名。郡警察課。八十九件。八十七名。

演文士劇

嘉義市輞雨若氏花菜園修葺。訂五日午後一時。在同園開花菓品評會。屆時將修宴會員。將以北京語。演文士劇。現由頓會長計畫諸事宜云。

人事

▲新北茶公會長陳天來氏。本年六十有四。去三十夜。其錦記茶行。開內祝宴。招親友。約二百名出席云。

▲文山郡新店茶商高登良氏長男天助君。與市內蔡中萬服實會社專務黃錢氏次女娥媛結婚式。去三十日午後五時。舉行。同六時在市內文山茶行。開披露宴。招待同業者。其他親友。席上有永人生添丁氏。紹介兩家。特說新郎新婦。聚衍一番。高氏答禮。新郎新婦式畢。氏致觀云。

詩壇

新年試筆　五十嵐海洲

曆輕洵鈞歲交新。力農不改心清貧。年逢六十身加健。遙向東方拜帝宸。

朝賀千官五雲祀。瑞靄祥光滿大千。梅笑鳥歌鄉樂事。人沾皇澤享安全。

海上雲遼

旭日光輝臨。乾坤照耀明。風恬雲漸遠。波吹雪新晴。庭鶴翩翩舞。岡鶯睍睆鳴。扶桑君子國。皇運祝強榮。

歲暮書懷　大鹽面江

案上盆梅欲放香。讀書窓裡待春陽。牛朋李歲波千疊。月夕花晨夢一場。處世窮通如有定。畢生麥否似無常。老來歲律驚云暮。落拓天南擬故鄉。

○祭臘詩　郭茂松

祭臘詩將效浪仙。梅花枝上月如弦。爹娘同喜宜春字。兒女平分壓歲錢。不鼠接儀來此夕。犬迎鶯唱待何年。酒酣偶立東風裡。響隔鄰家爆竹燃。

謹賀新年

基隆 安詮院貞熊

基隆 石堂壽一

基隆市 大倉一良

基隆市 本庄運造

基隆市 吾妻傳次郎

金山庄長 盧田俊
萬里庄長 黃棟鄉
七堵庄長 中村忠三郎
瑞芳庄長 宮川三二
貢寮庄長 白澤傳吉
雙溪庄長 鎌田清熊
平溪庄長 渡邊源作

臺灣產業株式會社 基隆市日新町三丁目十三番地 電話長六五〇番・六五一番

株式會社 朝日組基隆出張所 基隆市旭町一丁目五十一番地 (電話九六九番)

石黑樂器店 基隆市

基隆義成家畜會社 基隆市旭町 代表者 電話二七八番・一〇五四番

營業種目 洋花・草花・盆栽・農園・種苗・其他一切 基隆百花園 臺灣基隆市幸町二ノ二〇 型錄御申込次第進呈

コロンビヤ クリーム コロンビヤ白粉 コロンビヤ ポマード 臺灣總代理店 金義德商會 基隆市

基隆阿片小賣組合 何清泰 郭林添 陳青雲 簡旺

土木建築請負業 黃石降 基隆市双葉町十九番地 電話九五〇

松本藥局 基隆市義重町四丁目五番地

合資會社 田邊商店 基隆市日新町 電話五七・四四四番

材木商 山菱商會 基隆市

ツカハラ寫眞館 基隆市 電話

基隆吳服商組合
今井吳服店
富元吳服店
近江屋吳服店
片岡吳服店
かね山吳服店
かねこし吳服店
山一吳服店
松井吳服店
布施吳服店
山岸吳服店

ニコニコタクシー 基隆市義重町 電話四一一番

金物問屋 合資會社 小川商店 基隆市義重町 電話

臺灣酒類賣捌人組合基隆支部 基隆 玉理三造 前島知德 金山 許海亮 瑞芳 黑木長助 双溪 余德興

基隆酒類煙草小賣人組合

郵商船專屬旅館 陸海軍指定旅館 船越旅館 電話五〇〇二番

巖亭 基隆市砂町 電話一〇六番

カフエーミドリ 基隆驛前

御旅館 常盤館 基隆驛前 電話三

公會堂食堂 電話

基隆麻雀俱樂部 基隆市玉田町二ノ一

基隆俱樂部

大成運輸組 基隆市

基隆市氷使賣人營業組合一同

臺北州基隆市日新町三丁目五番地 有限責任基隆信用組合

基隆藥局 電話

イリフネタクシー 基隆市入船町一丁目 電話

臺灣水產株式會社 基隆港

御料理仕出し 滿つや 電話

岸田喫茶部 基隆市義重町

瑞祥行 郭瑞麟 基隆市元町

實業家 林開郡

神戶市浪花町 佐藤商店代理店 吉野爲吉商店 基隆市日新町

庄司商店

カフエーモダン 基隆市義重町五丁目

道上木炭商 基隆市

新春の大飛躍 近代的明朗な下地寫眞館へ

羅紗綿布 聯美洋服店 基隆市元町

新吉發材木商行

雲源公司鐵工所

かね由洋品店 基隆市義重町

撞球營業組合 基隆市

臺灣海陸物產株式會社

基隆船商公會 基隆市福德町一丁目十六番地

蘇澳郡役所 小島猛 須藤義一郎 兒玉貫之

蘇澳庄長 小辻宇吉
助役 高橋均

蘇澳庄協議會員 (イロハ順)
伊藤善喜 盧火旺 陳春土 張傳榮 劉槐旺 林喜郎 金高一鄉 郭勝郎 橫井治某 莊阿鳳 藤兆幸 游嶺利圭 濤越勝三 莊司辨吉

蘇澳郡大南澳 大南澳拓殖株式會社

蘇澳南方澳漁港 蘇澳水產株式會社 電話百番

蘇澳 海南興業株式會社

蘇澳自動車公司 電話四

蘇澳 臺灣石粉株式會社

雨森商行 蘇澳港 電話四六

蘇澳氷塊販賣所 楊連水

蘇澳南方澳港 福島造船所

蘇澳港 木原商店

蘇澳港 淵菓子店 電話二四番

共益自動車株式會社 蘇澳營業所

蘇澳港 中野磯吉

蘇澳港 蘇澳堂藥舖 電話六二番

蘇澳港 近江屋旅館 電話十二番

海山郡三峽庄 陳佛齋

三峽庄協議員 公醫 劉鉅笈

石炭販賣 コークス 三峽炭礦

海山輕鐵株式會社

保證責任三峽信用利用販賣購買組合

保證責任樹林信用購買販賣利用組合

林源記本店

三峽酒煙草食鹽小賣人組合

三峽米粉

三峽煙草賣捌人 陳忠
三峽庄協議會員 吉良一義
三峽酒類賣捌人 石垣用知
三峽庄協議會員 谷山覺雲
三峽庄協議會員 李梅樹
三峽庄協議會員 陳佞
三峽庄協議會員 鄭金塗
三峽庄協議會員 李陳淡
三峽庄協議會員 劉西賓
三峽庄協議會員 陳材浦

吾が南方發展は 總て臺灣が中心

新年と共に覺悟を新たに

臺灣總督　中川健藏

多事なりし昭和十年を送り目出度く昭和十一年の新春を迎へたることは洵に慶賀に堪へざる所であります [illegible]

[illegible]

國體觀念を明徵にし 日本精神を闡明せよ

臺灣軍司令官　陸軍中將　柳川平助

臺灣一般島民と共に新たなる紀元二千五百九十六年の春を迎へまして [illegible]

[illegible]

初日の出　山村耕花氏畫

重大時局に際し 國防の確保に努めよ

海軍大臣　大角岑生

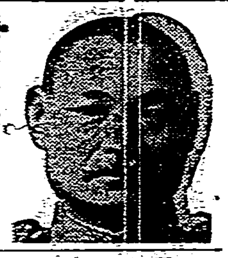
旭光燦然として皇紀二千五百九十六年の新春を迎ふるに際して [illegible]

[illegible]

吾人は列國の公正なる理解に依つて、帝國の實力主張を達成せられ [illegible]

軍民團結して 聖業の貫徹に向はむ

陸軍大臣　川島義之



皇紀二千五百九十六年昭和十一年の新春を迎ふるに當り謹みて [illegible]

[illegible]

清新の氣を以て 諸政策の實現へ

總務長官　平塚廣義

先以て畏くも天皇陛下、皇后陛下、皇太后陛下、皇太子殿下 [illegible]

[illegible]

東亞の危局と克服

東洋の安定勢力として 列國が我を確認するまで

馬公要港部司令官　海軍少將　和田專三

[illegible]

宇垣一成氏新春試筆

海軍軍縮會議と わが日本の主張

帝國の國際孤立は杞憂

海軍武官　酒井武雄

本年は愈々非常時の第二年目に入つた、太平洋が大歐洲になるかならないか [illegible]

甲　帝國の國際孤立を恐るるは杞憂に過ぎない

[illegible]

乙　帝國の對英米均等要求は絕對にして現比率增加の如き目前の好餌に惑はさるる勿れ

[illegible]

丙　極東の紛亂は軍縮會議に關係ない

[illegible]

大國主命

小杉未醒氏畫

[illegible]

賀正

基隆市尹 桑原政夫

顏國年

圖子武八 基隆

松本晃吉 基隆

近江時五郎

林田長二郎 基隆

基隆市日新町六ノ二 河井漁業部 河井良平

福田清吉 基隆

玉福精米所 玉理三造

基隆市役所食堂團

基隆醫師會

基隆市日新町二丁目六番地 基隆土木協會 電話五九二番

竹田義治

印山剛順

臺灣總督府交通局基隆築港出張所 交通局技師 松末勇

基隆市旭町 吳萬輝

高橋勇吉 基隆

基隆市會議員

田尻信次　河合莊太郎　林準二　關本諄一郎　顏欽賢　吉原多三郎　竹田義治　田尻與八郎　居川榮世　土居鑑雄　横井鋼一　陳漢周　明比實平　何瞻　井本定祐　宇田繁　森山藤七　古山昌雄　林藤二　松浦新平　葉松濤　汪榮振　蔡星穀　猪俣敬藏　潘榮春　顏窓吟　王塗盛　邱德金

許梓桑 基隆

基隆市義重町 加藤豐吉 電話三八番

柏木泰助 基隆市日新町五ノ七 電話一〇七四番

桑木源三郎 基隆

基隆郵便局長 山澤次郎

基隆市義重町 是枝正二

基隆市明治町一ノ五 ㊇基隆館運送本店 電話四三番・二一番
臺北市北門町七 同 臺北支店 電話二八八番・二七九一番

泰記汽船株式會社 基隆市

基隆市 臺灣牛乳株式會社 牧場營業所 電話四八番・二〇番 喫茶部 電話八二番

基隆市旭町三丁目五番地 臺灣水產販賣株式會社

本島を引揚げ南支南洋に進展し又は故山に歸臥せられんとする志士仁人は其の地方の圖書館に對し記念として多少に拘はらず圖書の御寄贈を希ふ 基隆 [illegible]

基隆港水先人組合事務所

基隆市 基隆海產物商組合 組合員一同

基隆市義重町三丁目十七番地 新原書店書籍部 電話五〇番 振替一八五八番

基隆市社寮町 川本工作所 電話八五五番

基隆市旭町三丁目 米穀商 加納商會

基隆市義重町二ノ七 和洋御菓子 (一) 一福堂 電話二九番・四一〇番

基隆市日新町四丁目ノ六 木村屋運動具店 電話三一九番

幸町食料品小賣市場 組合員一同

基隆宿屋組合一同

基隆代書業組合

基隆市 飲食店營業組合一同

基隆市 富貴市場組合一同

基隆料理屋組合

基隆貸座敷業組合

有限責任 基隆商工信用組合

基隆市義重町二丁目四番地 黑澤權藏 電話一九五番

伏田金三 基隆

基隆市旭町三ノ六 木村龜吉

山內小藤二　新垣輝盛

小兒科專門 レントゲン科 病室完備 西山小兒科醫院 基隆市日新町海岸通り

米重組出張所 基隆市

港タクシー 電話五九六番

基隆市義重町三丁目四番地 平戶本店 平戶喜代治

平戶蒲鉾店 電話三〇九番

洋品什貨 旅行用具 浪花洋品店 基隆市 電話四八二番

基隆市義重町一丁目十一番地 藤井疊店 電話二八八番

基隆 南サンゴ店

基隆 ㊈丸山洋品店 電話一一三番

基隆材木商組合

基隆驛構內 合資會社 海陸赤帽組 電話七六二番

㊊明比商店　㊅內臺通運合資會社 基隆 基隆港

基隆市濱町五拾參番地 株式會社林兼商店基隆支店

謹賀新年 保證責任 基隆倉庫信用利用組合

謹賀新年 臺北州基隆市濱町五十三番地 共同漁業株式會社臺灣營業所

臺灣基隆市田寮町九五番地 臺灣肥料株式會社

國際通運株式會社基隆支店

基隆中央市場株式會社 社長 李天賜

基隆金瓜石間バス・ハイヤ 基隆金瓜石山私設軌道 基隆市玉田町一ノ三 基隆輕鐵株式會社 電話五四番・一〇九五番

基隆劇場株式會社

基隆市天神町 砂利商 バラス 石門商會 野尻錠一

基隆市入船町二丁目一番地 醱酵瓦斯應用 製鑵專門 米滿鐵工所 巡航船米丸事務所 電話六二四番

基隆市入船町二ノ二 鰹節干魚商 ㊈吉井商店 電話一四五番

石炭採掘請負及石炭販賣業 基隆市 瑞成商行 林朝寶

內臺航路發著待合所 基隆海水浴場 潮湯 港湯 電話五六四番 すき燒、ちり鍋 よせ鍋、其他

御料理 文樂

會席御料理 八千代 基隆海岸通

會席御料理 竹の家 基隆

カフヱー 太陽 基隆市日新町五ノ五

カフヱー ポタン 陳石柳 電話七四一番

ホーライ タクシー 電話八八二番

臺中州彰化市朝日町精米所 印度米販賣 基隆 ㊉田邊商店 電話七二四番

基隆市 海陸物產貿易 ㊈謝裕記商行 ㊈謝裕商行

基隆市旭町一ノ四四番地 船問屋 昇隆公司 電話八六四番

基隆市入船町二丁目一番地ノ一 前田鐵工所 本工場電話七七番 第二工場電話二〇四番

基隆市義重町一丁目廿、廿一番地 和洋雜貨卸商 ㊎金裕德商店 店主 阮茂林 電話八八九番

基隆市堀川町一ノ一八番地 石井鐵工場 金物店 電話七二五番

紺家質店 基隆市

基隆市福德町 東元藥行 電話九〇七番

基隆天神町三 黃彩成

基隆市義重町二ノ七八 江源茂藥行 江瑞英

ひぢり屋建築事務所

基隆驛前 永三旅館 電話四八五番

基隆市 臺陽汽船商事株式會社

基隆酒類煙草小賣人組合聯合會
基隆酒類煙草小賣人組合
金山酒類煙草小賣人組合
雙溪酒類煙草小賣人組合
瑞芳酒類煙草小賣人組合

日本石油株式會社特約販賣店 横井石油店 基隆市玉田町

靴と鞄 各學校指定靴調製 學校靴發賣元 各種運動靴卸商 合資會社 ㊐日新堂

臺灣電化株式會社

基隆市眞砂町參番地 基隆乘合自動車株式會社 流水伊助 流水勇雄

臺灣煙草賣捌人組合基隆支部 基隆 尾辻國吉 阿部貞男 金山 黃棟鄉 瑞芳 野上鶴四 双溪 緒方則繼

株式會社雲泉商會

臺陽鑛業株式會社

合名會社義和商行 代表者 顏國年

㊉山ヨ運送株式會社 臺灣基隆港 振替口座臺灣一二六六番 電略號ヤマヨ 事務所

基隆市 中臺商事株式會社

基隆商和會

年頭偶感　帝國南進の礎石　寶の島わが臺灣

海軍大佐　木幡行

一、臺灣本來の使命

[illegible]

二、南洋發展

[illegible]

三、臺灣の文化

[illegible]

四、非常時

一九三六年、遂に非常時到來る。

[illegible]

澎湖を更生に導く　海の寶庫珊瑚林

豫想生產高一千萬圓

[illegible]

輝やく「國語の家」　吳江立氏の一家

長男の照男君も國語のお蔭で　宜蘭小學校に入學

[illegible]

(寫眞は吳江立氏の一家)

謹賀新年　皇紀二五九六年

宜蘭街長　樋口要司

宜蘭煙草支部　小島仁三郎　中野七二郎

蘭陽土木協會　砂田隣太郎

有限責任　宜蘭建築信用購買利用組合　電話二〇四番

宜蘭街　坪井二一郎

宜蘭街　梅永二一郎

ライト寫眞館　宜蘭街南門通　電話二一〇番

平戸宜蘭支店　電話一六二番・一四七番

宜蘭街　森永種治郎

カフエータツミ　宜蘭街　電話三二二番

宜蘭街　秋山敬治

宜蘭街　笹川正路

宜蘭料理屋組合

臺灣日日新報社　宜蘭羅東取次店　佐藤東一

宜蘭街　辯護士　佐藤德治

宜蘭街　田中吳服店　電話六十一番

臺灣酒類賣捌組合宜蘭支部　第一二區　黃再壽　第一三區　石塚遠　第一四區　折尾德慧　第一五區　長谷川錄郎

恭賀新年　宜蘭街　連碧榕

宜蘭街南門通　辯護士　佐藤麻男　電話二一〇八番

宜蘭街　田中國一

宜蘭醬油株式會社　宜蘭街　電話一三九番・一八〇二番

有限責任　礁溪信用購買販賣利用組合　電話一六六番

臺北州宜蘭街吳門　蓬萊物產合資會社

有限責任　宜蘭信用組合　電話二二四番

宜蘭街協議會員　金森林一　重藤幹一　陳金波　張振茂　渡嘉敷唯動　中山文男　范阿成　吉岡信亮　廖燦堂

宜蘭街　電話九九番　吾妻旅館

宜蘭醫院前通り　蘭陽齒科醫院　古口順三郎

宜蘭街　伊藤工場　電話一一七番

宜蘭土木建築請負業組合　電話二二三番

蘭陽米商協會　會長　葉長櫃　會員一同

員山庄長　高野五郎

礁溪庄長　野口子之吉

宜蘭街　大和屋食料品店　林茂輝　電話二八番

保證責任　員山信用購買販賣利用組合　電話二〇七番

松下電器株式會社配給所　ニコンビクター株式會社代理店　羅東　洋品雑貨　大正堂　電話一三二番

羅東　波江野吉太郎

羅東街　蘭陽自動車株式會社

羅東郡五結庄　臺灣紙業株式會社　臺灣興業株式會社

昭和製糖株式會社　臺北州羅東郡二結　電話二〇四〇番　工場　宜蘭、玉井、苗栗、沙鹿、竹山、大湖　出張所　東京

羅東　藍綠淮

羅東　劉祿鬆

保證責任　利澤簡信用購買販賣利用組合

羅東街協議會員　折尾德慧　清野滿五郎　邱坤土　黑木和七　鈴木進一　陳成岳　林柳賓　(五十音順)

羅東自動車株式會社　取締役社長　林木火

羅東街　小野田快雄

羅東街　伊藤旅館

羅東街　羅東亭

有限責任　羅東信用購買販賣組合

羅東街長　陳純精　三星庄長　佐藤慶三郎　冬山庄長　上岡彌三郎　五結庄長　林維

羅東街　太平閣

羅東大安路　電話五四番　三星自動車合資會社

皇紀二五九六年

謹賀新年

新竹市 增田秀吉

新竹市 青木健一

苗加寛三

荻阪進治

美間正道

新原啓司

新竹州協議會員

清水源次郎　桑原佐一郎　鈴木壽作　大江退三　何金城　何友家　青木行清　本山直枝　山本新太郎　杉本金太郎　姜瑞昌　陳調元　劉德欽

鄭記興業株式會社 鄭肇基

新竹郵便局職員一同

新竹州食堂 會員一同

新竹市會議員

小出正美　村上正陽　陳添登　山下靜一　松尾貞壽　連煥明　黃運金　服部佐吉　林鑑　曾野秀雄　古雲梯　松野俊良　太田重助　石井員夫　黃旺成　森本健助　永石安三郎　陳其祥　邱居財　鄭大明　澤田佐吉郎　藤原彌藏　許振乾　何乾欽　蘇惟梁　中內猷治　許延壽　乾義一

堀克夫

竹南郡 富田嘉明

新竹市 小川末登　松野清純　恒吉信　衛藤壽吉

新竹驛前 日東商船組新竹支店　國際通運新竹支店　大同運輸合資會社　泰益商行運輸部　丸新聯結組

新竹市榮町一丁目二四番地 新竹拓殖軌道株式會社

新竹驛前 合資會社 新竹自動車商會 電話二四五番

臺灣食鹽元賣捌人組合新竹支部　臺灣煙草賣捌人組合新竹支部　臺灣酒類賣捌人組合新竹支部　新竹食鹽煙草酒類小賣人組合聯合會

新竹州米穀商同業組合

新竹州米庫購買販賣利用組合

新竹信用組合 電話壹五四番

新竹郡香山庄 有限責任 香山信用組合 購買販賣利用倉庫

新竹市北門町八〇番地 有限責任 樹林頭信用組合

事務所 新竹市東門町一丁目六番地 新竹州赤糖協會 會長 邱雲 副會長 林籌 外役員、會員、職員一同

新竹土木建築協會 電話六三三番

新竹州柑橘同業組合

新竹市 新竹州帽子株式會社

昭和自動車株式會社 新竹市東門町

コークス製造販賣 東成炭礦 陳濟昌 竹北驛前

米穀製造輸移出入 合資會社 振泰商行 新竹州新竹郡竹北驛前

竹北驛前 捷成米穀商 魏海水

新竹市 臺灣金泉發蓮草株式會社

新竹市南門町二丁目二十五番地 臺灣蓮草拓殖株式會社

新竹ポンカン 御贈答品は戸波商店に限る 電話五〇九番

新竹市榮町 保證責任 新竹州物產販賣購買利用組合 電話五五六番

新竹市東門 (上) 小出吳服店 電話一〇五番

機械、金物、鐵材商 新竹昭和鐵工所 新竹州驛前通り 電話四七番

新竹市東門町一丁目六番地 (全) 新竹合發材木商行 代表者 陳火生

新竹驛前 塚廼家旅館 電話一七番

新竹驛前 田中屋旅館 電話一八番

新竹市東門市場前 玉川寫眞館 電話二五七番

新竹市表町 佐瀨洋服店

新竹カフェー組合

文具紙、石版活版 新竹印刷合名會社 新竹市城隍廟前 電話一五六番

清潭食料品店 店主 魏清潭

新竹市東門町 先覺自轉車店 電話二八番

新竹市東門町 新福春商行

新竹市東門町 世帶道具一式 吳乞商店

新竹市東門町 福榮米店

新竹市 石齒科醫院

永石醫院 院長 永石安三郎 電話二二七番

山下醫院 院長 山下靜一

いそにし

朝鮮亭　榮久　八千代　湖畔　銀猫　三好野　こさご　笹月亭

新竹州竹南郡頭分(電話竹南一四番) 展南拓殖株式會社 社長 黃維生 常務 黃文發

有限責任 頭分信用購買販賣利用組合 電話頭分六番七番

石炭採掘賣卸 合和商行 竹南驛前

有限責任 竹南建築信用購買利用組合 竹南驛前 電話二五番

竹南驛前 萬得百貨店

竹南食鹽煙草酒類小賣人組合

親切丁寧 群英旅館 竹南驛前

竹東郡守 甲木豐吉　庶務課長 大木正喬　警察課長 池田末記　竹東街長 吉田三三郎　芎林庄長 林阿際　橫山庄長 溫安禎　北埔庄長 田中利七　峨眉庄長 鈴木清司　寶山庄長 何乾亮

新竹市表町二丁目 新竹土木建築請負業組合 電話四一八番

新竹市 (イ) 伊勢屋洋品店 電話四九番

新竹市榮町二ノ二五 新竹米穀改善協會 電話一四六九番

新竹市東門町 荒物家具金物諸官衙御用達 田村商行

新竹郡

舊港庄役場 庄長 藤崎新吉 助役 方維欽 會計役 鄭根塗 外職員一同

新埔庄役場 庄長 富山富利 助役 潘欽龍 會計役 楊鑿勝 外職員一同

關西庄役場 庄長 佐藤今朝松 助役 徐嶽生 會計役 吳清嘉 外職員一同

六家庄役場 庄長 何金城 會計役 周標 外職員一同

香山庄役場 庄長 陳雲如 助役 蔡順來 會計役 蔣玉珪 外職員一同

湖口庄役場 庄長 庄司源吉 助役兼會計役 張順慶 外職員一同

紅毛庄役場 庄長 徐慶旺 助役 何建家 會計役 張照蘭 外職員一同

竹南郡

竹南庄役場 庄長 陳榮梅 外職員一同

頭分庄役場 庄長 秋山久七 外職員一同

三灣庄役場 庄長 廖月華 外職員一同

南庄役場 庄長 張春華 外職員一同

造橋庄役場 庄長 徐阿亮 外職員一同

後龍庄役場 庄長 齋藤得治郎 外職員一同

新竹市 因大國屋吳服店

新竹移出柑橘組合

新竹名物ロ〇柿菓子部 印刷部 山中ロ〇堂

小田醫院 小田弘 電話六〇九番

南華旅館

竹東街 久野木造

大湖郡守 山木毅一郎

大湖庄役場 職員一同

竹東街 吳服・雜貨・日用雜貨 金和發

竹東街 長春醫院

竹東街 料理屋 鮮月樓 金深瑞

竹東街 西洋御料理 久壽乃家 吳永金 電話十九番

丸善商店 新竹州竹東街

竹東街竹東三三 各種木材製材販賣 今古承鼎

保證責任 橫山利用購買販賣信用組合 組合長 溫安禎

竹東街 材木商 勝義製所 詹義春

竹東街 カフェー 金雀

竹東街 奥田材木店 奥田廣吉

大湖 松屋旅館 トラック部

農林省蠶業試驗所 主任 永友雄 和田盛直 鳴海敏三郎

苗栗郡守 池田斌

苗栗街南苗 明世鐵工場 劉雪清

苗栗郡苗栗街苗栗 六車藥局 電話三〇番

苗栗米穀改善協會

苗栗日本石油會社 上野幸作

苗栗 鈴木伊勢教

苗栗街 中村邦次郎

苗栗街協議會員 銅鑼食鹽元賣捌 彭松壽

四湖庄長 張恩盛 會計役 郭達信 外職員一同

西湖庄長 石井忠夫 助役 兒玉市次 會計役 邱雲河 外職員一同

苑裡庄長 陳貴 助役 諸岡嘉助 會計役 蔡江清 外職員一同

三叉庄長 陳永財 會計役 湯有榮 外職員一同

銅鑼庄長 本田達 助役 吳蘭森 會計役 連東安 外職員一同

公館庄長 黃玉盛 助役 湯甘穡 會計役 劉熙春 外職員一同

頭屋庄長 徐海碧 會計役 范永南 外職員一同

苗栗街長 宇佐美信吉 助役 鍾建英 會計役 富岡金藏 外職員一同

大湖庄役場 職員一同

新竹州苗栗郡苗栗街 臺灣軌道株式會社

苗栗驛前 旅館 苗栗館

臺灣倉庫株式會社苗栗出張所 主任 重田角之助　國際通運株式會社苗栗出張所 主任 片岡種　苗栗作業所 鶴田雄司

苗栗街市場前 川瀨商店 川瀨雅夫

苗栗煙草賣捌人 梅本馨

土木請負業 鍾添來

苗栗製材所 風呂桶專門製造 主人 林阿墩

苗栗街 吉昌藥房 主人 朱長順

保證責任苗栗信用購買販賣利用組合 組合長 宇佐美信吉 專務理事 劉阿城

苗栗食鹽元賣捌人 鍾建英

苗栗街協議會員 江錠松

苗栗酒賣捌人 森幸三郎

大溪街協議會員

前田千里　三塚譲助　江宗超　林清山　簡長德　官木　江次炎　中田正明　中林二郎　江宗盛　簡家源　李傳庚　黃金來　黃進富　加藤仁作　片山信太郎　傅祖鑑　陳水性　趙德霖　李詩

大溪街役場 街長 吉田大郎 助役 黃宗寬 會計役 徐阿南 職員一同

新竹州大溪街 中林二郎 電話一〇番

大溪自動車株式會社

西螺街役場

西螺街信用組合

虎尾郡水利組合

西螺街米穀組合

虎尾郡 崙背庄信用組合

西螺街 李錫禧

西螺街 朝鮮樓 店主 趙鳳順

西螺街 白米精米 新源隆工場 店主 廖壽

西螺 貴賓閣

西螺街 瀨上醫院

西螺街 同生醫院

二崙庄 廖奏

新竹州民多年の熱望
嵐山溫泉道路開鑿
今年中に自動車が運行する

さしいげる此の日の本の光より ここ數十年を知るらむ [illegible] 臺灣は今でこそ [illegible] 溫かい春の日の光は今でも [illegible] 地でこそあるまいか― [illegible]

ひて新竹州下の觀光を日程に入れるとすれば大溪郡角板山が指定される。角板山は蕃地であり [illegible] 新竹市には [illegible] 嵐山溫泉道路開鑿の [illegible] 新竹から日歸り行程は可能であり [illegible] 期待さるべく [illegible] 正月早々に有頂天となつてゐるのである

[illegible]

長壽者の多い
健康地新竹市
九十歳以上の老齢者が、現在 十四、五名も住でる

新竹市内には九十歳以上の老齢者が十四、五名も居るが其の何れの話を聽いても面白いことにお金のことばかり、實際で他愛ない話のみである

健康法は 朝起きに限る

黃烏 九六歳、住所新竹郡香山庄牛埔九九八、一家族二十五人と云ふ大家族で子孫は全部揃つて農業に從事してゐる、九十六歳と云ふ老齢ではあるが實に矍鑠たるもので今尚五十斤位の荷物を擔ぎ壯者も敵はない元氣さでゐる、五、六年前老齢者として表彰されたこともあり、その表彰狀は [illegible] として大切に保存してゐる 同老は [illegible] 七、八歳頃まで母の乳を飲んで [illegible]

改隷後臺灣は 明くなつた
百歳以上まで 生きられさう

曾墉 九五歳住所新竹市黑金町二七七、一人の女子に養子を迎ひ一家族十一人暮しで養子も孫も大工を營み一家睦まじく樂しい餘生を送つてゐる 清國時代には金を持つてゐても安心が出來なかつた、五十圓でも持つて居れば直ぐ奪はれ、山や森林中には常に匪賊が隱れ通行人を脅したものだ、強い者が弱い者を虐めをしても官憲でさへ當り前のこと位に考へて拱手傍觀してゐた、隨て官吏でも隨分惡いことをしてゐた、福州から或る役人が巡視に來た時でさへ犯罪者中金のある者は放免してやつても貧乏者は片端から殺されたものである、それが日本の領土となつてからは世の中が明るくなつた氣がする、官吏は公明正大で是は是、非は非と明確に裁き、人民に迷惑もかけず暮しよい世の中になりもつと長生きしたいが私ももう大分弱つたので之から先餘り長い [illegible] 事もなかつたらうと述懷してゐる (寫眞は曾墉老人)

[illegible] 月納付が遲れると直ぐ督促と同時に二十錢の督促料を納めさせられる―呵々―だが今の世の中は太平で何よりだ、昔は三圓、五圓の金を持つとその夜は心配で眠られず、必ず强盜が襲つて來る、抵抗すれば殺されるし結局あり金全部持ち出さねばならなかつた、全く隔世の感ひである (寫眞は黃烏老人)

大斗の米を買へ一家族五人位で一ヶ月喰へた、その代り工賃も安かつた、一日十錢乃至十五錢位で又税金も少く政府は税金を納めないでも催促したりすることなく偶には忘れて了つたものだ、所が今日では税金も多く [illegible]

林氏員女 九一歳、住所新竹市宮前町四〇で家族は養子一人に孫二人の四人暮し、養子と云ふのが日雇職工で妻君も失ひ一日五、六十錢を稼いでゐるが休みが多いので食ふや食はずの家計らしい、眼をショボくさせながら婆さんは語る まだく歩けますし三度の御飯も二椀づつ食し此の分なら百歳以上まで生きられさうです、眼が判然見えないのが殘念ですが耳はよく聞えますので不自由をしません、[illegible] に孫は新拾ひに出て私一人ですが何も盜まれるものもなく安心です、今では餘り泥棒もありませんが昔は毎晩匪賊が蕃刀を持つて金持の家を襲つたもので [illegible] 金を強奪したり人殺しをやつたりしたものでした、貧乏でも夜婆子四人揃つた時が何よりの嬉しさです

今は土匪が ゐなくて安心

(寫眞は林氏員女さん)

楊氏葉 九二歳、住所新竹市宮前町二七、十七人の大家族を擁し石材工を業としてゐるがどうやら食ふや食はずの生活らしい、婆さんの話 もう耳も眼も駄目です、此の頃の建築は砂利やセメントばかりで石材を使はないので商賣はあがつたりです、でも貧乏してゐても昔の樣に金や命奪りの土匪が居ないのが何よりの安心です 月に三十圓位あれば食つて行けるのですが何處へか子供達を世話して下さいませんか とかくガッチリしてる (寫眞は楊氏葉さん)

ルンペン氏 『虎になる』

或るサーカス團長が或るルンペンに『實は見世物の虎が死んだのでその虎の代りに虎の皮を被つて檻の中にヂッとしてゐて吳れれば日當一圓やるが』との話にOKとばかり虎の皮を被つて檻の中に入つた、見物人を前に檻の前では好い氣なもので團員が『ええ、此の虎はアフリカ奧地の產で……』などと說明してゐる、虎のルンペン氏『これで日當一圓は有難い』と眩いた途端、檻の扉が開いてライオンが飛び込んで來た『ヒャーッ!』と悲鳴を揚げようとした時、件のライオン『シッ!』俺も同じ一圓組だよ』――との話がある、今度出來た庶民信用組合もこの話と同じ口のものらしい、サラリーマンが信組から借りて洋服屋に拂つてやる、所がその洋服屋も信組から借りてゐる、サラリーマンの支拂ひで信組に支拂ひをする、どうでせう話が旨すぎませんかな

全島一ウマイ
新竹のポンカン
今日の成功を見るまでの
内地人栽培者の苦心の數々

新竹州の柑橘事業は今や全島一と稱せられるに至つた、今日の成功を贏ち得るに至つた中には幾多の [illegible] 指導と當業者の努力、物質方面の多大な犧牲を見逃してはならない、殊に内地人にして柑橘事業に着手し今日漸く收益を [illegible] 狀態に到達させた人々の苦心は到底筆舌の及ぶ所でない、それらの人々中五六を紹介しよう

菊池三五郎氏 氏は熊本縣出身で [illegible] 柑橘事業に着手して [illegible] 約二甲歩餘りの [illegible] 來今日に至る迄三十數年間 [illegible]

[illegible] 地を利用して灌漑設備を施し氏は九甲歩餘りの [illegible] てゐる又氏は [illegible] 大正十二年四月十八日 [illegible] 功勞者として表彰 [illegible]

直井力太郎氏 氏は香川縣出身で當臺後間もなく [illegible] ある、因に氏は現在柑橘三、五〇〇本其の他合せて約五千本餘りの柑橘を栽培してゐる(寫眞は菊池氏)

昭和元年州有地(舊蕃務官吏駐在所)一甲五分の貸下を受け [illegible] 本を始め其他約一、五〇〇本餘りの柑橘を栽培してゐる、[illegible]

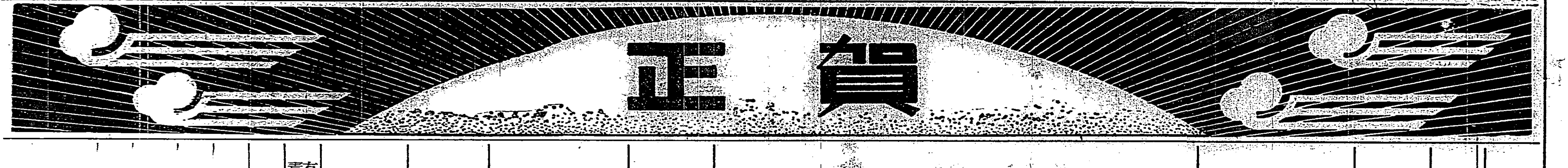
神部正作氏 氏は福島縣出身で當臺後間もなく巡查を拜命し [illegible] 部長時代より [illegible] 同地域庄に約三甲五分餘の民有地を買收し爾來今日に至つてゐる

松崎靜男氏 氏は鹿兒島縣出身で當臺後間もなく巡查、警部に [illegible] 任中本島が柑橘栽培の有望地である事に着眼し昭和元年六月新竹郡關西庄に [illegible] 來今日に至つたものである、[illegible] せしめた事である [illegible]

勝田信男氏 [illegible]

新原實氏 氏は鹿兒島縣出身で [illegible] 七年新竹郡守より優良青年として表彰を受けた

[illegible]



米穀肥料 自動車部 中壢街 勝豐商行

新竹州紅茶同業組合 中壢出張所

張園

新屋庄協議會員
張 范 范 徐 何 曾 游 葉
貞 政 職 木 安 榮 益
後 唐 陳 彭 曾 朱 徐 梁
仲 富 來 發 芳 華 海 立

中壢街協議會員 (イロハ順)
石川健二郎　猪股鷹治　呂新傳　張元昌　陳學清　劉貴邦　劉廷興　李清雲　廖媽進　林慶雲　渡邊 [illegible]　河合 [illegible]　曾安 [illegible]　村上昌 [illegible]　鍾新 [illegible]

新竹州協議會員 岡本賢一　吳鴻森

龍潭庄協議會員
徐 呂 黃 蕭 曾 李 邱
華 廷 德 慶 建 火 世
維 結 源 壽 昌 來 濬
坂 明 徐 翁 葉 蕭 張
[illegible]

國際電話株式會社 臺北出張所長 由邊幸四郎

新竹州中壢街 日本拓殖株式會社 電話二番

有限責任 中壢信用購買販賣利用組合

中壢軌道株式會社

宋屋信用購買利用組合

中壢街 上山捷清

尹榮才

中壢製糖公司

協議會員 鄭庫生　唐炎寶　劉春木

楊梅 [illegible]

田中一郎

中壢醫院

時任藤一　葉步番

李金益　松林忠太郎　黃阿枝

宮內幸之進　徐珍相

森山彌一　黃阿何　黃鏡堂

鄉田彥次郎　周鏡鏞

米穀檢查 中壢出張所

黃劉欽漳

謝春禧

中壢郡役所 吉田駛馬

楊梅信用販賣利用組合

カフエー共樂

カフエー三揚

觀音醫院 院長 謝萬利

朝日亭

保安醫院

中央商會

鍾會宏

范姜萍

仁安醫院

改善會

培達醫院

焕生醫院 院長 傳煥生

中壢驛

中壢法院

中壢街改善會

臺灣淡水港 株式會社 施合發商行

淡水街 街長 島井勝治 助役 谷善次 助役 李奎壁

八里庄 庄長 神谷龜吉

石門庄 庄長 江文通 助役 郭玖

老義發材木商行

三芝庄役場

有限責任 淡水信用組合

有限責任 淡江信用組合

大歲德太郎

雷俊臣

黑川義夫

川口屋 中野金太郎

盧阿山

施禎益

濱田理八郎

山口亭

淡水海水浴場 和樂園

淡水土木建築請負業組合 (イロハ順)
張媽進　張添禎　陳宗福　李兆鐸　李炳馨　林水耀　雷 [illegible] 泉　野島宗　黃鈍愛　吳俊乞　謝連興

板橋街役場

板橋信用利用購買販賣組合

中和信用利用購買販賣組合

海山自動車株式會社

松山七星醫院

松山アルテックス製作所 柏熊福太郎

松山信用購買販賣利用組合

合春商行 運送店 蔡九母

賀正

店舖擴張 天下ノ名取屋

臺中驛前 醉月樓 王川流 電話八五二番

臺中市榮町一丁目 西洋料理 精養軒

臺中市榮町二丁目 磯野式深耕犁 新明千歯扱機 堀江商會 電話一一〇〇番

臺中市榮町二丁目 文房具 紙商 傍士商店

高級文化萬年筆 製造發賣元 臺中市榮町一ノ十八 佐藤文化堂

臺中市大正町二丁目 大東金物店 電話一六三番

臺中市大正町七ノ一 御旅館 青辰 電話四七三番

臺中市寶町四ノ五二 林益渠

臺中市錦町三丁目 力餅

臺中市錦町二丁目 赤尾時計店 電話七二四番

臺中市若松町六丁目 中央製氷株式會社

臺中市旭町六丁目 新炭 ガラス コークス 源益昌商店 胡美

臺中市 臺中書傳習所 山中公

保證責任 臺中市 臺中建築信用購買利用組合

一本フォード株式會社 中部特約店 詔安商會 臺中市錦町

臺中州大屯郡大平庄頭汴坑 大寶農林部 臺灣出張所

吳酒滄 德記商行 大屯郡烏日庄

臺中市橘町四丁目二十八番地 合資會社 豐中商會 代表者 張清泉 電話五六七番

臺中市 柳屋食堂

臺中市壽町 旅館 常磐木 電話三八〇番

臺中市榮町 松山旅館 電話七六番

臺中 大正町二丁目 春田館 電話一二六八番

臺中市公園前 御料理 日之本

臺中市大正町 馬場商店

臺中市寶町三丁目 平戶食料品店

折田齒科醫院 電話一〇五三番

臺中市寶町貳丁目 歐米雜貨 武術道具 清水本店 電話七八四番

臺中市寶町五ノ四五 朝陽公司 電話一五三

臺中市錦町 平田商店

臺中市錦町三丁目 印刷文具商 尚文堂本店

臺中市新富町二ノ六三 割烹 松葉

臺中市 藤井一康 九三藥房

臺中市新富町 富貴亭

臺中公園內 御料理 弘園閣

臺中樂舞臺公司

老松自動車株式會社 臺中 大雅 公館 沙鹿 清水 神岡

臺中市橘町二丁目十番地 帝國運輸株式會社

臺中市榮町三丁目十番地 和洋雜貨 平野商店

臺中市榮町一丁目二十四番地 臺灣證券

臺中市壽町一ノ二 日用雜貨 堀食料品店 電話三四八番

臺中市大正町二ノ三 自轉車 附屬品 福井治雄臺中支店

臺灣臺中寶町二丁目 東京內田 靴鞄店 臺灣出張所

臺中市寶町三丁目 臺中刑務所製品 室內裝飾洋家具 松本商店

臺中市寶町五丁目四五番地 保證責任 臺中厚生信用販賣購買利用組合

臺中市新富町二丁目 和洋紙商 白鳩堂紙店 電話九七二番

臺中貸座敷組合一同

臺中州大屯郡 南屯信用購買販賣利用組合 電話臺中三九二番

臺中吳服商組合

石川吳服店

平吳服店

肥後屋吳服店

臺中市橘町四丁目四番地 中央車輛製作所 中村清作

臺中市櫻町 天外天劇場

新案特許 佐野式改良精巧製酒販賣 佐野商會主 岡田孝義 本店 臺中市旭町八丁目一番地 自宅 臺中市若松町九丁目

臺中驛前 御旅館 千代乃家 無線電話五〇番

臺中市綠川町 高須印刷所 電話二七六番

臺中 サロン日活本支店 大小御宴會ハ新本店三階大ホールで

臺中市大正町四丁目 映畫常設 娛樂館 館主 角田金作

御旅館 蓬萊館 臺中市寶町二丁目

臺中市大正町二丁目三番地 內外鑛產 食品食器 保險代理 榎臺中支店 電話五〇八番

臺中市寶町 貴田商店

臺中市寶町二丁目 福原銃砲火藥店

臺中市寶町二丁目三番地 臺日運動具部 臺中販賣店 電話一四二番

大東信託株式會社 臺中、臺北、新竹、臺南

臺中市 富貴亭 藝妓 仲居 一同

臺中州酒類煙草食鹽小賣人組合聯合會

臺中料理屋飲食店組合

等良堂製藥本舖 製藥者 賴錦泉 大屯郡南屯庄田心一三 電話臺中二八六番

臺中市橘町四ノ四三 臺中州米穀商同業組合
保證責任 臺中州米穀信用販賣購買利用組合

臺中市壽町一丁目二番地 臺中土木建築請負業組合 電話六一七番

謹賀新年 酒類賣捌人組合臺中支部
川端昇太郎 水田胸二 高井九平 古藤誠助 矢住信夫 大岡泰曉 楊全 林建宗 笹川貫治 富田四郎 中山直 柏蕃彌 蔡玉邦 雨谷信雄 林嘉總 林亮 王峻槐

忌中ニ付年賀遠慮致候 津島吉衛

臺中二一會
馬場商店 河村商店 華生園 高橋糸店 棚邊書店 內田靴店 丸三大藥房 マスニ屋商店 丸一商店 安西商店 笙月菓子舖 調商店 末廣菓子店

臺中市大正町五丁目 服部醫院
臺中市寶町一丁目 安田醫院
臺中市大正町三丁目 森部醫院
臺中市榮町三丁目 林醫院

臺中材木商
臺中市初音町壹丁目 東勝材木商會
臺中市初音町四丁目 東興材木商行
臺中市柳町四丁目 松山商行
臺中市橘町壹丁目 協和商行 電話七〇八番
臺中市新富町四丁目 三振商行
臺中市新富町 大森材木商行

臺灣煙草賣捌人組合臺中支部 (賣捌區域順)
武田駒吉 長谷八太郎 藤田新吾 興脇由次郎 高田昭造 増田惠 山口德治 丁瑞彬
內田芳雄 川上親善 福田信吉 林爐 渡邊金之助 長澤圓三郎 鄭謹 芝原太次郎

臺中市醫師會 (イロハ順)
加納芳次 古市虎熊 山本宗三郎 南侚一 辻守昌 宮原武熊 一丸鐘二 石津坂一

臺中市醫會 (イロハ順)
允中醫院 林孟震 博愛醫院 張森生 柏林醫院 陳柏林 奉天醫院 張汝操 東平醫院 蕭冬平 東周產婦人科醫院 郭東周 教德醫院 陳教德 中部肛門醫院 何清波 張眼科醫院 張叔荷 澄清外科醫院 林澄清 林水源醫院 林水源 林內科醫院 林如松 同春醫院 黃朝清
陽春醫院 林如 臺中西漢醫院 林天定 體仁醫院 陳朔方 臺灣痔疾病院 魏品章 王內科醫院 王清木 柳川醫院 賴來成 吳醫院 吳酒輝 鄭外科醫院 鄭傳對 安生醫院 陳蝶 杏林堂醫院 林澄瑩 枝水醫院 賴枝水 茂堤產婦人科醫院 陳茂堤 清信婦人科醫院 彭氏阿信

臺中市 臺灣青果株式會社

臺中市柳町 臺中州青果同業組合

臺中市綠川町一丁目 臺灣青果同業組合聯合會 電話 八三四番 八五一番 九六八番 一一四〇番

(TS) 帝國製糖株式會社
本社 臺中市高砂町十八番地
出張所 東京市麴町區丸ノ內有樂館 大阪市東區瓦町山口ビルディング 北海道小樽市色內町拓銀ビルディング

文藝

短歌

安成二郎選

一等　臺北　森谷芙美春

海遠く雲たむろせり雲の上の眞日の清けさ番山におろがむ

二等　臺北　三島彌生

初日かげ波に輝き雲遠し紅頭船に國旗ぞ上る

三等　新竹　鄭嶺秋

我が船の行手はるかに雲湧きて光ると見れば日の昇りきぬ

佳作

島と嶋をへだてて海遠く空のはたてを雲行きつつ　屛東　丁　酉山

打返へす波なごやかに新春の空にたなびく雲の明るさ　新竹　陽田　子

船室の窓かたむきさらめけり遥の島山雲明るる見ゆ　月眉　劉　智岳

高砂の島のいやはて紅頭嶼の沖はるかなるよりは入くも　臺北　土肥　剣

高砂の荒磯の磯に東風のほのかに日ぞ香るか　花蓮港　岡本　新市

わたの原波たえくればなかかなる島の彼方に雲出づる見ゆ　花蓮港　神谷　秋津

新春の海はのどかに明け初めてうす染の雲のたなびく　臺北　加藤　浩子

大八洲雲浮く海の明けそに神代ながらの初日麗やく　北港　一　花

和田津海ゆさし昇り来るあまつ日のその紅にただよへる雲　臺北　齊藤　道明

わたつみのはて一線に湧出る山なす雲の白き色はも　高雄　上田　晃

海遠くたなびき渡る雲の上に豐栄のぼる朝日おろかむ　嘉義　棚井夫路子

ゆるやかに潮騒もよる明けの海白雲遠く動かざりけり　臺北　酒井　鈴子

自から心しまりて立ちかへる年の始をまづはことほぐ　臺北　中島　楢子

匂ひさす東の空に一むらの雲うかび出て波静なり　北門　紅　村

見はるかす大海原は明け初めて波の上なる紅の雲　臺南　本園　勁

わたの原風吹き立ちて帆船の行手に見ゆる雲の一むら　基隆　丁　淳兒

西さす翠の雲たなびきて海は果てなく凪ぎ渡りたり　基隆　山田　良雄

わたつみの彼方はるかに島に似る雲一つあり朝の空　屛東　高山　正人

初日かげさしおよびたる海の上の遠くはるけき西雲かも　臺北　吉田三千代

うねり来て飛沫を上ぐる大波の彼方に雲の白き上づもり　基隆　宮園　潮代

みはるかす海原遠く白雲の初日に映ゆる高砂の島　臺北　高岡和歌子

あかねさす雲の映りて海の上の長き光は汀に靡く　臺北　渡岡壽太郎

紺碧の遠き沖より明けそめて雲の雨は海にかかよふ　臺北　大西　賢文

昇る日の影ひろごりてあざやかに雲晴れ渡る大和田の海　屛東　和田　恒好

朝凪の海原遠くたなびける淡紅の曉の雲　臺北　三浦　遊子

海の上雲遠く去りけろ〳〵と波の穂かに光る明るさ

見はるかす太平洋の空低くつらなりわけるまろき雲かも　基隆　長田　一郎

朝凪ぎて昇る初日の丕明り遠海原に白雲ぞ見ゆ　基隆　余　萬道

天そそる高砥に雲の八重たちて日の出かしこき高砂の島　新竹　栄谷　勇

九十の齢めでたきおほちちと共に雜煮を祝ふ初春　臺北　大谷　敏子

朝なぎの海面はるけく雲ありてのぼる初日にかがやきて見ゆ　宜蘭　片貝　俱男

くれなゐの雲うつりゆく東ゆ初月はのぼる大海の上に　臺北　中島　楢子

白雲の遙かに見ゆる海原を茜に染めて初日昇りぬ　屛東　湊島　松水

海上雲遠し（短歌の選のあとに）

安成二郎

今年の献詠歌は殆ど勅題の「海上雲遠」を詠んだものであつた。海を見た人ならこの勅題の意味は誰しも知つてゐることであるが、さてかうして歌になつたのを見ると、何れも同工異曲で、これはと思ふ歌は乏しかつた。徒らに見過して、しみ〴〵海上遠き雲に實感を寄せたことがないのか、空想の貧しいのか、ただ勅題の字義そのまま海の上の遠い雲といふだけの歌が多かつたのは遺憾である。漸く入賞の八首を選したが、新年の意味のないのもある。勅題にも其意はないが、「新年勅題」であるから、少くも豐かな、おほらかな心が内容にもある

の七字を詠んだ、一等の歌の生命は句の七字にある。高砂に住んでゐる作者の感じが一首を生かしてゐる。「番山」は「やま」と讀むのである。そして「眞日をおろがむ」といふのに歳旦の意がある。二等の歌も地方色を捉へて歌を示してゐる。「雲遠し」の第三句が突然で幼稚であるが、ここに歌詠の困難がある。歌詠は歌を全く自分の思想の中に溶かし込んでしまはないと、かういふ生硬な表現になる。三等の歌には「動き」がある。雲も日も海も靜止してゐる歌ばかりの中に、この歌は異色があるので少し字句を訂正して入選とした。原作は第五句が「あかねゑまりぬ」といふので、落り過ぎて未熟なものになつてゐる。勅題で、直截な「日の昇りきぬ」でいい。

◇

諸君の歌を讀んでゐて私も作つて見た。努々の際で振ひものではあるが、ここに書いておく。勅題を詠むには先づ、新年歌御會始めの勅題であることを念頭に置かなければならぬ、平和、喜悦、祥瑞、繁榮、さういふ心持が自然に生じて來る。そして勅題に對すると、その海は眼前の動く海では無く、雲は疾風に吹き流される雲ではない。平和と希望と喜悦とを象徴する洋々たる海、靄靄たる雲でなければならぬ、その洋上遠き雲に對して思ふままに空想し、目で見た實景を再現して言葉を擇び、調べを整へて、そして新年らしい瑞祥な歌が生れて來るのであると言つても、私の歌がよくそれに値つてゐるといふのではない。諸君の歌を點ずに當つて、私はさういふ標準を心に持つてゐたといふことを言はうとしたのである。

海上雲遠

海遠く湧き出る雲に新しき年の初めの思寄するも

高砂の島の初日は大和田のはたての雲を押し分け昇る

押し移り雲は行くなり綿津見を蔽ふ大空の果ては知らず

新高の嶺かけて大海のはろけき空に雲は棚引く

以上四首、第四首目「新高の」は實際の景は知らないが、臺灣の東海岸に、さういふ景色の見えるところがあるだらうといふ想像の作である。これと第三首目は新年の意味は明らかに詠んでゐないが自然の悠久を歌する心に新年の感託を寓したのである。第一首目の歌は、第四句までが海上雲と新年の歌だ。結句に主觀を表出したが、その「思」とてもどんな思ひであるか、作者には作者の思ひがあるが、讀む人によつていろ〳〵の「思」となるであらう、そしてこの歌が私に一番氣に入つてゐる歌である。「湧き出る」といふより「海の上のはろけき雲に」と云つた方が無難であるかも知れない。

俳句

彬々子選

天　臺北　猿渡吉備

海上の雲遠のいて君が春

地　大甲郡　龍井　大場麥甫

繭玉にとどかぬ兒等や騒ぎゐる

人　新竹　鄭嶺秋

初凪ぎや戎克居る沖雲映えて

五客

太平洋雲遠うして今朝の春　基隆　横山　東雲

面とれば白髪の師や初稽古　臺中　山手　夢迷

寒海の初日西海の雲染めて　臺北　井野　[illegible]

雲遠く波ごまやかに初日かな　員林　信國　三緒

自治の花咲き揃ひけり島の春　臺北　安服　一笑

佳作

鹽田に千鳥ちらばる初日かな　員林　杉匠　郎子

初空やいま放ちたる傳書鳩　臺北　松　岬

舟飾り海初明に映る雲

印吹いて出動旗掠す用始　臺北　角舘　盟山子

（航海）船員と話すひととき初日待つ　臺北　腹田　恭二

大郎子の菜にさしそめし初日かな

民謡の屑世ふえて島の春　新竹　鄭　嶺秋

消えあまる谷間の霧や初日影　臺北　南陳　家瑞

丹精の蘭綻ぶや朝賀の間　臺北　島田　舍

書初やしばらく墨の香に浸たる

初日影海の直枝の一しづく

基隆の雨の中なる出初式　臺北　斗　水

沖遠く初日に雲の動かざる　三峽　三角　三郎

己が娘をふと見直しぬ松の内　高坂　館波

軍艦に在る仕合せを鍬始　臺北　嶽　文

祖國護る熊や年立つ曉の雲　基隆　佐方　洋史

初東風や海の果て行くちぎれ雲　臺北市外樹林　上七　榮木

初荷舟家鴨の岸を離れけり　基隆　霧澤　翠風

乘初や雲は遥かに海平ら

こつそりと名刺置き去る賀客かな　臺南市　陳　木村

初富士に雲影遠く田子の浦　臺北　宮崎　吉子

雲遠く汐路の瑠璃の初晴り　新竹　一木　光二

元朝の湖明りや雲遠し　員林　信國　三緒

舟滑り初日明るくときけり　曾文郡六甲庄　村上　庸夫

雲遠き海邊に出でて四方拜　基隆　佐方　洋史

初荷大溪北はおだやかに

初東風や舳つつ立てジャンク出づ

金繩の守袋や縫はじめ　高雄　春　女

雲海に入りて音なし初飛行　臺北　雷　岳

凪ぎはゆる濁ふくらみや初明り　臺南　陳　木村

うららなる御代や海上雲遠し

矢に留る大和魂や弓始　臺中　山手　夢迷

初し恙に明け行く空や島の春　臺北　富永　翠山

榮えます皇國の光や御代の春　屛東　眩岡　山月

元朝や次高山の雲晴明

水につく雲の遠さや初日出　臺東街　和田　恒好

初明り淡墨遠く舟の出漁　臺北　[illegible]

去年今年一番鶏の高唱鳴く

羽子抱いて雌煮楽しく寐ひけり　臺北　千代　女

初風や日は陽々と雲遠し

はて空か水平線に初光り

初凪や海の果てなる雨雲　基隆　更家紀の子

元日や常に見る子の美しき　曾文郡麻豆　王　合同

海千里初東雲の色に映ゆ　花蓮港　鈴木　[illegible]

初荷舟八重の潮路の雲遠し　汐止街　唐　秋漢

初日出て障子に椰子の葉影かな　臺北　順寸　太簡

住み馴れて猶ひにけり松かざり　瑞芳　伊田　芳郎

初暦子に引かれ寄る社務所哉　竹東　高橋　翠園

羽子板をふり袖に抱へ子守のゐる　新竹　ひさし生

初荷船動題の雲ほしいまま　新竹　竹　也

海行けば初日のぼりて雲遠し　臺北　伯　濤

初日出らず雲湧きて波静か　臺北　春　月

子年に因んだ　目出度鼠芝居（ねずみのでるしばゐ）

渥美清太郎

去年は亥の年で、芝居には猪が滑稽つかつたが、子の年となると大變で、鼠となつたら山のやうにあります。

先づ第一が『先代萩』の床下で、あの大鼠は歌舞伎の鼠を代表してゐます。引抜くと仁木彈正、鼠の衣裳の床下に花道の鼓ではといふお約束のこしらへには、梁の高い松本幸四郎が考へた型を、今に踏襲してゐる譯ですが、いつぞや菊五郎が鼠から引抜いて切羽に張り、それが消えると幸四郎の仁木が出たことがありましたが、あれは三代目菊五郎の型で、本當は切羽から、もう一ぱい引抜いて、自分が仁木になるのが型なのです。そのほか評判記に鼠頭巾で頭巾を取つた仁木になるのもあり、金ピカの四天で引込む仁木もあります。初めてやつた時は山伏で、口にくはへたのは連状でなく、鼠守所の白紙でした。そのほか大鼠の現れるのは「猫渦狐」の狂言、者養者が鼠の妖術を使ひます。黙阿彌の作つた『鼠と猫』といふ狂言では、鼠が美しい遊女僧に化けて、といふ花魁で、屋根の上で大鼠と猫の立廻りがあるのです。

名前に因んだ狂言と云つたら、『鼠小僧』が断然花形です。この狂言は随分人気があつたもので、まだ鼠小僧の捕まらないうちから芝居では、團十郎の役でチャンと書込みの狂言をやつてゐるのです。つかまつて處刑されてから、三遍名が高くなり、先づ第一に三代目菊五郎が『五十三驛』の狂言でやりました。名前は稲葉幸藏ですが、矢張り鼠小僧の顔を仮形を変へかつて、鼠に化ける幸藏といふところで、鼠小僧をさかしてゐるのです。この菊五郎が一世一代に『五十三驛』をやつた時は天竺徳兵衛をやつてゐて、その息子にハツキリと鼠小僧次郎吉の名を出しました。尤もこの次郎吉は子役で、自殺して父の命に代わるといふ筋です、その後は隣窮でばかり行はれてゐましたが、後に黙阿彌が小團次に『鼠小紋東君新形』といふ世話物を書いた、これがなかなかよく出來てゐるので、歌舞伎の鼠小僧と云へば、これはつかりが流行つてゐます。今の菊五郎もよくやりました。

先代坂東彦助といふ人は、歌舞伎事といはれた坂東彦知六の息子ですが、この人は東花町から脚色した『鼠小僧』を、三興行持つてゐました、しまひは白浪五人男見たいに勢揃ひになる趣向でした、東京でもやつた事がありましたが、これを眞似たのでせう、今の錦子が黙阿彌の『鼠小僧』を二回に分けてやり、後者で大阪劇でした、芝山に呼ぶめのところから、しまひに處刑されるまでなかなか巧く出來てゐたものでした。

大正の初めから、どうしたのか鼠小僧が急に流行り出し、誰も彼も演事で、いろ〳〵な次郎吉を書いたものです、中で今でも殘つてゐるのは、鈴木泉三郎の『次郎吉懺悔』これは六代目の書き下ろしで、新菱屋の見きになつた次郎吉と、手元の直言が坊主姿でありながら、浦切で斬り合ふといふ所から始まる芝居です、川村花菱の『鼠小僧心臓』は、次郎吉が大名の家へ盗みに入つた為、辻番の親仁が自殺する筋で、これは錦子がやりました、同じ人の『鼠小僧十六むさし』は、なか〳〵派手な芝居で、中村座の楽屋で理髪の通ないのに愛想をつかした次郎吉が江戸を飛び出すのが序幕で、何とかいふ相撲と腕くらべをする筋なぞは、前進座で長十郎と翫右衛門が踊を削つたものでした。

岡鬼太郎の『當世鼠小紋』は、清元の身替りお役を使つたりして形式は名題通り古いものですが、中味はなか〳〵新しく、鼠小僧に愛理のある客の町人が、却つて鼠小僧を捕へるといふ所に、ピリリと皮肉がきかせてありました。これは左團次がやりましたが、左團次にはこの外に、木村錦花の『鼠小僧競』と、長谷川伸の物もやつてゐます。前のはうは、鼠小僧が大名屋敷の樂屋へ來て、金のとりやりが振つてゐるました。[illegible]

川柳

大屯坊選

一等　臺北　成女

倫敦軍縮會議エー、ビー、シー大和言葉に押され氣味

二等　花蓮港　稻穂

海上雲遠　探險隊島だ雲だと船の中

三等　臺北　高井花之助

自治制のおかげイロハで賀状書き

佳作

エチオピア負けるものかと負けて居り　新竹　[illegible]

[illegible]

入選

雲何處太平洋の日本晴

雲遠し孤立日本光るなり　花蓮港　[illegible]

海上の句をひねる間に雲が消え

お勅題今日も海邊に二度三度　市内　成女

日本の章さ世界で眼を見張り　臺北　正彦

歌留多三二の役者よく踊り

サア來いと不動の構へ日本刀　臺北　一笠

何の二の地球手玉に取る気だわ

躍進の御代に生れた男われ　臺北　上原　興一

生産は平和飛躍で言み歩き

[illegible]

初人形　島成園氏畫

俚謡

若草會同人選

天位　臺北　安良城あの字

初荷船かや白帆が見える沖の雲間にちらほらと

地位　瑞芳　更家紀の子

雲の幕から乙姫様が舞うて出さうな今朝の海

人位　臺北　小松松濤

沖の白雲初日に映えて來るさ戎克の寶船

五客

想を知る身に何七福で國の萬兩はくれてやる　臺北　高井花之助

雲を一と刷毛水平線の海にぼかした初日の出　臺北　籠家お輕

春を都へ若栄の初荷　雲も優しい大原女　臺北　兼久佳朗

明けて晴れ〳〵愛國號で　御慶申さん沖の雲　臺北　山本紫水

祝めた祝ひは桃咲く頃よ　明けて二十の初島田　臺北　小松松濤

十客

世界平和は太平洋を染める日の出の旗印　臺北　籠家お輕

またも儲かあの瀬光は神ほほのかな曙雲　臺北　若葉

雨によう似た雲さへ浮いて沖は御國の日本晴れ　瑞芳　更家サトメ

沖の明雲初日に晴れて龍に据つく波もない　臺北　安良城あの字

國が伏屋も皆すこやかに春の香のたつ若栄汁　臺北　兼久佳朗

沖の雲間に初日は昇る踊るみ國の御旗から　羅東　和田　恒好

屠蘇の醉ひぬく井月水のかほり　ゆかしい海の宿　基隆　平島　一夢

思ひつく羽根突き羽根に言と婿しい松の内　基隆　宇野直一郎

千代萬歳を黄金に染めて沖の雲から初日の出

今朝の四海は語れ白雪の富へスキーの初音　臺北　小松　松濤

[illegible]

街に散る花（16）

竹田敏彦作　寺本忠雄畫

追憶十字架（七）

遊が現れて、林田兄弟が現はれた。弟は大學の制服で、兄の方は質の良い伊勢崎の揃ひにセルの袴といふ、學生らしい好みだつた。

「お招きに甘へまして、二人でお邪魔にあがりました、兄です」

林田は入るなり、美登里に兄を紹介した。

「林田一朗です、よろしく」

「よくいらつしやいましたわ、私美登里といひます、さあどうぞ」

美登里は明人のやうな腰ましやかさと舒さをもつて、二人を床の前の火鉢の前へ招した。今まで無表情に澄ましきつてゐたやうな凝りをおびた室内の空気が、瞬間にして凍つた水のやうにしんとした。

そして、男達はいくらかの好奇な眼と、女達は微妙な競心の眼をもつて、この未知の青年の美麗な相貌と、高雅な物腰に、好奇の視線が集まつた。

美登里はすぐ一同に、二人を紹介した。深いうちにも親しみを失はない、兎れず離れぬ二人の態度は、程よく一座の空氣を和ごめた。

「さあ皆さん、何か面白いお話しませうよ」

美登里は、腕れない林田兄弟を寛ろがせたいから、命ずるやうに一同に促したが、何か先輩から新んで見える楠山を見ると

「ねえ楠山さん、先刻の歌舞伎の批評の續き、もつと詳しく、歌舞伎の配役はりたいわ… お正月に御芝居を見て出すなんて、凡そ馬鹿してゐると仰言つたわね。ぢや、個々の配役は何うお思ひになつて？」

歌舞伎を自負する楠山は、そこでいくらか氣をよくして

「さあ、強いて言へば見られるものだけ、中車の本藏と梅幸の月無瀬くらゐなもので、羽左衛門の力彌に至つては、例によつて羅針を越しませう」

楠山は鋭く羽左衛門に向けて、歌を飲ませた。

「まあ、隨分辛辣ね！林田さんはお芝居お好きでいらつしやいますの？」

「貴方はあまり見ませんが、兄はどうですか、よく見てゐるまかと」

「俳優は勝かお好きでございますの」

一朗はちよつと躊躇したが、

「實は林田は羽左衛門黨なんですよ」

楠山は聞くなり、おどけながら、

「いつ、これは驚きましたね、今時分の青年にも羽左衛門好きがゐますかね。一朗さん役者の何處がいいんです」

林田は輕侮を表す態度で、一朗が皮肉な眼を見ぬいた。

「何うした理ですか羽左衛門の服に、私は彼も歌舞伎俳優らしい俳優の風格を感じるのですが、間違つてゐますせうか」

「さうですかね、あの人の服なんか我々、現代人の感覚から見れば、まるでかけまの化物ちやありませんか」

「でも、先日の鶴屋の生苔だつてよかつたですよ」

「へえ、これはまた隨分趣味だね」

一同も聲をひそめた、一朗は靜かに微笑して

「さう仰言れば、歌舞伎劇は全部が徹頭徹尾です。しかし、あなたの言ふ現代の生活だつて、和洋折衷の過渡的時代は、後世から眺めて、もつと滑稽なものぢやないでせうか。だが歌舞伎劇は、さうした時代の感覚を超えて、優秀として存在します。それは、見流遣稀かに見たるあの様式の型から發する、舞台に上げられた民衆藝術の輝きです。わけて羽左衛門の時代に顯ひないあくまで歌舞伎型な演技は、我我現代のコスモポリタンにも、しみ〴〵歌舞伎劇の持つ古い歌のしに新鮮へてくれます。それは僕が古い日の蒼聲ではなく、古い歴史に磨かれ洗錬された美しい藝術の香氣です」

素人と思つた一朗が、實々の歌舞伎に楠山は鐵たくちゞとした。

賀正

今川淵

林田正治

佐々木金太郎

古澤勝之

渡邊節治
矢野速吉
松井實
石井權三
本田乙之進

臺南 大津山周造

八代豐吉

臺南 若槻道隆

臺灣總督府糖業試驗所長 岡出幸生

川崎二三

野村精策

臺南商友會
西村商會支店
越智商店
辰馬商會支店
宅商會支店
近藤商會支店

臺南市大正町一丁目七五番地
株式會社 安部幸商店 臺南支店

臺南驛前
臺南タクシー株式會社
電話 三〇〇番 七五一番

臺南市大正町二丁目二〇番
土木建築會
電話八一六番

臺南 內地人 齒科醫師會

臺灣製鹽株式會社
社長 堀三太郎
臺南

勝又獎 新營

內ケ崎良平 新營

內村愛助 新營

天野敏男 新營

楠田正雄 新營

淺野武雄 新營

阿部耕治郎 岸內

余繩章 臺南

臺灣商業學院

臺南市大宮町一丁目
櫻楷社吳服店
電話四六七番

保證責任 臺南漁業協同組合
組合長 林 役員一同
臺南市西市場構內 電話一〇六八番

一般電氣工事 設計請負 電氣器具 材料販賣
上利八十八
臺南市錦町二丁目 アカリ電氣商會

漆器 家具商 荒物
臺南市銀座
五端第二支店

臺南和洋雜貨商組合
臺南和洋雜貨商
安業貯金會

臺南喜麟組合
臺南西市場內 電話二七二番

辯護士 有水定次郎
臺南市大宮町四ノ八

宇治 名物 モナカ ヨーカン
臺南 森山園茶舖
臺南市宮古座前 電話六〇八番

臺灣輕鐵株式會社
取締役社長 辛西淮
臺南

臺南漢葯種營業組合
組合員一同

臺南市本町四丁目
株式公債 期米賣買
德泰商行

臺南市西門町
株式會社 臺南大舞臺

臺南市白金町三丁目
新杵製菓舖
電話二四三番

第五十三區 許廷光
臺南

臺南家政女學院
學院長 王兆麟

臺灣總督府評議員
黃欣
臺南 電話五一〇番

御旅館 末廣
臺南市本町

臺南市港町二丁目
越智鐵工所

自轉車 大尖端 ゼビー號 タイヤ號は ミカド號 フク號 販賣修理
三勇商會
臺南市錦町二丁目 徐賽捉

賜成洋家具店

臺南神學校
臺南神學校女子部

臺南長老教中學

臺南市高砂町二丁目八番地
麟記商行 黃必麟

慈德接骨治療院
柔道整復術

臺南市錦町三
東京生そば
電話三三五番

臺南人力車業組合
組合長 吳賓塚
組合員一同

活版 石版 印刷
鴻文活版舍
臺南市末廣町二丁目

順發商店
邱老能

臺南市大宮町一丁目二十六番地
山吉金物店

臺南珍
臺南市錦町二丁目

協昌商行

銅鐵商 泉興商店
臺南市本町二丁目九十五番地

洋品雜貨 美利安
臺南市本町二丁目一九四番地

合資會社 永茂商行

臺南市大正町一丁目九番地
諸機械 金物商
吉田商店

臺南
御料理 鶯
電話四〇九番

臺南銀座
レストラン カピタン
電話二〇〇番

林藥局
藥劑師 林虎三

臺南宿屋組合員一同

臺南市銀座
印刷 紙器 水木本店
電話五四五番 振替臺灣一七二六番

臺南市大正町二丁目
御料理 鶯遷閣

臺南市清水町三ノ六
住吉組 中井清枝

臺南 南報印刷部
寺川喜三郎

臺南市明治町二丁目
御料理 一筆
電話參四七番

臺南市
御料理 小梅園
電話貳貳七番

カフエー オランダ
臺南市 電話貳七番

臺南市大宮町二丁目
洋品雜貨 化粧品類 阿波屋商行
臺南市銀座 あはや小賣部

臺南市明治町三
川中鐵工所

臺南市錦町三丁目
長岡自轉車商會
電話七五三番

ハンヤ 梅原克己堂

各種印刷 三星堂
臺南市西門町三

臺南 內藤二郎

材木商 株式會社 永森記商行
高雄支店

有限責任 臺南建築信用購買利用組合
臺南市清水町三丁目三番地
電話二一七番

臺南市三分子壹五七番地
臺南製麻株式會社
電話八八九番

臺南市末廣町
ハヤシ百貨店
電話六〇七番

株式會社 南部無盡
社長 栗山新造

田村組臺南出張所
臺南市大正町二ノ五 電話參五五番

銅鐵 工具及 自動車販賣
合名會社 山田商店
本店 臺南市大宮町二丁目
出張所 高雄市新濱町壹丁目

臺南運輸業組合

臺南州保安課內
臺南州自動車協會
臺南市港町三ノ二三
臺南自動車講習所

有限責任 臺南庶民信用組合

臺南市大宮町二丁目九番地
有限責任 信用組合
臺南友信會

臺南市郵便局前
松金料理部

臺南市本町三丁目
松金旅館

永野英太郎

公證人 菅元生
筆生 黃沛然

臺南市西門町
漢席御料理
寶美樓

內科小兒科
伊藤醫院
臺南市錦町一ノ五八

臺南 遠藤彥四郎

臺南市本町四丁目
金同成商店

臺南市田町
戎館 映畫館

岡田コロタイプ印刷所
臺南市幸町二丁目二十九番地

臺南市安平九四八
大日本鹽業株式會社安平出張所

臺南市白金町四丁目五七番地
臺灣弘仁株式會社

臺南市銀座
小出商行
歐米雜貨 貴金屬類 書籍文具 運動用具

有限責任 臺南州購買組合

有限責任 臺南信用組合
臺南市本町四丁目八十二番地

臺南市港町二丁目一二三番地
臺灣アルミニユーム工業所
電話一五九番

臺南貸座敷組合

有限責任 信用組合臺南興信社
臺南市白金町三丁目一六三番地
電話四一七七番

臺南世界館
◆洋畫と新興映畫
◆毎日晝夜二回興行

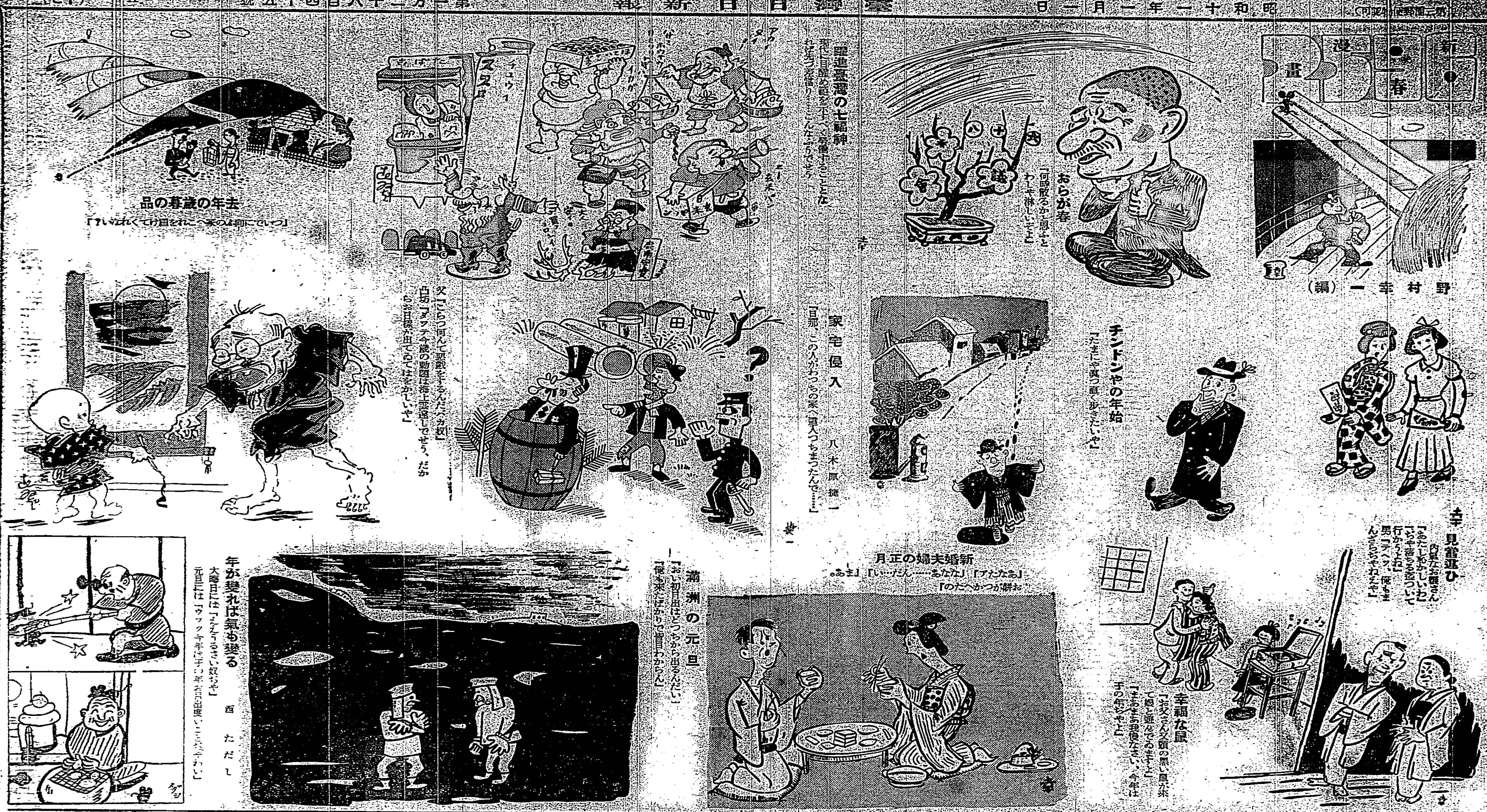
臺南市新町二丁目九八
臺南氷業共同計算所
電話一九一番

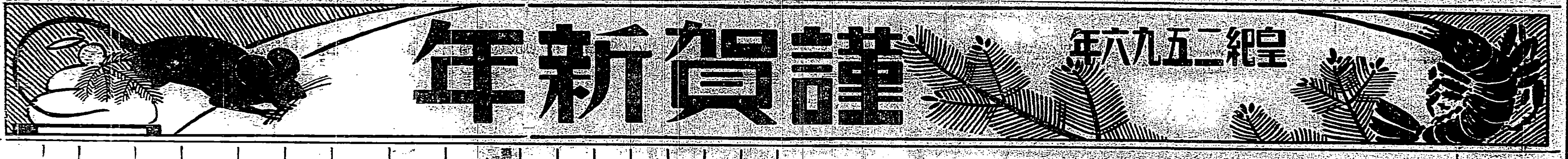
臺南市港町 電話七四番
材木 板類 佐々木商店
高雄 佐々木高雄支店
セメント 佐々木嘉義出張所

皆様の最も良き娛樂場
映畫 劇場 臺南 宮古座
電話二〇四・二五六番

專賣局臺南支局管內酒煙草販賣者組合

臺南州食堂會員一同





彰化市尹 小山政太郎

彰化市會議員
中口金作　近藤進之助　公莊勝二郎　門馬勇　山田三平　松崎嘉市　佐藤全淳　稻福志　東基生　為賴母　吳恭　陳柏舟　張日昌　巫金山　黃銀漢　許嘉種　吳蘅秋　杜錫圭　林黎　林文章　呂世明　林有信

彰化果菜荷受出荷組合

彰化 李崇禮

彰化郡秀水庄安東 彰化溪湖間乘合自動車 彰溪自動車公司

彰化郡芬園庄長 折笠龍藏

鹿港製鹽株式會社

彰化市彰化字北門五四八番地ノ一 有限責任彰化同志信用利用組合

彰化市彰化字東門一五六二 電話六四番 保證責任彰化建築信用購買利用組合

彰化郡秀水庄土地整理委員 彰化郡秀水庄協議會員 彰化郡秀水庄安東第二區總代 醫生 黃時先

彰化郡秀水庄五三三 王治興製米工場 王文燦

彰化商工協會

南投郡草屯庄 保證責任草屯信用販賣購買利用組合

峰記精米工場 李峯竹 草屯 電話二〇番

草屯 洪清江

入〇期米 店草屯出張所 洪添和

期米株式 錦泰商行 草屯 電話三三番

南泰草屯支店 林 電話埠一八番

草屯庄協議會員 林野

草屯庄協議會員 林一信

支那御料理 新花樓 南投郡草屯

草屯運輸公司 代表者 簡泉

南投郡草屯庄 林紹輝

臺中州協議會員 洪火煉

南投郡草屯（順序不同） 獸肉營業 簡權　蕭震烈　李知母　鄭森　林心婦　簡良仔　陳連提　洪金芳

期米株式仲介 共榮商店 李連春 南投郡草屯 電話壹四番

（順序不同） 小安伊勢之助　小柳政吉　西山藤太郎 南投郡草屯

李潢演 南投郡草屯

洪汝耀 南投郡草屯

洪元煌 臺灣

竹山郡役所 郡守 中松乙彥

竹山庄長 林朝槐

助役 張朝邦

鹿谷庄長 林長金　助役 邱進益

竹山郵便局長 坂崎誠一

專賣局竹山監督詰所主任 藤田秀

青果同業組合竹山檢查所 永田修

社寮信組常務理事 陳善述

臺中州協議會員 竹山庄竹山 林如璋

竹山庄協議會員 末宗本治

竹山庄協議會員 榎戸道之助

竹山庄協議會員 山口安平

竹山庄協議會員 劉憲章

竹山庄協議會員 黃啓奏

竹山庄協議會員 陳天烈

竹山醫院 臺灣醫學士 楊招壁

東海醫院 昭和醫學士 吳東海

益川醫院 昭和醫學士 林益川

恒謙醫院 臺灣醫學士 陳神佑

竹材木 竹材消毒 著山產一切 富源商會 竹山電話四番

乾筍山產移輸出商 裕源商行 林紹猷

乾筍山產移輸出商 裕美商行 林德

生乾筍大竹卸商 竹山庄竹山 德和商行

乾筍山產移輸出商 竹山庄竹山 治昌商行

生乾筍諸山產卸商 竹山庄竹山 陳國清商行

御料理 玉美樓 竹山電話貳番 黃萬得

御料理 集雲樓 竹山電話壹九番 王金襲

竹山食鹽元賣捌所 和田喜八郎

竹山集々間（乘合） 山陽自動車商會 陳松柏

竹山庄竹山 司法書士 魏品明

木材・石炭・セメント 竹山電話參九番 泰和商會

生乾筍 山產物 米穀肥料 竹山郡 裕德商行 黃文裕

乾筍 豆粕 肥料 米穀 陳協隆製米所 竹山電話六番

乾筍大竹卸商 宗德商行 竹山 賴宗源

生乾筍諸山產卸商 合和商行 竹山庄竹山

生乾筍 竹材竹木 合利商行 竹山庄竹山

生乾筍諸山產 瑞榮商行 竹山電話

山產物輸出商 聯興商行 竹山電話貳八番

御料理 醉仙樓 竹山電話貳七番 林建雄

竹山郡役所構內 竹山筍出荷組合 組長 中松乙彥 副組長 內川豐猪外一同 顧問 松本房吉 主事 渡邊長三郎（電話事務所四〇番）

保證責任 竹山信用購買販賣利用組合

竹山郡鹿谷庄 保證責任 鹿谷信用購買利用組合

竹山庄社寮 保證責任 社寮信用購買販賣利用組合

竹山庄竹山 竹山郡洋漢藥業組合 役員組合員一同

竹山庄竹山 竹山理髮營業組合

埔里街 釜田喜太郎

埔里街 中央貨物自動車株式會社 電話一二八番

埔里魚池間 乘合貸切 一二高自動車株式會社 電話一二四番

埔里醫師會　埔里齒科醫師會

埔里街 深山要助

埔里街 養父菊次郎

埔里街協議會員 羅銀漢

埔里街 林其祥

埔里街協議會員 許秋

埔里街 片山定

埔里街協議會員 黃進生

埔里街 大久保彥右衛門

烏牛欄信用組合

埔里街 笹尾修道

魚池庄長 陳金龍

埔里街 黑澤元吉

埔里街 日用雜貨食料品 洽記商店 蔡秀清 電話一三六番

埔里街 磯憲三

御旅館 涵碧樓

埔里街 王峻槐

旅館 日月館 電話五番

埔里街 施雲欽

施丹梯

櫻花と合歡山城には 増改築客室完備の 霧社 櫻旅館

賀正

嘉義市 川添修平
齋藤茂

嘉義市 伊東增雄

嘉義市 岩淵文吾

嘉義市會議員 庄野橋太郎

嘉義市 日本糖業聯合會 臺灣支部

嘉義吳服商組合

嘉義木材商組合

嘉義 ㊝ 天龍木材株式會社

嘉義郡守 江口幸市郎

嘉義市 大津義人

嘉義消防組長 森藤三

嘉義驛運輸組合員一同

嘉義市元町三ノ一四（電話一一九番） 佐藤內科醫院 醫學士 佐藤八四二

嘉義市元町 眞木勝太

嘉義市 臺南州米穀商同業組合（電話一〇四番）

嘉義市漢藥種商組合

臺灣食鹽元賣捌人組合嘉義支部

嘉義市西門町 內科小兒科 喜多醫院（電話一三二番）

嘉義市 臺灣電燈株式會社（電話九二五〇八番）

嘉義官衙、會社御用達 文房具、書籍雜誌 吉川山陽堂（電話一三一番）
加土紙店（電話二一番）
印刷、文具、製本 津本寫眞館（電話二三一番）

嘉義商工會

嘉義市役所前 藤田電氣工業所（電話七四〇番）

嘉義宿屋組合

嘉義銀座組合
正田陶器店　打橋洋服店　岐阜屋履物店　山陽堂支店　最上洋品店　ツモト喫茶店
大垣屋婦人服店　酒井耳鼻咽喉醫院　新谷吳服店　丸三藥房　豐代堂菓子店

嘉義同生醫院 中島武次郎 森龍雄

嘉義市 清香亭（電話五一八番）

嘉義市堀川町（嘉義郡役所前） 會席御料理 魚喜（電話三一〇番）

嘉義市 岸達躬

嘉義市 渡邊剛

嘉義市榮町六ノ六 醫學博士 加藤病院 加藤豐彥 電話二二一番

嘉義市 鈴木憲二

嘉義市 津久井半二郎

嘉義市北門町六ノ三 今村洋服店 電話七四八番

嘉義市榮町 ⊗恒吉商會 電話一〇一九番

嘉義市榮町三ノ七 三浦商會 電話一〇五七番

嘉義市榮町五ノ三 シンガーミシン分店 久保田彥之助 電話四〇二番

嘉義市北門町五丁目 南部土木建築業同業組合 電話一二三五番

嘉義市 佐竹文六

嘉義市西門町六ノ二〇 金物商 吳阿欽商店 電話八四六番

嘉義市西門町 ビール製造元 合資會社 森商會 電話七〇番

嘉義 堀池義專

嘉義市會議員 徐乃庚

溪口信用購買利用組合
番路信用購買利用組合
月眉潭信用購買販賣利用組合
小梅信用購買販賣利用組合
中埔信用購買利用組合
竹崎信用購買利用組合
新巷信用購買組合
水上信用組合
民雄信用購買販賣利用組合
大林信用購買販賣利用組合
大埔信用購買販賣利用組合

嘉義貸座敷組合

嘉義檢番 電話七〇八・八〇四番

臺灣南部無盡株式會社 嘉義支店長 秋吉惠壽

嘉義郡
水上庄長 畑山丑藏
中埔庄長 陳茂如
番路庄長 金子幸三郎
竹崎庄長 王景游
民雄庄長 安部俊亮
新巷庄長 林蘭芽
溪口庄長 張早
大林庄長 藤本大藏
小梅庄長 木村勝

嘉義市 中山孝一

嘉義市大通り 嶄新ナル春ノ洋雜貨 伊ヶ崎商行 電話九一番

有限責任 嘉義信用組合

嘉義市 松竹日活新興特約 映畫常設 嘉義電氣館 電話一一〇〇番

臺灣煙草賣捌人組合嘉義支部

臺灣酒類賣捌人組合嘉義支部

嘉義市 橫田道三

嘉義市 耳鼻咽喉科 酒井病院

嘉義市榮町 勝田醫院

嘉義市西門町 泰西商行 洪珍

嘉義市榮町 白井藥局

嘉義本町 日向屋本店 電話四一二〇・一二九六番

嘉義市 濱田印刷所 電話六三四番

嘉義市榮町二ノ三 德豐材木商行 電話三五九番

嘉義市元町三ノ一五二 太陽倶樂部

嘉義市公會堂 割烹和洋 蓬萊 電話四五五番

清涼飲料水製造元 日盛商會 嘉義市元町二ノ七 電話五八六番

嘉義市榮町 榮發材木商行

嘉義市 蔡西

有限責任 嘉義市 羅山信用組合

嘉義市 陳福財

保證責任 嘉義小商工信用組合 專務理事 許子

カフエー き

嘉義市會議員 瀧野讓治

外科專門 上池醫院

嘉義 梅獅

嘉義市會議員 施江東

嘉義 酒類煙草食鹽 小賣人組合

嘉義市 臺南州青果同業組合

嘉義市會議員 伊見常夫

嘉義 水上、新營、間 乘合自動車（毎三十分發車） 大同自動車合資會社 電話二二二番

嘉義市齒科醫師會

嘉義市會議員 林抱 電話七番

嘉義市西門町 會席御料理 西會芳 電話七五二番

嘉義市 青果拓殖株式會社 電話三二六番

嘉義市榮町四ノ四 和發商店

嘉義公會堂前 醫學博士 小林醫院 小林英一 電話九四五番

嘉義市銀座通 カフエーキング 電話一〇二二番

嘉義市西市場前 カフエー便利 電話五一〇番

カフエー スズラン 嘉義市榮町 電話七三〇番

麻豆街協議會員
新松 西口 陳嘉三 張吉王 林基河 林拔吉 林甲郭 林裕黃 李義江 林壽鄭 林烟佐 化清 國思書 水野 明通 瀨吉 水 水伯 直留 儀人 泉公 諒像 濱雄三 （イロハ順）

佳里街協議會（順序不同）

新營郡守 小笠原正

白河自動車合資會社 電話八番

新營郡番社信用組合長 陳按察

新營郡
保證責任 新營建築信用購買利用組合
同 柳營信用購買利用組合
同 番社信用購買利用組合
同 店子口信用購買利用組合
同 菁寮信用購買販賣利用組合
同 鹽水港信用購買販賣利用組合
有限責任 鹽水港林購買組合
同 烏樹林購買組合

新營郡漢藥種商組合

煙草賣捌人 森脇嘉一 新營

新營驛前 東洋館 電話七番

新營 陳其清

新營 天外天 沈卿

新營 游春園 顏勞漢 電話四五番

新營 新天地 沈龍

新營街長 長野與吉

鹽水街長 伊藤鎮三

臺南州斗六郡斗六街斗六三二番地 圖南產業合資會社 電話六番

斗六郡醫師會員一同

大和拓殖株式會社 烏塗子製糖所

有限責任 斗六信用購買販賣利用組合員一同

臺南州斗六郡 斗南信用購買販賣組合 電話二十番

斗六郡 大埤信用購買組合 外組合員一同

斗六郡獸肉營業組合員一同

斗六郡漢藥種商營業組合 組合員一同

斗六郡米穀協會

斗六運輸組 代表者 浦木小三郎 主任 陳添泉

斗六酒類賣捌人 鄭沙棠

斗六街 世界座劇場

斗六街 岩澤隆

虎尾街虎尾四二 支那御料理 新高樓 電話六二番

虎尾郡虎尾街虎尾四二 支那御料理 春風園 電話四六番

虎尾街四二 吳服商 雜貨 李合源商店

虎尾 日興商店 黃吉 電話七番

虎尾 陳清寅 電話一二三番

虎尾 陳變 電話八番

虎尾 土木建築請負 陳懷

虎尾 ババヤ羊羹製造元 木村新治 電話三二番

虎尾 永井清次

虎尾 大村廉吉 電話五七番

虎尾 廣松

虎尾 喜久亭

虎尾 日東商船組 坂口正一

虎尾 臺日取次店 松田脩

虎尾街虎尾 有限責任 虎尾信用購買販賣利用組合 電話二一九番

土庫米穀改善協會

保證責任 土庫信用購買組合

虎尾四二番地 虎尾ホテル 洪問 電話五九番

虎尾 臺西自動車株式會社 電話四番

虎尾郡役所 高木秀雄

虎尾 高橋藤四郎

新化街長 梁道

北港土木建築請負業組合 組合員一同

北港 菅田九十九

和漢西御料理 カフエーウララ 北港

北港 カフエーカテイ

北港 勝久忍

北港製氷公司 電話六六番

鹿草信用組合 白井房吉

北港 電話六四番 金長源商店

集々 都築孫藏

保證責任 集々信用販賣購買利用組合

集々 雨谷信雄

集々庄 松尾虎之助

阿川祐一

御手洗長藏

集々 御料理 信濃家

新高齒科醫院 兵藤靜

山上榮吉

伊藤文具店

水裡坑 合同運送店

カフエー 八口

隆興樓

和漢御料理 福興樓

カフエー 新高

和漢御料理 新世界

迎昭和十二年元旦

國體明徵益深至誠奉公之念

其他荒怠相戒向各方面努力

臺灣自受帝國版圖以來。閱歲四十有一。回顧去年中。臺博之開。及地方制度。一部改正。無非表示躍進的臺灣進步之一端也。此躍進的臺灣之進步。一出於皇室深仁厚澤。新附子民。竊宜明徵國體。知恩圖報。即一旦緩急。其義勇奉公。扶翼皇運。其在太平無事之秋。亦各修文講武。涵養政治道德。公民信念。臺灣徵兵令。雖尚未實施。實施之日。不可不人盡忠勇。臺灣人服官者雖少。殊如[illegible]。然而在位之人。不見增加。然而在位之人不可不盡人[illegible]。留心精勵。拾進能力。臺灣人晚近之爲街庄長者。歐數漸減。其有尚未去職者。在一日當思盡一日之職務。先公後私。個々成名街庄長。又無地方黨派感情之排斥。互相傾擠。賢明當局。有鑑於一方之重望。豈故樂爲更迭之哉。夫本島人國民性之缺點甚多也。見不賢而內自省。茲試與內地人比較。爲教育尚未普及。政治上及公民上之訓練機會殆無。自然於此方面。多所缺憾。其餘多者。出於永年之積弊。習久性成。至於不知不覺之間。忘其判斷。譬如迷信過多。冠婚喪祭。過於奢侈。則生活要改善也。家庭內訌百出。視內地人爲不圓滿。則蓄妾之風宜廢也。父々子々。夫々婦々。兄々弟々。試問內訌從何而起。又吾人試觀內地人之組織大株式會社是致商工業。得以振興。本島人反是。大商工業會社。絕無而僅有。或有以不能得銀行徹底的支援。及種々保護爲口實者。是不盡然。何則關於信用組合。及各種總會之紛糾。實令人至疑本島人之有大株式會社組織能力。又內地人關於各方面之研究心亦極旺盛。爲系統的之整理。組織的之討論。處已從人。見善如不及。鮮聞有排斥先輩。妄自尊大者。又本島人比內地人之體質。有早熟早衰之感。如是則體育不可不講。衛生不可不守。早婚之弊。不可不去。外此爲精神上之修養。敬虔之人。自然克己復禮。趣味如旅行登山。文學藝術。讀書。皆上之又上者也。非如麻雀賭博。阿片。黃金賞札。爲極低級之本能的滿足。適足以消耗時間。貽害身體。要之從來所有國民性之缺憾。及諸陋習。皆宜及早提唱革去。尺璧分陰。荒怠相戒。向政治經濟各方面努力。其在國家。爲有爲之國民。其在社會。爲健全之一員。服從正義。貧而弱者。無自卑屈。將相本無種。富而強者。無以勢力凌人。宜益爲國家地方效勞。庶幾躍進的之臺灣。得以名稱其實。是足以促進徵兵令。選擧令之實施。農工商水產鑛業各種之發展。同時人各盡最善之努力。入學難。就職難。生活苦等。亦從而得以多少緩和解決。養生送死無憾。王道之始。跂余望之。望之。

臺灣林野二百五十萬甲

不補栽必至於伐盡

施設治山水欠確立林政

臺灣林業。自歸帝國版圖以來。督府設營林所。從事採伐。于嘉義羅東兩處置出張所。採伐北部太平山。中部八仙山。南部阿里山木材。一面施設森林鐵道。集材機械。架空索道等。以運出于平地。經諸指定材木組合。售諸島內。及移出于內地。或輸出對岸方面。銷路頗廣。其所伐出之材。以扁柏。臺灣檜。紅檜。占大部分每年採伐有四十萬石。價格二十八萬圓。又自開始事業以來。至昭和九年度多至百六十八萬立方米。價格五千五百八十四萬二千圓。就中阿里山最多。有九十七萬七千立方米。價格三千三百六十二萬八千圓。其次太平山之四十九萬立方米。價值一千五百六十萬四千圓。最少者八仙山之二十一萬四千立方米。金額六百六十一萬圓。門臺灣林野面積。多至二百五十餘萬甲。占全島總面積之七成。諸樹木野生于中央山脈一帶。是處有海拔一萬尺以上高山聳近百度。氣候不同。故分熱帶。暖帶。溫帶。寒帶等。生長樹木。種類甚多。就中有用材。約有三百餘種。蓄材量。尚有七億五千餘石。各帶主要樹木如左。

一、熱帶林(自平地直至山腹傾斜地)相思樹。象牙木。雞柔。毛柿。茄苳。山黃麻。藤竹。莿竹其他

一、暖帶林。烏心石。櫸。樟。一位樫。肖楠。油杉烟心木。廣葉杉。細葉樫大葉楠。桂竹。孟宗竹等

一、溫帶林。臺灣胡桃。紅檜。亞杉。扁柏。臺灣檜。臺灣樅。臺灣五葉。高嶺五葉。新高唐松等。

一、寒帶林。新高柏眞。同根松其他。

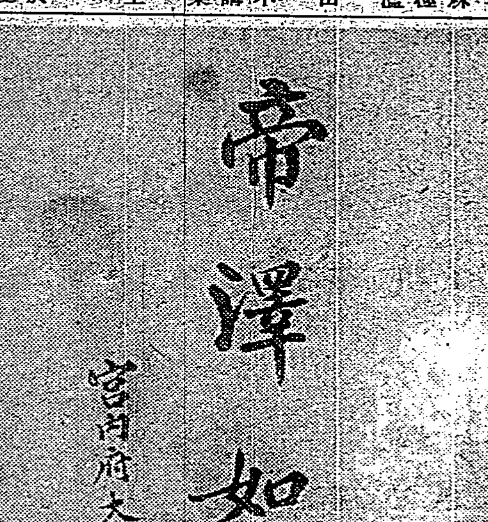
右由營林所傾注全力採伐。一面若不栽培。臺灣材木。必至于伐盡。爲是督府殖產局山林課。爲期永久生產。確立林政基礎。自大正八年實施臺灣森林令。爾來改革林政。林野管理。經營改善。皆十分努力。然對于民間造林。亦致意獎勵。且林野保護取締。置森林主事。巡視各區域。並極力矯正先住民之濫伐。濫墾。放牧。豫防火災等。至今已得佳績。然本島山嶽。多急峻地。因豪雨。其他天災地變。被害亦不尠。乃照保安林制度。講治山水施設。先圖與產業有密接關係之水源涵養。及土砂流失防止。並對全島沿岸砂地二萬五千甲。於季節風時。飛砂萬丈。且於田園家屋被害甚大。亦十分可憂住民保健上。乃實施造林。以防潮風。依此從來土砂。得變成美田沃野者。多至二萬甲。而現在全島。編入爲保安林者。約二十五萬一千餘甲。又營林所伐出材木。僅需消費量之半數。故自大正十四年以來。欲圖自產自給。樹立一施業案。爾來派遣係員。踏查斧斤未入之林野。至昭和十年度。始編成二十九事業區。面積百一萬餘甲之施業案。內九事業區。經營施植伐作業。故可得延長其生產云。

高雄農繁期

設託兒所

農會交付獎金

高雄州下。爲全島一大產米地。各農家。每遇收穫農繁期。咸苦痛者。係幼兒保護。爲有阻害勞働能率。或起不測之禍。關此州農會。欲除去此弊害。對各地大地主。及小作人團體其他。獎勵設農繁期託兒所。至昭和十年一期作。經開設十七處。然二期作。復有新設八處。即屏東郡長興庄新潭。同郡九塊庄後庄。同郡同庄[illegible]老。同郡里港庄茄苳腳。同郡里港庄碑子地。同郡鹽埔庄仕絨。同庄彭厝寮。潮州郡竹田庄溝子埔等。以上各所收容幼兒。二十五名乃至四十名。保姆多係大業主家族。或緣故者獻身的努力。得擧佳績。所要經費一部分。由州農會補助。又農會。欲期更加普及。決定擬獎勵新設。每年擬計上補助豫算之方針云。



農村景氣漸次恢復

臺灣財界展望

米糖石炭大宗品有望

一般財界　本邦昭和十年度豫算。惟軍事費增加。而總額不增加。然十一年度豫算。陸海軍事費。總增三千八百萬圓。歲出總額亦增八千二百萬圓。一面赤字公債。減少六千九百萬圓。通貨膨脹。景氣繼續。乃有力樂觀材料。萬一第六十八議會解散。此豫算不成立。亦依臨時議會及追加豫算而計畫。此點不成問題也。

臺灣財界　兩年來臺灣大宗產物。如米穀。砂糖。石炭。茶、金、青果之類。以至對岸輸出品。無不好況。米價暴騰。業佃大佳。糖價漸騰。本年起且世界的好轉。石炭又昂。需用大增。金價高保合。探金業者有利。茶亦高價。青果好況對岸輸出品如生豚。綿織物。毛織物。無不因銀水高昂而利市。珊瑚業亦因發見澎湖附近新漁場。漁獲額增多。水產業亦隆盛。是即十年中農漁山村。皆呈近年來罕有之樂境。新年受此好景氣餘惠。定必再繼續殷盛無疑也。

米穀界　臺灣米價。起自昭和九年。移出尤多。十年蓬萊米。圓糯更昂。移出雖無如九年之多。第因價貴金額反多於前年。爲領臺後最高額。本年臺灣農村仍科凶歉。十年內地米作恢復。產米得免賤售。米價仍有期待。

製糖界　糖價舊年末漸昂。新年以後。世界的糖價好轉。臺灣製糖界。仍是黃金時代。日糖鹽糖。各增設工場。一般期待產糖增加。如日糖。帝糖。鹽糖諸低配。會社。本年皆料必增配。業績良好。惟買收原料價格。不如糖價之唱昂。蔗農比較的不沾其利爲憾。

鑛業界　北部鑛業繁盛。金塊前途。仍有一段高價。基隆郡下產金。業者有利。石炭需要激增。價亦漸昂。石炭採掘者。本年中仍有厚望。

蔬果界　鳳梨罐詰。已大合同。移出價格已能協定。惟生產者之出貨。會社買收價賤。最不利益。柑橘類芭蕉之移出內地。當不遜於前年。惟對大連對華輸出之青果蔬菜。必視銀水及華北時局如何。未可一例論斷。近來大連銀已落至九十餘圓。輸出不利。

金融界　銀行組合到處資金豐富。良由米價好況。收入增多。且事業投資界。不如歐戰後之盛。臺灣金銀塊。又於兩年來賣出三千萬圓。其金額多貯存於銀行組合。故資金現出未曾有大膨脹。惟農村組合。經營順調。金利低廉。金利尚貴。宜再考慮降利之事也。

木材界　[illegible]來內地材減產價[illegible]昂。中北部又因昨年大震災及臺灣博覽會。需用激增。價尚騰貴。本年震災地之復興。大[illegible]富裕新築家屋[illegible]臺灣[illegible]材當見騰貴。

勅題恭賦(海上雲遠)

大海茫無際　陰晴變靡常
黑看雲漸遠　白仰日彌光
風靜千波穩　空連一線長
江山開錦繡　花木煥文章
浩蕩鷗浮渚　呢喃燕語檣
邦交期輯睦　國運見恢張
世喜烽烟靖　年逢禾穀穰
殊方來玉帛　遠貢亦梯航
共上春臺望　同傾柏酒觴
九重閶闔啓　瑞氣滿扶桑

臺灣人生活難對策

須求合理生活

從積極消極兩方面進行

現今臺灣人口。已多至五百二十萬人。再閱二十年後。料必增至七八百萬人。以今日之現狀。少年苦入學難。青年嘗就職難。中年則又備嘗生活難。子女婚嫁。治病死喪。事事無不皆難。生存中之人類飽嘗困難。即死後之埋葬因時々清冢。公共墓地日狹。死且無葬身之地矣。比較內地人入學就職。比較容易。而本島人之難局。此後必日甚一日。年苦一年。現代之吾人已如此。未來之吾儕子孫。又將何以爲生乎。言念及此。雖樂天主義之吾人。又不得不抱悲觀見解也。似此重大難局。將何以打開。此臺灣人之大問題也。生死關頭也。實行既難。談之抑何容易。吾人於擁爐煨芋之間。屠蘇酩酊之後。伸紙吮毫。姑就所見一二。拉雜言之。究此重大問題。固無所謂具體的之妙案。不外以進取的積極的精神而經營。作消極的退一步想之生活。以謀家計收入支出。得其均衡。然收入非圖無理妄求之意也。支出非退嬰吝嗇之意也。愼思而行。存乎其人。其法固不止一二。務要從多方面生活改善。作合理的生活。素位而行。雖傭工負販。吾信其能保一家之飽煖也。所謂打開法者。分積極的方面。與消極的方面。略述如左。

積極的方面

▲致意家庭教育。養成有用國民。自不至於放僻邪侈。而陷於罪戾。

▲養成勤勞習慣。勤可養廉。閑居爲不善。無從而來。人而能勤。收入自多。

▲覺悟初等教育爲義務。不可以卒業公學校。便思竟高尚位置。農工商雜業。各執一途。如是則高等遊民自少。

▲臺灣副業未興。市街庄宜更獎勵。設法教授以適切手藝。加工。牧畜。園藝。俾無遊手好閒之人。

▲都市營登已難。能勞力者宜從農漁山村。開拓生面。山地之開發。尙覺有望。臺灣多占光熱天惠。山地荒埔之墾闢。於臺灣爲適當。

消極的方面

▲生活宜改善。內地人喪葬。一二百圓便得普通了事。本島人多費於迷信。且喪事用紙厝。恰如賽會。此種惡風。亟宜矯正。

▲嫁娶儀禮過繁。糕餅過多。常人娶妻。動費千金。嫁女亦如是。此方面若從簡素。其費用得以半減。

▲納妾祝壽。要極節制。無子求嗣而納妾。方有意義。祝壽宜對會族之六十以上者簡素行之。

▲賭博阿片。占本島人犯罪者大多數。以此破家。戕賊其身者。固不必多贅。

▲交際不可過濫。濫則近於浪費。晚近有錢有閑階級。多爲此疲於奔命。若於萬不得已時而往來應酬。當不至於過濫也。

▲災害疾病先事豫防。此等事本島人遜於內地人遠甚。平時不知戒愼。一朝禍起。花費[illegible]窮。

▲涵養守法精神。人能守法不至蹈檢踰閑。自無干犯法網。株累身家之事。

鼠　淡水女學院　陳敬輝氏筆

海上雲遠　臺北市　郭雪湖氏畫

花蓮港廳勸業

改良產米

甲增收卌石

花蓮港廳勸業係。鑑廳下產米。年僅十五萬石。甲少穫不過二十石內外。比西、南部地方爲少收。差去甚遠。故計畫增收至三十石。爰改良蓬萊及在來兩種品種。乃獎勵各部落。創立農業小組合。以當改良。將各小組合員一團。以組合員之水田。利用爲試驗田。獎勵各自品質向上。及改善施肥其他。使達到當初計畫云。

臺南畜產發達

獸醫不足

本年增十四名

臺南州勸業課。鑑州下畜產衰退。乃傾注全力。獎勵繁殖。及開設牧場。配置優良種繁殖。爾來漸見發展。一面化指導地位之獸醫。咸感不足。致[illegible]害獎勵其他。故當局鑑非再增員。難期更加進步。爲是自十一年度起。欲增員四、五十名。配置于各郡或街庄役場。詛因財源難等關係。減爲十四名。顧現在州下獸醫總數。州農會有二十九名。畜產組合二十六名。市街庄八名。州勸業課四名。計六十七名。合十一年度增員。僅八十一名而已。若比臺中州下百五十四名。尙要增員若干。而州當局之方針今後逐年擬增員。以補不足。並期充實畜產指導機關云。

春陽　臺南市　黃澤霖氏畫

神祕國雜談

意神紛爭。爲歐洲大戰後。諸強而有力諸國家要求殖民地之重行分配其一表象。其關於兩國從來國際上之關係。及聯盟態度。本報已詳爲介紹。茲更擧神國雜談二三。用供新春茶前酒後之談助也。

▲勇敢之神國王

兩期後意神兩國開戰。神軍雖勇敢。地勢雖險阻。終不敵意軍之新式軍器。是故意國殖民。多被其殺傷侵土多被其蠶食。此點可[illegible]

陳列許多高大紅背坐椅。中置大洋樽六隻。用具非常精緻。有大銀茶壺。及小金盃等。膳夫著綠色之外衣。來往酌茶。又有五婦人。斡旋其間。國王。時帶微笑。所操法語。非常流暢。但所談均係私談。不肯漏洩國中祕密。依照同國規例。公衆集會。應有兩小獅。蹲在國王腳邊。但是日只用兩小犬來代。此兩小犬。未經訓練。不肯似小獅一味蹲却。東西亂竄索食。時或爭食而吠。主賓均顧而樂之。國王起立簡單演說一頃。只勸各國研究神國。並擧杯祝世界平和最後勝利。聞說國王對於國內之野妄。則保存自國習慣。巍然高坐。快啖牛肉。或在僧侶舞蹈時亦去參加。國王年四十六黑頭髮。頷下蓄鬚。眼珠漆黑銳利。去年十一月三日夜。擧行登極第五週年記念。有兵士萬二千人。持矛整隊游行。在鼓鼙笑之聲。過國王前時。齊聲大呼。請給吾等步銃。是早國王與王后。乘車赴聖喬治教堂禮拜。並在宮前與諸戰士豪餐。著褐色衣裝。表示對敵宣戰危急之意

▲神祕國基督教徒

神國基督教。屬於古埃及教會。總主教。由亞歷山大教區大教長所命派者。大抵爲埃及人。外役本地土致若干人。爲之輔弼。牧師爲數甚多。且富有資產然不學無術。又甚迷信。

▲封建式之神國

神國是現時封建國家絕好模範。國中階級。重々疊々。皆具有傳統的經濟政治權能。社會組織基礎。以軍事爲中心。戰時能於軍事敵者。受國家無上榮譽。其在太平之日。軍校充官吏。神國於十六世紀雖受西人一度侵犯。此後更大破意軍。歐洲文明。僅及於國王及其左右。餘遊歷於外國之千人士。多食古不化。同國之維新事業。提倡大難。

▲種族政治軍備

今皇帝海利塞拉西陛下。厲行君主集權制。在過去除非國君強有力如梅納立克。四方諸侯。常妄自尊大。不受節制。因爲地域遼遠多山。地方觀念發達尙處我許。孱弱元首。難於統治。今皇帝集權運動已大成就。若干世襲諸侯已經就範。梅納立克薨後繼位之君。現在逐次恢復此種運動。在一九二六年因大元帥愛沃斐斯之死。急轉直下。斐沃斯統率國軍三十年。一旦逝世。皇太子泰法利將軍。(即今皇)乘千載一時之機。遂取諸侯封邑。接管軍權。與自己世襲之哈拉爾省軍隊合併。一躍而爲阿比西尼亞最有權力君主。他雖屬風行。昭告于與他一樣有權承繼皇位之諸侯。表示大權獨攬決心。一九二八年女皇柴蝶都。即梅納立克之女。封今皇帝爲王。女皇薨。今皇帝登極。國號海利塞拉西。一九三〇年一向獨立之高特迦省。爲將軍叛變。國王擧兵。把他討平。於是位居尼羅河套內最重要的富庶之區。也歸中央政府管轄。不過就大體論。世襲諸侯。還沒有把他封邑廢止。集權運動。僅以東部和南部邊省爲限。其處人民。多是回敎徒。或無宗教。土地也到梅納立克朝。才征服。自然也有憲法。是一九三一年欽定頒佈者。憲法也規定「國會」須定期開會。此神國之「國會」不能與歐美民治國家之立法機關。相提並論。所謂「代議士」對於立法行政。全無力行施監督權。任全受國王支配。這國王。如有諭旨。要使國內外週知。他就親臨「國會」宣布。國會議員。不能算是代表國中無智群衆。只可算是代表各諸侯王。(未完)

海上雲遠

謝尊五

極目滄波遠。卿雲擁日邊。從龍連漢社。[illegible]鳳接星躔。[illegible]百川。沛然澤浹下。[illegible]祝豐年。

○　陳元亨

海上浮雲去。波光接遠天。欣逢明盛世。豫祝大豐年。萬物萌芽早。三陽啓泰元。維新原有象。主聖輔臣賢。

○　柯燈曜

早光安瀾晨。龍宮夢不驚。月明天際闊。風靜海潮平。舟楫帆高掛。樓臺倒影橫。萬方歌利濟。共仰聖恩宏。

○　陳旺回

旭日蒸々上。雲開萬派清。西歐猶黑黯。東亞既光明。浩蕩烽煙靜。汪洋水利成。恩波欣溢被。樂境是蓬瀛。

○　谷笑雲

極目蓬萊水。繽紛五彩騰。祥光消蜃幻。瑞氣應龍興。潤碧恩波闊。蒸紅旭日升。形庭膺禮樂。獻頌有梯登。

○　雷俊臣

無心雲去盡。海上景分明。遙望扶桑立。低飛似棟橫。水中闌槳響。天際錦霞成。有聖波因靜。歌賡禮樂賡。

○　高文淵

霧消澄海宇。朝日上曈々。萬里清無際。三山望[illegible][illegible]

○　吳士茂

波靜開平鏡。中天沒點瑕。扶桑浮旭日。麗島現光華。[illegible]

○　沈梅岩

萬派朝宗處。[illegible]障開光宇宙。波靜貼玻璃。天外將歸岫。人間兆息師。太平元有象。四海拱朝曦。

○　吳曉堂

六合初開泰。潮平晷不生。和風吹激灩。麗日映澄清。廣大依遼闊。宏深識聖明。待看龍獻瑞。昭代慶[illegible]

新年雜詠

陳金龍

干支亥子歲時遷。大地春回景物妍。出谷黃鶯鳴樹杪。營巢紫燕語堂前。桃符換後迎親友。爆竹喧時奏管絃。但願干戈從此息。含生共享太平年。

○　王雲鶴

韶光容易又新年。萬紫千紅照眼前。生値太平歌舜日。人皆溫飽樂堯天。椒花獻瑞[illegible]柏酒杯傾[illegible]。春服既成身又健。及時買醉日陶然。

○　謝步春

[illegible]喧爆竹到天明。逸擬攜柑去聽鶯。軒下縱橫懸彩索。街中十二奏桃笙。寅恭投刺嫌殘俗。卯醉浮杯藉養生。賜與兒孫錢壓歲。未能免俗例人情。

○　張國洲

欣逢甲子又開元。除舊家々爆竹喧。綠畫頻浮迎歲酒。青郊高插送春幡。日暄柳底鶯聲囀。風暖花間蝶彩繁。好是太平新氣象。五雲瑞擁綺門。

○　雷俊臣

黎明即起爲迎春。爆竹聲聲入耳頻。一夜東風萬千戶。早。桃符換得萬家新。宜民政治行仁政。處友相交表慇親。五指彈來年歲[illegible]。[illegible]

賀正

內海忠司 高雄

松尾繁治 高雄

中村一造 高雄

村上一郎 高雄

臺灣合同鳳梨株式會社 常務取締役 星野直太郎

陳啓貞 高雄

新興製糖株式會社 取締役社長 陳啓峰

西巻南平 高雄

福田看 高雄

荒木萬三郎 高雄

森直吉 高雄

國際運輸組 井上忠之助

臺灣高雄 株式會社 臺灣鐵工所

高雄魚市株式會社 高雄市新濱町二丁目十番地

三郵組 高雄市湊町二丁目十七番地 電話貳六貳五番

臺灣南部無盡株式會社高雄支店 支店長 永田繁雄

高雄州協議會員

（いろは順）

飯田耕一
橋本安博
林廉
李幾法
李明道
陳啓峰
陳光燦
筧干城夫
楊縛
高橋傳吉
中村一造
大槻嘉造
阿久澤胖
淺野安吉
龔天降
許受全
右田吉人
白石喜代治

高雄醫會（イロハ順）

井狩醫院 電話二三六七
帖佐醫院 電話二二〇五
尾上醫院 電話二六五一
渡邊醫院 電話二五〇六
神田醫院 電話二〇二六
田中醫院 電話二四五
高雄肛門病院
小出醫院 電話二二九八
海老名醫院 電話二四二三
右田醫院 電話二五四
瀬名波醫院 電話二三五

高雄市新濱町二丁目 合資會社 南隆商行

高雄市壽町一丁目 合資會社 金鵄館

高雄市湊町二丁目 ヤマト商行

高雄市湊町二丁目 合資會社 山半商店

高雄市堀江町四丁目 高雄雜貨卸株式會社

高雄市入船町五丁目 臺灣農具製造株式會社

高雄市湊町二丁目 中央自動車株式會社

鳳山街田町 松田油脂工業合名會社

官舍飯場和洋服 ドライクリーニング 高雄洗布所 電話貳參五四番

アサヒ ベツソン ギヤ ニム 各種自動車部分品 合資會社 中間自動車商會 高雄市山下町 [illegible]

鳳山郡

鳳山街役場 街長 平間重兵衛 助役兼會計役 林金鐘
小港庄役場 庄長 高橋鹿之助 會計役 李輝煌
林園庄役場 庄長 葉瑤琳 助役 矢野寳 會計役 黄岡度
大寮庄役場 庄長 高橋茂夫 助役 陳老 會計役 張清吉
大樹庄役場 庄長 黄榮賢 助役兼會計役 黄譽
仁武庄役場 庄長 長谷川寅
鳥松庄役場 庄長 黄安心 助役兼會計役 陳清文

田中賢三 鳳山街

岡山郡

岡山庄役場 庄長 揚縛 助役 久木元 會計役 尾崎泰雄
楠梓庄役場 庄長 林東來 助役 金井塚已吉 會計役 吳天錫
田寮庄役場 庄長 朱萬成 助役 柯寳歹 會計役 李雲
燕巢庄役場 庄長 陳坤 會計役 趙文道
彌陀庄役場 庄長 高進良 助役 李旺 會計役 孫統
路竹庄役場 庄長 齋藤善次郎 助役 蔡振採 會計役 林順
阿蓮庄役場 庄長 齋藤賢次 會計役 梁永就
左營庄役場 庄長 陳聰階 助役 林建論 會計役 王貴人
湖內庄役場 庄長 吳開實 助役 史景星 會計役 許永吉

高雄職工組合

高雄市會議員

（イロハ順）

池尻重雄
潘致祥
潘財源
千葉政之助
陳啓清
陳光亮
川口長助
川野福太郎
柏原武夫
楊金虎
葉鴻猷
高木拾郎
田中泰作
中島文雄
中村秀
駱榮金
楠田卓哉
松田宏一
眞砂由次郎
船橋武雄
安藤彥市
淺野賢智
宮川精九郎
芝忠一
平田末治
森尾昇
杉本三郎

吾妻支店 高雄 電話二三三二番

高雄佛教聯合會

壽旅館 高雄壽町 電話 [illegible]

富重造船鐵工所 電話 [illegible]

高雄材木商組合 本田材木店 奥村材木店 永T材木店 佐々木材木店 宮本材木店 宮幸材木店

酒類賣捌人組合 高雄支部員一同

高雄市北野町三丁目三番地 高雄中央卸市場株式會社 電話二六九三、二六九六番

高雄市哈雅寮二六〇番地 日本炭酸株式會社 多木龍二

臺灣地所建物株式會社 高雄出張所 基隆出張所

高雄市湊町二丁目二十八番地 株式會社 林兼商店高雄出張所

南報商事社 山內留吉 高雄市

東洋製罐株式會社高雄工場

高雄實業協會

烏樹林製鹽株式會社

高雄市湊町 洋品雜貨 洋家具製作 室內裝飾品 眞砂洋品店 電話長二二二六番

高雄市三塊厝一、〇六八番地（川田旅館） 陳中和物產株式會社 電話二、〇〇八 二、〇〇九番

高雄劇場株式會社

高雄信用組合

高雄共榮自動車株式會社 電話 [illegible]

高雄驛前 太田旅館 電話 [illegible]六番

高雄市 割烹 ゑまた 電話二五〇九番

高雄市堀江町一丁目七番地 大庭鐵工所 大庭定吉 電話貳七〇番

高雄市堀江町六ノ一 ナツイ寫眞館 電話二〇二番

㊇蔡文豹商店 電話二五五九番

高雄 タサカ寫眞館

本田喜八 高雄市

高雄市 興業信用組合

銅鐵機械工具商 吉岡鐵店 高雄市

臺灣煙草賣捌人組合 高雄支部

高雄煙草賣捌所

和洋紙 文房具 印刷 村木商店 電話 [illegible]

高雄製氷株式會社

國際通運株式會社 高雄支店

有限責任 高砂信用組合 本店 出張所 [illegible]

米穀雜貨 ㊦平田支店 高雄市鹽埕町 小林小太郎

大阪商船株式會社 高雄支店

高雄海員友信會 [illegible]

淺野セメント株式會社 臺灣支店 臺灣工場

高雄州廳食堂團一同

臺灣合同鳳梨株式會社 高雄市

高雄州青果同業組合

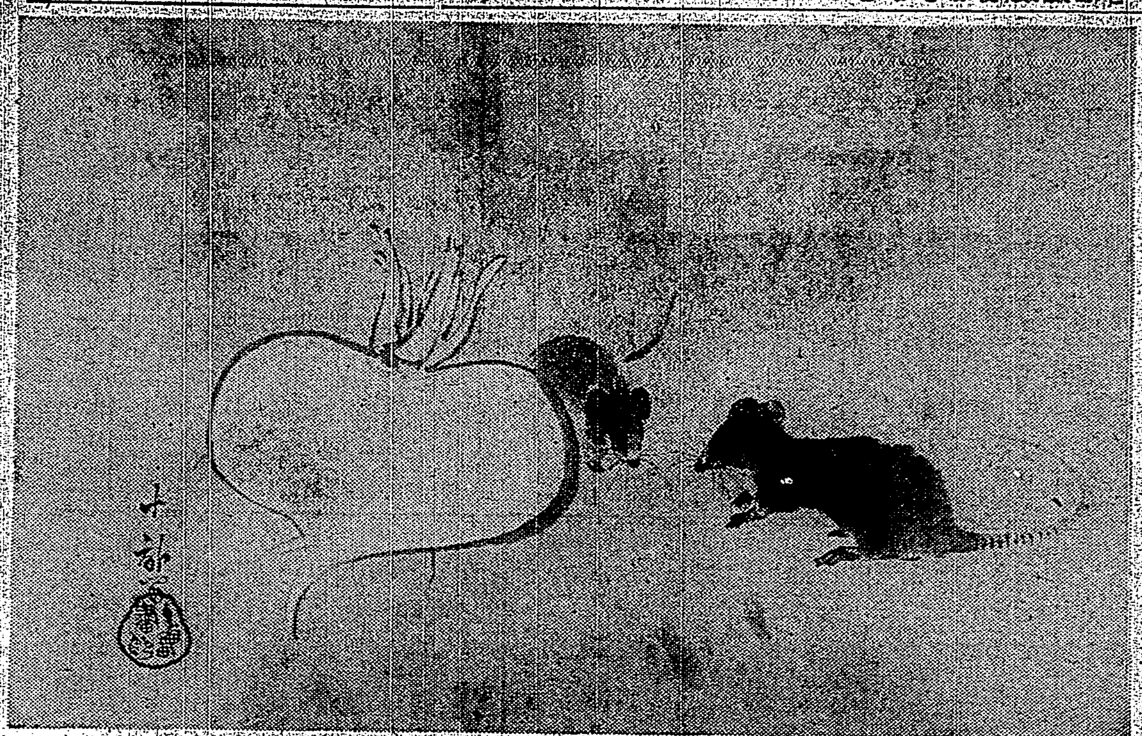
臺灣高雄州鳳山郡大寮庄山子頂百九十番地 新興製糖株式會社 電話鳳山三〇番

偉大な發展性を有つ 港都！高雄の將來
その躍進策に關して
高雄稅關長……中田榮次郎氏談

中田高雄稅關長

高雄では「新興高雄の發展」といふ事が恰も流行語の如く在住者に依つても訪問者に依つても囃られて居る。誠に高雄港の發展は目覺ましい所であり又一度壽山の山頂に登つて高雄港の勝れたる地形、その廣漠たる背後地を眺むる時は何人も高雄が偉大なる發展性を藏するものであることを看取するであらう。が然し乍ら斯く發展は自然發生的に起るものではない。それには必ずや人的物的の力が作用することが必要とする。特に高雄の場合に在りては更に遠大なる計畫を樹立して國と官民合同協力して之が實現に努力することが必要であると思ふ。アルミニューム會社の設置は高雄としては非常な收穫であつたが今後も第二第三のアルミニューム會社（勿論單に大工業會社を意味するに過ぎず）が設立さるゝに非ざれば所謂新興高雄の大發展は期待し難いものと謂へよう、蓋し高雄の發展方策は商業都市（貿易都市）並に工業都市として伸展するにある。貿易都市としては南部臺灣の發展は直接に高雄に好影響を齎すであらうし又臺灣の經濟的發展の[illegible]ものと考へられるから此の意味に於て南部高雄の將來は甚だしく惠まれたものであらう。然し工業都市としては全く別個の方策に出づる必要がある。卽ち一層積極的に行動することが必要であると思はれる、其の故如何となれば高雄が消極的なる限り大工業會社の設置は大して期待出來ないと思はれるからである

由來私は臺灣產業の工業化の問題に就ては悲觀論者である。經濟的に見て臺灣には現在以上に大工業の發展し得る可能性は乏しいと見て居る。唯主觀的條件を介入することに依つてのみ大工業を臺灣に招來し得るものと解して居る。然らば謂ふ所の主觀的條件は何ぞやと言ふにそれは政府其の他の者が特に大工業誘致の爲に犧牲を拂ふことを謂ふのである。恰も臺灣電力株式會社がアルミニューム會社に對して採つた態度方針の如きものが今後の大工業招致には絕對に必要と考へるのである。卽ち大工業誘致の爲に特に低廉なる料金を以て電力を供給すると共に自らも其の工業會社に相當出資することが必要である。將來は此の種の方法を繼返すことに依りて始めて臺灣に大工業の發生發展が可能となるものと考へるのである。大體に於て臺灣の既存原料は既に利用し盡されてをるのであるから卽ち未利用の大工業の原料はないのであるから換言すれば遠き將來はいざ知らず近き將來に於ては臺灣に於て起り得る工業は大體に於て外國の原料に加工することを目的とするものであるから特別なる誘致援助が臺灣側より提出さるゝ場合の外は誰しも好んで臺灣で大工業を起さうとは考へないであらう。同一の條件ならば內地で起す方が得策の點でより有利に相違ないからである。扨次に工業設置の場所の問題であるが、叙上の事情であるから他の條件に比して同一ならば第一に外國原料の輸入利用並に加工品の輸出に便利な場所を選定するの必要がある。其の場所としては其の水陸の地形の優秀なること背後地の廣大なること等の點からして結局高雄が第一に選定せらるべきは謂ふ迄もない所であらう。以上極めて粗雜ではあるが本島產業の工業化の爲には官民に於て特別なる努力を要すること並に工場設置の箇所として高雄が最も有望であることを述べたが更に之を具體的に考へると大工業設置の爲には結局臺灣電力會社が常時周到なる調査を行うて臺灣に於て起り得べき大事業の種類並にその規模を決定し、而之が實施に際してはアルミニューム會社設立の事例に則り自ら相當の出資を爲すと共に之に對して特に低廉なる電力を供給するの方針を採るべきであると考へられる、而して之に對して日月潭第一、第二發電所の供給力では不足を生ずるが如き場合には全島各地に於ける未利用の水力を利用して發電することゝすれば更に何十萬キロワットかの電力は得らるべく差當つて相當數の大工業會社の必要とする電力の供給に事を缺くが如き憂ひはないであらう、斯くして來るときは本島產業工業化の實現に於てはその當務の大半は既に電力會社に課すべきものと考へられるのであるから、電力理事者としては百尺竿頭更に一步を進めて最新の科學の應用を究めたる上對內地關係をも考慮して本島に適切なる大工業を起す樣、折角努力あらん事を切望する次第であるが、就中更に一層多く工業都市高雄に付ての研究を希望する次第である。又高雄州市としても工業係員の樣なものを設置して常に電力會社と連絡をとり高雄への大工場の誘致に付て常時も少し積極的且つ具體的の努力を繼續せられんことを熱望して止まないのである。尚總督府としては工業都市高雄の建設の爲に今少しく積極的なる計劃を樹立し港灣設備の改良充實に際しても大工業地帶の建設の目的をも加味して、その水陸の施設を完備せられん事を望むや切である。最後に此の點にかける總督府と電力會社との充分なる連絡打合の常に行はるゝ事を祈らざるを得ない


鼠　荒木十畝氏畫

臺灣のドブ鼠が 東都へデビユ

臺灣と言つても南部方面のどぶ鼠は猫のやうな大きなもので猫がこはくて逃げる許りでなく時にはやくくしてゐる豚を食つてしまふと云ふから恐ろしいものだ、然るに東京大阪の動物園では新年の干支が子に當るに因み、是非ともどぶ鼠君に招聘して都の人々を驚かせたいとこの程高雄の某氏に斡旋方を申込んで來た、東奔西走やうやく十番を捜し出したので過般高雄出帆の便船にて花々しく旅立たせたから今頃ではさぞかし正月で賑ひ東京、大阪の都人に相見えてゐることであらう

坂本龍馬と同門の 高雄の三木善哉翁
血で彩られた當時の狀景を 白髯を撫しつゝ語る

殺伐から維新、例の血で彩られた時代を潜つて來た生存者が高雄に一人居してゐる。高雄市内で誰知らぬ者もない「高雄のおぢいさん」三木善哉翁その人である。翁は愛媛藩士として東京は[illegible]かの名高い北辰一刀流の名人千葉周作の道場で坂本龍馬と同門して劍を學び、鍛へたその身體は米壽を一つ加へた今日でも壯者を凌ぐものがある

「わしは近頃頭が惡くなつたんぢや、昔の事はよう覺えてゐない、わしのことを書くつてア、わし[illegible]新聞になど書かれる身分ぢやない」

と今でも商人を卑しいもののやうに思ふ翁さんはやつぱり封建時代の武士氣質が拔けきらぬらしい。今では一寸見ただけではわからない右眼の上にある刀傷を[illegible]とまつたので「その傷跡」と問うて見ると

「これは會津でやられたんだが昔東京に暇雪といふ俳人が居た、この先生の選で「春雨」といふ題に「ほまれの古傷かゆし春の雨」とよんだらそれが天になつたんぢや」

三木翁はかくの如く俳句、歌、漢詩を吟じ又つくることが唯一の樂しみださうである

「氣のくしやくしやした時、[illegible]のたつた時など歌か俳句を一首よむと胸がすーとして愉快になれる、これがわしの氣分を爽しませ長氣もせずにゐられる一つの原因かも知れぬ」

といつて筆者の請ふままに元旦によむ俳句を即座に

〃また生きて居ると計りや冬の雲〃

〃自他力で與へなる春を迎へけり〃

〃風雪の降りも除けて晴れやなぎ〃

と三句を記し

〃わたつみの沖に漂ふ白雲は我が帝國の春煙かも〃

と正月勅題「海上雲遠」の和歌一首を吟じ、更に

杯中有物未全貧
老境唯慶少故人
我與桜花相識久
亦逢八十九回春

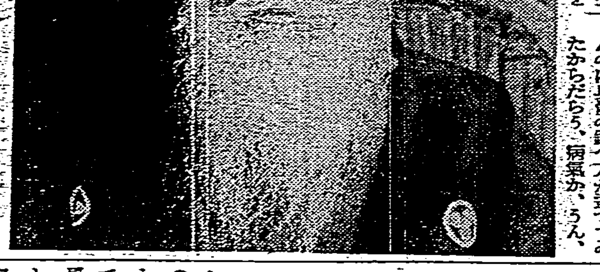
の漢詩をものして風流なところを見せる、翁が千葉周作の道場で坂本龍馬などとは心易い仲だつたといふ

「近藤勇か、近藤には死が遣つので[illegible]なア、しかし知つてはをる、ありや馬鹿でした、大體お學問のない男で剣士も義理も何もわからん奴ぢやつた、唯兵隊に入を斬つて自慢してゐた、坂本龍馬と元氣者か、そりや坂本が強かつた、どこの道場へ行つても坂本が強かつた樣に覺えてをるが子供か――わしはなア、武士をやめて東京で町家に養子に行つたんぢや、そこで二人の子供が出來たがあまり道樂をし過ぎて飛び出しちまつたのぢや、その時の子供が今年六十六の男と六十一の女の子が今東京に居る筈ぢやが、今では關係なしだ、こつちには三十七の娘がをる、養子を迎へたんぢや、孫も五人をる、これはちと恥かしい話ぢやがまだ一人をる、これは今年醫學の豫科に在學して居るんぢやがわしの七十の時の子供だウワヘヘ……まあそんなことは書かないやうに……」

翁は臺灣へ來て既に三十九年、その殆どを高雄で過したが今でも米俵の一つくらゐ平氣で擔いで店の若者を驚かせる元氣を持つてゐる

「この年になつても若い者に負けんのは身體の鍛へ方が違つてゐたからだらう、病氣か、うん、また病氣で醫者にかかつた事は一度もない、風邪ぐらゐはほれあの富山の藥、アンチピリンとかいふやつを一服飲めば治つてしまふ、養生法なんていふものはない、ただ先祖代々朝夕うがひをする事を喧しくいつてるのでこれだけは未だ缺かした事がない、わしは今でも氣が向いたら若い者の二倍くらゐ食ふ事がある、昨年の大晦日にはそばを二十も食つたウワハ……これも若いころに練習したもんだ、戰爭に行けば三日も五日もめしを喰はん事がある、それで行く前にうんと食へるだけ食ふんだ、こんな事には普通の方には出來んことだ、飯屋をやつてるが魚肉が大嫌ひで大抵菜食ばかりだ、酒は若いころ一升くらゐは平氣だつたが酒で大失敗したのでふつつりやめた、やめてもう六十一年になる」

と氣焔を一席[illegible]翁は白[illegible]の[illegible]のやうに[illegible]一尺もあるかと思はれる[illegible]を自慢にして居り、今でも[illegible]その白髯を[illegible]


三木善哉翁

多賀敏男　明治製糖溪湖工場

員林郡永靖庄　合資會社 大豐商行　代表社員 陳慶雲

陳天助　員林郡永靖庄

北斗郡 田尾信用購買販賣利用組合　組合長 邱漢水　專務理事 羅老庚　役員、職員、組合員一同

青果移出商 邱興才　員林街員林

永靖信用購買販賣利用組合

大村信用購買販賣利用組合

員林 北斗 三等自動車合資會社　事務所員林街

員林 溪湖 不二商會　事務所員林街

親切本位 高砂旅館　員林街

溪湖庄長 楊本

貸地業 李功垂　員林郡溪湖庄

貸地業 楊營　員林郡溪湖庄

社頭庄協議會員 潘士　社頭庄新厝子

永靖庄協議會員 陳獅庚　永靖庄五汴頭

永靖庄協議會員 詹昭壽　永靖庄五汴頭

永靖庄協議會員 邱傳道　永靖庄五汴頭

永靖庄協議會員 黃火在　永靖庄湳港西

永靖庄協議會員 永井貞次　永靖

永靖庄協議會員 陳作忠　永靖庄湳港西

青果移出商 羅國賓商店　員林街員林

永靖庄協議會員 王賢德　永靖庄同安宅

貸地業 楊廣　員林郡永靖庄

溪湖庄協議會員 楊維新

溪湖庄協議會員 巫長順

溪湖庄協議會員 鄭老奎

莊加岑　溪湖庄

溪湖庄會計役 楊永祿

御料理 東芳樓　陳老成

御料理 祝樂天　楊宰

御料理 新開樓　楊仁義

員林滿蒙出荷組合

八堡圳水利組合長 秋永長吉

員林街協議會員 比良金之助

員林街 御料理 元春樓　陳水金

員林街 御料理 醉翁樓　黃依姆

員林運輸組合員一同

北斗信用購買販賣利用組合　組合長 [illegible]　專務理事 [illegible]　外役職員一同

臺中州員林郡員林街 員林米穀商協會　電話一〇一番

肥料卸商 劉益興商店　社頭庄協議會員　員林街西門　電話六五番

臺中州特種園藝苗木指定人 臺員農園　員林郡員林街

臺灣員林街 通成百貨店　電話一六番　旅館部 東洋ホテル　電話三三番

藥材 材木 員林街 謝協源本店　電話四七番

員林郡員林街員林一〇五 合資會社 鼎益興商店　代表社員 游海　電話二〇番

員林郵便局 戶田友一

臺灣員林街 合資會社 東寧商會　劉益岳　電話三三番

員林理髮營業組合

員林街長 朝倉哲雄　員林街助役 張清標　庶務主任 張芳蘭　方面幹事 張清柳　員林街方面委員 [illegible]

有限責任 員林信用購買利用組合

員林郡醫師會

員林街員林 光前醫院

保證責任 坡心信用販賣購買利用組合　電話員林一四六番

臺中州員林街 臺中州柑橘同業組合　電話六七番　電信略號タイイン

員林街員林 張銅水

員林消防組 組員一同

員林街 李俊黨　電話四八番

員林街 黃金榜

有限責任 湳仔信用販賣購買利用組合　役職員一同

南投輕鐵株式會社　社長 林燊雨

保證責任 南投信用販賣購買利用組合　役職員一同

南投街協議會員 廖振忠

名間庄協議會員　陳作西　楊炎　李田郎　陳招烈　陳新達　陳[illegible]　陳耀儀　李文川

南投街 長澤園三郎

南投街長 吉満敬勝

南投酒類賣捌所　南投街

南投街 木村醫院　電話七番

喪中につき年始の御挨拶遠慮申上候　南投街南投 新美三朗

宗藤大陸　豐原

豐原街豐原 內科小兒科 博濟醫院　院長 張[illegible]

豐原郡小公學校長一同

臺中州豐原郡豐原街 臺中輕鐵株式會社

臺灣豐原街 臺灣製麻株式會社　電話一番

豐原街 林祚淦

岩下實業　豐原

保證責任 內埔信用販賣購買利用組合　豐原郡內埔庄屯子腳　電話后里一九番

彰仁耳鼻咽喉科醫院　豐原

大雅庄長 張文德

板鼻歲雄

豐原街協議會員 林貴清

豐原街協議會員 林祚爐

有限責任豐原信用組合　保證責任豐原販賣購買利用組合

呂季園　豐原

株式期米 中原商會 廖啓川　南投郡草屯

昭和十年度新契約四千萬圓突破 日本生命代理店　庄協議會員 洪石輝　南投郡草屯

草屯公醫 信組理事 協議會員 王山君

南投郡草屯庄 王松根

大甲信用販賣購買利用組合　大甲郡大甲街

賀正

藤村寛太 花蓮港

花蓮港廳食堂團

梅野清太

和田廣

東部信用組合

花蓮港街協議會員
(イロハ順)

石田順平
林運
林玉鑾
小川浩
吉村佐平
玉置彌四郎
玉井龜次郎
中村五九介
村田守蜜
福井公
古賀朝一郎
鄭根井
許聰敏
謝萬福

清水倉太
五十嵐重藏
荒尾角次
坪鄉雪治

山路傳造

花蓮港信用組合

花蓮港自動車組合

花蓮港旅館組合

東臺灣無盡株式會社

佐藤恒之進

安武伊八

活動常設 筑紫館 奥井松太郎

美濃部良晴

羽鳥醫院 羽鳥重郎

酒類賣捌人組合東部支部
渡邊房晉
岩崎逸吉
白井俊次
兒島景二
唐仁原俊
大江虎吉

花蓮港酒類煙草食鹽小賣人組合 事務所 花蓮港黑金通三六

花蓮港菓子業組合
松下十種堂
井上文化堂
安富大黑堂
ゑびすや

鳳林 饒永昌

井上佐

花蓮港公學校職員一同
第二幼稚園職員一同

宮崎末彦

住田物產會社

舞鶴コーヒー農場 國田正二

花蓮港料理屋組合

堤廣治

稻垣吳服店

筆墨文具 出古屋

大川洋品店 大川米吉

書籍 並木學生堂 並木利三

小川浩商店

吉村佐平商店

吉村商店油部

大江商會 大江虎吉

タロコゑはがき 片山寫眞館 片山■三吉

池南線 花蓮港バス

花蓮港理髪組合

カフエー タイガー

カフエー ギオン會館

驛待合 小林商店

豐隆支店 王玉寶

洋雜貨 化粧品 小間物 (上) 村上洋品店 花蓮港黑金通り角

土木請負 山田組 山田越太郎

土木請負 角谷組 角谷庄六

海產物 野口商店

花蓮港畜產會社

雜貨 高橋分店

土木請負 セトモノ商 大嶽廣三郎商店

村松せともの店

蘇花自動車運輸合資會社 臺灣花蓮港街花蓮港黑金通一三番戸 電話五〇六番
◎お心易く御利用下さい

花蓮港定置漁業組合

カフエー 新川花壇

河俣糖廍 キネボー工場 河俣河重

泉二吉

土木建築請負業 山田俊逸 花蓮港街新港... 電話五六...

佐藤金物店

日夏吳服店

大阪商船代理店 朝日組

花蓮港電氣株式會社

花蓮港木材株式會社

◎ 東海自動車運輸株式會社

米、雜貨 梅津商店

司法書士 岡林義繼 花蓮港街... 電話二一四番

釀造 森金商店 森金西藏

米穀 金泰興商行

中島常雄 吉野民會

清水半平 吉野村

前田廣人 大庄區公埔

松尾温爾 玉里庄玉里

岩田仙吉 玉里庄玉里

加藤好文 玉里庄玉里

鄭國賓

木材・セメント・瓦・屋根板・石灰 波出石材木店 電話六九番

土木自轉車商會

明治製菓雜貨卸 南華興業公司 支店新城 大南水...

豐田村 緒方足躬

林田村 松尾末吉

市場前 脇山せともの店

市場前 脇山洋品店

市場前 やよひ食堂 電話三〇七番

均一百貨 (小) 雲仙商會 花蓮港街黑金通市場角 電話三貳參番

ライジングサン石油株式會社代理店 東和商店 朱阿零 花蓮港街入船通一九 電話貳五四番

濱田醫院 濱田隼雄

花蓮港飲食店組合

煙草賣捌人組合東部支部
高橋與六
山田孝使
赤城佐太郎

土木請負 高橋組 (喪中につき年末年始缺禮仕候)

土木請負 田村組

土木請負 安武組 安武作平

子明齒科醫院 馮子明

宮崎代書事務所 宮崎喜太郎

久保朝二

和泉屋家具店

花蓮港物產會社

振興商會 許聰敏

藥化粧品 海野高砂堂

印刷・藥 中村回生堂

お茶、化粧品 雜貨 灘友古龍堂

築港專屬人夫供給 永泉商會

青山疊店

臺灣澱粉會社 工場花蓮港平野區壹蘭

お茶 藤田寒梅園 藤田久治

疲弊のドン底から更生した我『鹿野村』

次代を背負ふ男女青年の不斷の働報いらる

臺東廳下の鹿野村！「鹿野村と云へば由來貧しく疲弊困憊の村だ」との云ひ傳へや宗郎が附和でテンからピンまで悲觀的輪廻で語られ綴られたものだが今日の鹿野村はもうそんな陰氣な不景氣な村ではない」とは此の頃よく村の青年達の口から吐き出される言葉だ、而もこれは昭和二十年目にして始めて彼等の口より洩れる喚きで隠し得ぬ心からの笑みさへ含んでゐる過ぐる十二月の村創立二十周年の記念式典では村中の人々は二十年分の笑に相好をくづしてぐちゆくまでに歌ひ踊つた。しかし之は喜びを單に酔ひ呑み迄に醉醉する熱鋼では決してない。永い年月重い足を引き摺つて喘ぎ拔いた暗鬱の淵から漸くにして希望の光を拝み得た人達の偽らざる人間性の、細偶の、感激の發露であつたに相違ない。修史の鹿野村は此の二年來名ぞンてに漂泪した。眈れを見て先づ吉村に溢れ到たる生彩の匂ひを感得する。即ち村は甦つた。晩起きから早起きへ、飲酒から茶話へ、借金から貯金へと自力更生の大道を一月は一歩と踏實な足跡をつけけながら村の姿は寶に蘇りつつある。然らば我が鹿野村は其の起死回生の動力を何處に求めたか、之が動源るには今や村の誇りとなつてゐる天送埤園と愛郷園の二者を此處に挙げて村作今の全貌を覗いて見たい。

危くも救はれたのは忘れもせぬ昭和七年の青年訓練所の創設であつた。當來三ケ年青年の意、指導者の眞、村人の祈りの一致協調の結晶は嬉しくも茅年を迎へて青年達は訓練所を我家とし其の精神と使命を生命と誓ひて奮起し、更に獨力以て「一村を救ふ而らずんば死あるのみ」との固き信念を持して手を握り合ひ團の壯語一騎士たるの決意で突進した而して其處に訓練所所屬の天送埤園と愛郷園が生れたのである。同園は訓練所農業科の實習地で面積は一甲歩、而して村の實情に鑑み天與の土地に對して自由奔放の勇氣を用以ての外なりといふ見地から從來村民が荒蕪に任せて顧みなかつた瘠荒なる石礫多き地所を特に選び訓練所教練の突撃精神を以つて青年の意氣と根氣で開墾に着手し鍬耕地を造成して現在では村の模範的地となつてゐるが文部省の勵援と共に無限大なる青年の意氣と人力を獲得せしめ且つ不拔の信念の涵養上大きな暗示を垂れ一方訓練所の實利化に貢獻なる成果を收めてゐる。愛郷園は畢業生に對して同じく名稱の如く更生に於けるもので本島に於ける唯一の公園である同村女子青年訓練所の經營に係る面積五分、各動員が其の作業服も甲斐々々しく打込む一鍬を以て蔬菜の共同耕作を行ひ事業の一端を擔ひ、兩者の作業は家庭に於ける就業時間を犯さない範圍で朝夕又は休養時間を利用する事を原則として實行され其の收益は訓練所基金の一部や又は年一度の遠足等の經費に積立されてゐる。指導者として本村小學校の黑河小學校長は篤志的に神田、楯谷、黑田の諸氏が等ら指導に當り彼等の陰に大きな力添へを貸してゐる。鹿野村更生の動力は別に何んにも無い唯あの若衆達の全身に滿ち溢つてゐる血と燃え盛る熱に發足してゐるのです、彼等には見得もてらいもない日常の一擧手一投足之皆村の更生繁榮を念願する動きで一事が萬事眞剣其のもので全く感動させられます、いろんな意味での試金石であつた天送埤園と愛郷園の選成も彼等にとつては容易に突破成功して此兩者は村の現勢を物語る好箇の縮圖となつてゐます、小學校の兒童達も小さい頭に自分達の兄姉達から強い刺戟を受けて先頃から荒蕪地の開墾に着手して立派な學園を作り上げましたが之等は學校教育以外の無言の大きな社會教育で特に農村の兒童訓育上極めて大きな收穫を得たものとして喜んでゐます、訓練所は教練、職業の二科目の外最近商武會を組織して一週一回夜間に武道修練を正科に取入れて商武精神を涵養すると共に本村の神田先生に修養講話を依頼して精神修養の爲に努めてゐます幸にして先輩村人の理解、指導支援といふ大きな救援に擁護されて本訓練所も村と共に健に成長伸展して行く事を一同の使命と心得て今後益々自戒精勵邁進したいと思つてゐます

最後に特記すべきは鹿野村には一滴のアルコールがない事だ、村の入口に立つ禁酒同盟會の立札は先づ行人の眼を惹いてゐる。冠婚葬祭凡てお茶とサイダーで片付けられる。村から酒の香の消え失せるまでには村人も相當の辛勞を要したものと思はれるが其の陰には現公醫神田全次氏の努力が與つて力あつた本村駐在となつた同氏は村同生を一念として獻身的の努を捧げ續けて來た、アルコールを拔いて心眼を開いて村の姿を凝視し救ふ可し而して起つべしと自ら範を示して之が實行運動を始め成功に運したのである、村人は同氏を心の救ひ主とし敬仰措かず、青年會員は同氏を中心に立派な修養道場となつてゐる、又同氏の息女公子さんは訓導として小學校に奉職し傍ら女子青年訓練所の指導員となりよく父君の志を承けて村内子女訓育教導に從事し村人より女神の如く慕はれてゐる、斯くて我が鹿野村は黎明の訪れと共に赤き血に燃ゆる青年の吹き鳴らす進軍喇叭の音は全村を搖がし專村新生の意氣に燃え上つて老若男女朝に星を戴き夕に月影を踏んで家路を急ぐ勤勞の毎日は明け暮れ東臺灣の一角に健實にして平和なる理想郷の建設にいそしみつつある

（上）[illegible]園の作業　（下）愛郷園の作業

頭のない汽車に乘つて見度い

大頭目アリマンの願望

里壠支廳下里壠山の大頭目アリマンケンが先達て一族郎黨を引連れて下山、新開園の藁魚場見學へ乘り込んで來たが用件終へての歸途池上驛で驛長に面會「眠りには如何金は幾何でも規定の料金を拂ふから是非（頭のない汽車）に乘せて呉れ」との強談判を持ち込んだ▲驛長は此の突然の申出に一寸面喰ひ又頭のない汽車の判斷に苦んだが其處は御職掌柄直に（機動車）の事だなと合點は行つたが、東部鐵道特定の蕃人乘車規定によつて如何に大頭目のアリマンケン君とて山では兎も角下界の掟は曲げられず氣の毒としかし氣の毒に同君の折角の所望を拒絶した、けれ共之位のことで簡單に引込む山の大將ではない、數次押問答の末「それでは俺一人でも乘して呉れ」と仲々聞き入れないのでたうとう派出所の大人を引張り出して來て、矢張り乘れないと云ふ事を納得させた、アリマン君、ガソリンカーの走り去つた後から（頭のない汽車）は煙草も吸はずに（煙がないので）走るから早いのだなーとつくづく眺め入つてゐたとは……。

褌、鉢巻きの蕃人雲助の姿

卑南大溪から消ゆ

臺東、新港間の往復に三、四年前まで一番悩まされたのは魔の河、卑南大溪の渡河であつた、渡河中過つて濁流に呑まれる生命が一年に必ず數人を出してゐた、今から思ひ出してもぞつとする、蕃人雲助共に一命を託してテツペイで或は背負はれて又手を引かれて男も女も子供も渡つたものだ、そして無事に渡つても濁流の飛沫で全身ツブ濡にされてホツト息付くといふ始末であつた、此の卑南溪の渡河に面白い插話がある、それは當時臺東、新港間の往復には褌を三本準備したものだ即ち往きに河で一本捨てる、歸りに同樣一本之で都合二本河端に捨ると同時に最後の新らしいのとやり替へて臺東の町へ乘り付く、所が河邊で捨てた褌を何んで彼等が見逃さう、蕃人雲助共は競つて之を拾ひ合ふそして所もあらうに大事さうに頭に鉢卷にしてすまし込んでゐるので笑はされた、こんな悲喜劇を織込まれた卑南大溪も今日は東洋一を誇る大鐵橋が架かつて流線型のハイヤーで突走つて居るが往時を顧みて隔世の感ぞする、そして褌鉢卷の悠然たる雲助の姿も河邊から淋しく消えた

人口過剩に惱む澎湖島

これが打開策は諸般の施設に在る

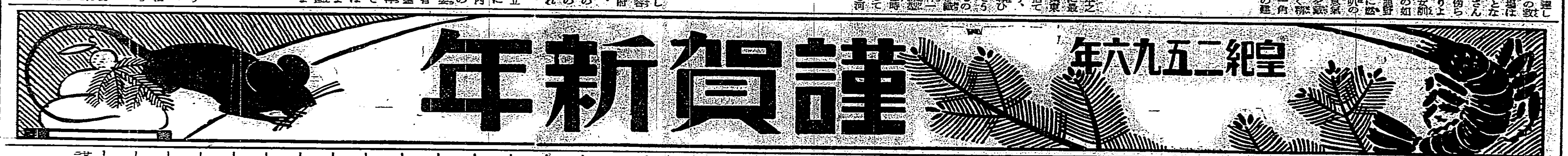
澎湖廳下は六十三の大小島嶼から成り、內二十が有人島で他は全部無人島である、其面積八方里人口六萬六千八百四十三人（內地人二六三六人、本島人六四、二二九人支那人七八人、以上は九年末現在で陸海軍軍籍、監獄在監者を含まず）人口稠密なこと神奈川、香川に次ぐと云ふ、而して一年の出生死亡を見るに一年出生二、六四三人、死亡一、二七三人で年々一三四〇人宛増加して居るので、現在の澎湖の澎湖としては、此人口過剩に因る惱みは、丁度日本內地に於けると同様である、故に臺灣本島に出稼ぎして居る者が二七、一四三人もあつて是等出稼者が本島澎湖に一ヶ年仕送つて來る金高は約十五萬圓もある、澎湖には廉且つ低廉な勞力が有り餘つて居るのであるが、之れを有利に使用して行く所に、地方的經濟確立がありと希望が望まれやう、が然しさうするにはまだ〳〵諸般の設備を要し且つ又相當の保助が完全遂されて居る

臺東一の健康地火燒島

臺東廳下に置かれて[illegible]火燒島[illegible]から二百も前の話だが、當時の第何十回かの帝國議會で此の火燒島の監獄所が問題になつたさうである、[illegible]の熱弁り……「臺灣の孤島に（火燒け島）と言ふ島があるが[illegible]の島に流罪して片端から燒き殺してゐるとは、聖大の今日人道上容易ならぬ問題である」と憤慨政府委員に食つてかかつたさうだが、火燒島どころか、當時は澎湖其のものが內地の代議士諸でそれ位の認識で澎湖行きを島流しと見られた頃であるから無理もあるまい、火燒け島の名の由來は今更說議立てする必要もなく同島は其の名に相違して全島緑の島である、島內は虐殺すどころかマラリヤ蚊の一匹も棲息しない年中蚊帳の不要な全島一の健康天國として最近有名に喧傳されてゐる島である、臺東街から眞東に當つて十八浬の洋上に浮かび定期船、ポンポン船で二時間で達する、本年の夏期には島內に海水浴場を施設して全島より客を呼び特に臺東の人々の避暑地として提供する保養施設計畫の話まで聞いてゐる

愛玩される澎湖の雲雀

澎湖雲雀と云へば、東京あたりでは非常に有名な者だ相で、年々此方面から色々なつて來めて相當の需要があると云ふ、東京でも[illegible]



謹賀新年
屏東市會議員（イロハ順）
飯塚實　林國吉　錦織幸一　林耀明　林綿順　劉菜頭　渡邊哲　渡邊藤次郎　郭一清　簡金鍾　吉野新市　谷山亮太郎　龍揖松藏　蘇嘉邦　津下猪太郎　鶴作次　奥田常吉　山本實　升島戸野一　鄭清濂　宮添[illegible]　施宜

屏東市尹 伊藤完二
屏東市助役 大關善雄
屏東 平山寅次郎
屏東 有馬康純
屏東 山口一夫

潮州郡
潮州庄役場 庄長 川野[illegible]太平 助役 [illegible] 會計役 [illegible]
萬巒庄役場 庄長 [illegible] 助役 [illegible] 會計役 [illegible]
內埔庄役場 庄長 [illegible] 助役 [illegible] 會計役 [illegible]
竹田庄役場 庄長 [illegible] 助役 [illegible] 會計役 [illegible]
新埤庄役場 庄長 [illegible] 助役 [illegible] 會計役 [illegible]
枋寮庄役場 庄長 伊[illegible] 助役 [illegible] 會計役 [illegible]
枋山庄役場 庄長 王[illegible] 助役 高[illegible]
保證責任 潮州信用購買販賣利用組合
有限責任 萬巒信用販賣購買利用組合
保證責任 大和信用販賣購買利用組合
有限責任 新北勢信用購買利用組合
有限責任 新埤信用購買利用組合
有限責任 水底寮信用購買販賣利用組合
保證責任 枋寮信用購買販賣利用組合
保證責任 佳佐信用購買販賣利用組合
謹賀新年 臺灣產業組合協會高雄州支會屏東郡分會

屏東 福田嘉太郎
屏東 藍高川
屏東 白木原民次
屏東 大森丈之助
臺灣南部無盡會社 屏東支店
屏東驛運送業者一同
屏東 飯塚醫院 電話四五五番
保證責任 屏東興農信用購買販賣利用組合 屏東市 電話[illegible]
有限責任 屏東信用組合
屏東信託株式會社
屏東宿屋組合
臺灣酒類賣捌人組合屏東支部
臺灣煙草賣捌人組合屏東支部
屏東 懷德醫院 電話[illegible] 郭一清
西洋御料理 觀山亭 屏東 電話[illegible]九番
御料理 梅園 屏東 電話[illegible]番
澎湖珊瑚採取組合
長興庄長 從七位勳六等 邱潤寬　同助役 川村喜代吉　同會計役 徐慶鳳
鹽埔庄長 葉寶山　同助役 龜田佐太郎　同會計役 李渴生
高樹庄長 勳八等 西村勘二　同助役兼會計役 曾野德旺
里港庄長 從七位勳八等 立園治　同助役 楊增春　同會計役 藍萬順
九塊庄長 龔天降　同助役 陳聽鎮　同會計役 張文金
御料理 ひさご 馬公[illegible] 電話[illegible]七番
牧內憲五郎 鳳林區鳳林
水谷勝 大庄區公埔
渡邊文吾 平野區灣々
菓子舖 湖月 電話[illegible]六番
山口次人 研海區新城

高雄州自動車協會屏東支會
恒春郡役所 食堂會員一同
恒春郡 恒春庄役場職員一同
恒春郡 車城庄役場職員一同
恒春信用購買販賣利用組合
車城信用購買販賣利用組合
恒春電氣株式會社
新築落成 はまつ旅館
臺灣產業組合協會高雄州支會旗山分會
活版印刷 新聞雜誌 文具類 旗山街 佐藤新文堂 電話三九番
旗山街 佐藤縫三 電話[illegible]九番
旗山劇場 代表者 陳啓雲 電話四四番
高旗自動車株式會社 電話[illegible]八番
醫士 韓起鳳 慕德醫院 電話[illegible]
頭痛速效藥五分珠本舖 合資會社 易生堂藥房 里壠 電話[illegible]
公醫 高阿榮 里壠醫院 電話八番
臺東廳里壠 御旅館 東館 館主 石松源十郎 電話七番
臺東廳里壠 御旅館 里壠館 館主 島駒太郎 電話五番
里壠信用組合長 張船 電話九番
臺東廳里壠驛前 株式會社 櫻組里壠代理店 徐監 電話一四番
臺東廳里壠街 日本料理 竹乃家 電話[illegible]
保證責任 玉里信用組合
八坂工務所
玉里文具印刷 岡田俊之
カフエー クロネコ 奥田みち
花蓮港蓮草合資會社
辯護士 柿村秀治 花蓮港法院前
加來義男
三土孝俊
城菊雄
神田寫眞館 同喫茶部
鹽水港製糖株式會社 花蓮港製糖所

賀正

澎湖廳長 稲元岩吉

横井為男 馬公

永松三男 馬公

小林耕藏 馬公

淺生四市郎

水野啓

梅本敦 澎湖廳

馬公街長 三浦光次

同 助役 副島官市

同 會計役 青柳和吉

山宮忠藏

田代博 澎湖醫院

馬公街 瀬戸崎市之丞

高橋盛三郎 馬公

大塚忠太 澎湖廳

酒匂潔 警務課

三田村茂樹 澎湖廳

吉良貞雄 澎湖廳

近藤榮太郎 澎湖廳

蛭田隆次郎 澎湖廳

久保元助 澎湖廳

鄭隰文 澎湖廳

馬公第一公學校長 篠原武熊

富澤愼 馬公

煙草元賣捌所 馬公街馬公 稲田岩一郎 電話一四五番

酒類賣捌人 馬公街馬公 鍾鉅 電話五三番

內科 小兒科 馬公街馬公 池田醫院 醫師 池田隆平 電話一六番

馬公齒科醫院 日本大學齒學士 陳丁癸

產婆 馬公街馬公 青木ユキ 電話一四七番

馬公 (大) 大久保百貨店 電話一〇三番

(サ) 佐々木七福堂藥房 馬公 電話七番

馬公街 (舍) 北川吳服店 電話二九番

日用雜貨 (舍) 義發商店 電話貳貳番

陸海軍御用達 馬公市場內

日用雜貨 (日) 日進商店 陸海軍御用達 馬公市場內 電話一〇四番

澎湖島特產 鯛田麩 鯛味噌 鯛粕漬 竹乃花 海老の鮨 ... 山本清九郎商店 馬公市場構內

營業種目 土木建築請負 諸官衙御用達 物品販賣 船舶運漕 (天) 大渡組 電話五番

土木建築請負業 馬公街大案山 三好虎吉 電話四五番

(富) 表具師 富貴亭 馬公北町 電話一六六番

陸海軍御用達 吳服毛織物販賣商 洋服調製並ニ附屬品 永聯泰洋服店 馬公 電話一八三番

陸海軍御用達 洋服調製並ニ附屬品 聯昌洋服店 馬公 世昌 澎湖醫院前通

營業種目 各種貨物一式 珊瑚美術彫刻 加工品 雜貨小間物 (テ) 寺脇商店 澎湖廳馬公街馬公一八五番地 電話一二〇番

各種寫眞 美術撮影 額縁 アルバム 寫眞用品 其他一般 タエナカ寫眞館 馬公 高橋川 電話五十一番

有村寫眞館 馬公測候所北入 電話一六〇番

二週間大割引 中山寫眞館 郭兩記

陶器 燒物 金物 荒物 雜貨 (夕) 多久島源太郎商店 馬公街馬公七百四拾參番地 電話六九番

食料品 卸小賣 (中) 中國商店 澎湖廳馬公街馬公貳七九 電話六五番

日用雜貨商 (豐) 豐進商店 澎湖廳馬公街馬公五貳〇番地 電話六七番

各種清涼飲料販賣元 山井商會 高添財 氷店 馬公 電話五番

馬公會館 澎湖文庫 電話一一〇番

澎湖商工會

有限責任 馬公融通信用組合

馬公 料理屋 飲食店 組合

東郷忠志 馬公稅關

田中庄之助 澎湖郵便局

會田吉之 馬公 電話一四一番

澎湖廳望安 佐藤乾

望安庄長 高橋周平

白沙庄長 張懷

湖西庄長 平間鶴吉

西嶼庄長 鍾鉅

臺灣合同電氣株式會社 澎湖營業所

海軍糧食品御用達 西室直次郎 本店 電話五六番 支店 澎湖廳馬公街馬公 第二支店 同 電話三六八番

海軍糧食品御用達 馬公 丸八旅館 電話九番

馬公 上瀧柳作 電話二〇番

海軍糧食品御用達 馬公 山口信行商店 電話三三番

澎湖島特產 鯛田麩 鯛味噌 鯛粕漬 鯛ノ花 帝國生命保險會社代理店 陸海軍酒保御用達 宮崎商店 澎湖廳馬公街市場前 電話三二番

馬公 井手英孝 電話六三番

上瀧利雄 馬公

伊東正成 電話二六番

澎湖名產 珊瑚美術品 岩田珊瑚支店 電話架設中

大磐誠三 臺東街

赤城佐太郎 臺東街

重森確太 臺東街

毛利之俊 臺東街

中村源治郎 臺東街

松井金二郎 臺東街

臺東 宇敷斐夫

臺東 飯干太加次

臺東 千代田弘

臺東 渡邊晋

有限責任 西嶼庄流通信用組合

有限責任 湖西庄信用組合

有限責任 白沙庄信用組合

有限責任 澎湖信用販賣利用組合

澎湖廳 鎖管港漁業組合

馬公料理屋組合

澎湖廳馬公街城外 馬公貸座敷組合

塩水港製糖株式會社

臺灣新營

專賣局臺東出張所 職員一同

東部農產試驗場 職員一同

臺東 島義雄

臺東 林全福

臺東 陳貴興

臺東廳區長一同

臺東廳 里壠 大武 新港 支廳長

臺東鐵道部 機關庫 保線區 驛 職員一同

木村コーヒー園 臺東 ハラパワン

臺東ホテル

眞木診療所 臺東街南 眞木喜作

臺東街 岩花政之助

臺東街 東大醫院

臺東信用組合

臺東街 料亭 富之家

新港水產株式會社

新港自動車合資會社

株式會社 櫻組

臺東郵便局職員一同

金子幸七 臺東新港

臺東廳小公學校長一同

臺東廳食堂團員一同

臺東街商友會 事務所 寶町 山本商店 電話一六番

臺東製糖株式會社 臺東街馬蘭 電話三七番

臺東廳公醫一同